

# 愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

令和2年(2020年)

愛媛県感染症情報センター

(愛媛県立衛生環境研究所)



## はじめに

感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）に基づき、感染症の患者発生及び原因病原体を把握・分析することにより、感染症を予防し、流行拡大を防止することを目的としています。平成**26**年に感染症法が改正され、感染症に関する情報の収集体制の強化が図られるとともに、法に基づいた病原体検査が開始されることとなり、新しい時代に入りました（平成**28**年**4**月**1**日より施行）。

**2019**年（令和元年）**12**月に中国で初めて報告され、その流行が世界各国に拡大した新型コロナウイルス感染症（**COVID-19**）に対し、我が国は総力を挙げて対策を講じてきましたが、令和**2**年**4**月に「緊急事態宣言」が全都道府県に発令されて以降、第**1**波から第**5**波の流行を繰り返し、令和**3**年**8**月には**4**回目の同宣言が発令されました。この間、第**4**波でのアルファ株、第**5**波でのデルタ株など、新たな変異株が次々と感染の主流になる一方、令和**3**年**2**月にはワクチン接種が開始され、**COVID-19**をめぐる状況は刻々と変化してきていますが、感染収束の兆しは依然として見えない状況です。現時点（**12**月**1**日）で、累計の国内の感染者は**1,727,304**例、死亡者は**18,360**名となっています。

その他の感染症については、令和**2**年に愛媛県では、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症が前年より多く発生しました。一方、**COVID-19**感染対策のためか、インフルエンザや手足口病は顕著に減少しました。

関係各位の皆様には、平素から本事業の推進にご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。今回、お陰様をもちまして、本報告書を取りまとめることができました。感染予防対策の資料として、広くご活用いただければ幸いです。今後とも、感染症情報センターと関係各位とのより一層の緊密な情報網の構築に努めてまいりますので、引き続きご協力並びにご指導、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和**3**年**12**月吉日

愛媛県立衛生環境研究所

所長 四宮博人



# 目 次

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要	1
指定届出機関一覧	4
2020年(令和2年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -	
報告週対応表	6
1 全数把握対象 ー 五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症	
(1) 一類感染症	7
(2) 二類感染症	7
(3) 三類感染症	7
(4) 四類感染症	9
(5) 五類感染症	13
(6) 新型インフルエンザ等感染症	25
(7) 指定感染症	26
表2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	28
表2-1-2 2020年全数把握対象疾患発生状況(月別)	29
表2-1-3 2020年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	30
表2-1-4 2020年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	31
2 定点把握対象 五類感染症	
(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況	32
表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数	34
表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数	36
表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	38
表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数	39
表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり患者報告数	40
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	41
(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)	42
(3) 小児科定点対象疾患(週報)	46
(4) 眼科定点対象疾患(週報)	70
(5) 基幹定点対象疾患(週報)	74
(6) STD定点対象疾患(月報)	82
(7) 基幹定点対象疾患(月報)	88
2020年(令和2年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -	
1 細菌検査状況	91
(1) 全数把握対象感染症	91
(2) 定点把握対象感染症	94
2 ウイルス検査状況	96
(1) 全数把握対象感染症	96
(2) 定点把握対象感染症	96

## 2020年(令和2年)結核登録者情報

1 概況	103
2 新登録患者の状況	103
(1) 患者数及び罹患率の動向	103
(2) 性・年齢階級別	104
(3) 保健所別	105
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向	106
(5) 発見の遅れ	107
3 年末現在結核登録者の状況	108
表4-1 2020年新登録患者数 - 保健所別	109
表4-2 2020年新登録患者数 - 性、年齢階級別	109
表4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	110
表4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	110
表4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	110
表4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	110
表4-7 2020年新登録患者数 - 結核病類、性、年齢階級別	111
表4-8 2020年新登録肺結核患者数 - 職業、菌情報、保健所別	112
表4-9 2020年新登録患者数 - 発見方法別	113
表4-10 2020年新登録有症状肺結核患者数 - 発見の遅れの期間別	113
表4-11 2020年新登録患者数 - 化療内容、保健所別	114
表4-12 2020年年末現在登録者数 - 保健所別	116
表4-13 2020年年末現在登録者数 - 性、年齢階級別	116

## 参考資料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱	117
愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱	130
愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領	132
感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律 第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(届出基準等通知)	142

## 愛媛県感染症発生動向調査事業の概要





## 愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)に基づく施策として、「愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱」(平成13年1月施行)の定めにより実施しているもので、指定届出機関(定点)からの感染症の患者発生に関する情報(患者情報)及び疑似症の患者発生に関する情報(疑似症情報)と、感染症の病原体に関する情報(病原体情報)を迅速かつ的確に収集及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ確かな感染症対策の確立に資することを目的としている。

対象疾患は一類から五類感染症までの112疾患に、新型インフルエンザ等感染症の2疾患及び指定感染症1疾患、疑似症1疾患を加えた116疾患である。このうち全医療機関を対象とする全数把握感染症は、一類から四類感染症までの63疾患と五類感染症のうち24疾患に、新型インフルエンザ等感染症2疾患、指定感染症1疾患を加えた90疾患で、定点が報告する定点把握感染症は、五類感染症のうち25疾患(週単位あるいは月単位で報告)に疑似症1疾患(患者発生時に直ちに報告)を加えた26疾患である。

### 1 全数把握の対象(90疾患)

#### (1) 一類感染症(7疾患)

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

#### (2) 二類感染症(7疾患)

急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)

#### (3) 三類感染症(5疾患)

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス

#### (4) 四類感染症(44疾患)

E型肝炎、ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

#### (5) 五類感染症(24疾患)

アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)、急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

#### (6) 新型インフルエンザ等感染症(2疾患)

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ

(7) 指定感染症(1 疾患)

新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であることに限る。）

2 定点把握の対象(26 疾患)

(1) 五類感染症(25 疾患)

インフルエンザ定点の対象(1 疾患)

インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）

小児科定点の対象(10 疾患)

R S ウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

眼科定点の対象(2 疾患)

急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎

STD 定点の対象(4 疾患)

性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症

基幹定点の対象(8 疾患)

感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

(2) 疑似症(1 疾患)

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものの。

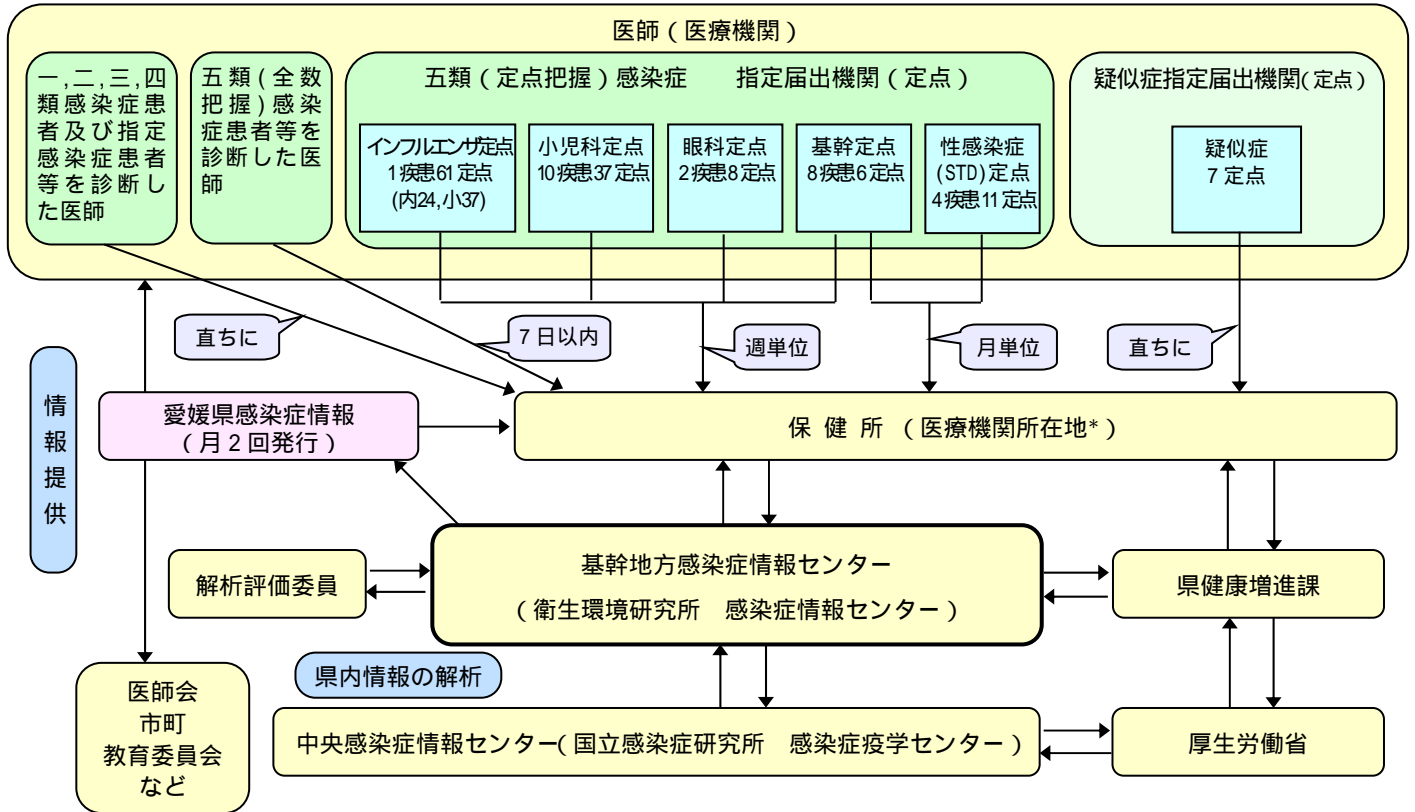
定点には患者定点と疑似症定点、病原体定点がある。患者定点はインフルエンザ定点（内科と小児科）、小児科定点、眼科定点、性感染症（STD）定点（皮膚科、泌尿器科、婦人科）、基幹定点（内科と小児科を持つ300床以上の病院）の5種類があり、疑似症定点とともに、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されている。また、患者定点の中から病原体定点を設定し、病原体の分離等の検査情報を収集している。

表 保健所別定点数

定点種別 保健所	患者定点					疑似症 定 点	病原体 定 点
	インフル エンザ	小児科	眼科	性感染症 (STD)	基幹		
四国中央	5	3	—	1	1	1	2
西 条	10	6	1	2	1	1	3
今 治	8	5	1	1	1	1	3
松 山 市	17	11	3	4	—	1	4
中 予	7	4	1	1	1	1	3
八 幡 浜	7	4	1	1	1	1	3
宇 和 島	7	4	1	1	1	1	1
合 計	61	37	8	11	6	7	19

※ 小児科定点はインフルエンザ定点を兼ねる。

医療機関からの患者情報は保健所を通じて基幹地方感染症情報センター（衛生環境研究所 感染症情報センター）へ集約され、中央感染症情報センター（国立感染症研究所 感染症疫学センター）へ報告するとともに関係機関へ週報単位で還元している。疑似症情報については中央感染症情報センターに集約された情報を随時解析し関係機関へ還元している。また月2回、解析評価委員による県内情報の解析・評価が行われ、その結果を「愛媛県感染症情報」として関係機関に提供している。これらの情報はホームページでも公開している。



\*但し、結核については患者等住所地

図 令和2年（2020年）愛媛県における感染症発生動向調査事業のながれ

## 指定届出機関一覧(令和2年)

(令和2年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点
四国中央	インフルエンザ	川関高橋医院	四国中央市金生町下分257	
		矢部内科	四国中央市三島宮川4丁目6-71	
	小児科	川上こどもクリニック	四国中央市金生町山田井895-2	
		鈴木医院	四国中央市土居町小林1200	○
	STD	公立学校共済組合 四国中央病院	四国中央市川之江町2233	
	基幹	公立学校共済組合 四国中央病院	四国中央市川之江町2233	○
疑似症	HITO病院	四国中央市上分町788-1		
西条	インフルエンザ	井石内科医院	新居浜市西原町1-1-65	
		土岐医院	西条市神拝甲538-6	○
		中萩診療所	新居浜市萩生1061	
		福田医院	西条市丹原町願連寺278	
	小児科	愛媛労災病院 <sup>*1</sup>	新居浜市南小松原町13-27	
		かとうクリニック	新居浜市船木甲4322-2	
		キッズクリニックパパ	西条市周布486-3	
		県立新居浜病院	新居浜市本郷3-1-1	
		こにしクリニック <sup>*2</sup>	新居浜市庄内町1丁目13-35	
		高橋こどもクリニック	西条市朔日市313-5	○
		星加小児科内科ファミリークリニック	西条市大町612-1	
	眼科	いしづち眼科	新居浜市庄内町1丁目8-30	
	STD	西条市立周桑病院	西条市壬生川131	
中山皮膚科クリニック <sup>*3</sup>		新居浜市中須賀町1丁目6番10号		
なめだ皮膚科医院 <sup>*4</sup>		新居浜市一宮町2丁目3-48		
基幹	住友別子病院	新居浜市王子町3-1	○	
疑似症	県立新居浜病院	新居浜市本郷3-1-1		
今治	インフルエンザ	医療法人大樹会今治南病院 <sup>*5</sup>	今治市四村103番地1	
		重見内科医院 <sup>*6</sup>	今治市国分3丁目13-45	
		消化器科久保病院	今治市内堀1丁目1-19	
		瀬戸内海病院	今治市北宝来町2丁目4-9	
	小児科	あおい小児科	今治市東村5丁目9-37	○
		喜多嶋診療所	今治市伯方町木浦甲3449	
		丹こどもクリニック	今治市末広町3丁目4-12	
		まつらバンビクリニック	今治市北宝来町3丁目3-34	
		みぶ小児科	今治市北宝来町3丁目1-27	
	眼科	高木眼科病院	今治市北宝来町2丁目3-1	○
	STD	今井皮膚泌尿器科医院	今治市共栄町2丁目1-24	
基幹	県立今治病院	今治市石井町4丁目5-5	○	
疑似症	県立今治病院	今治市石井町4丁目5-5		
松山市	インフルエンザ	今村循環器科内科	松山市古川西2丁目3-23	
		冲永内科医院	松山市北斎院町85-1	
		しらかた内科クリニック	松山市森松町663番地1	
		永山内科	松山市北梅本町666-2	
		久野内科	松山市此花町8-24	
		矢野内科	松山市東長戸1丁目10-18	○
	小児科	石丸小児科	松山市三番町6丁目5-1	○
		いとう小児科	松山市土居町805-1	

\*1: 令和2年12月からの指定届出機関    \*2: 令和2年11月までの指定届出機関    \*3: 令和2年11月からの指定届出機関  
 \*4: 令和2年10月までの指定届出機関    \*5: 令和2年4月からの指定届出機関    \*6: 令和2年3月までの指定届出機関

(令和2年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点
松山市	小児科	加賀田小児科	松山市古川北1丁目21-28	
		くす小児科	松山市西長戸町274-2	
		児玉小児科医院	松山市桑原4丁目13-24	○
		徳丸小児科	松山市古川北3丁目4-15	
		檜垣小児科内科医院	松山市北条辻415-3	
		平井こどもクリニック	松山市和気町1-714-3	
		まつうら小児科	松山市愛光町1-8	
		みなくちこどもクリニック	松山市木屋町3丁目13-9	
	山田小児科医院	松山市余戸中2丁目15-30		
	眼科	一色眼科	松山市小坂5丁目7-7	
		たかのみどり眼科クリニック	松山市鷹子町236-1	
		吉田眼科	松山市道後町2丁目1-12	○
	STD	NTT西日本松山病院(産婦人科)	松山市喜与町1丁目7-1	
		ほこいし泌尿器科	松山市柳井町1丁目14-8	
松山市赤十字病院		松山市文京町1		
米本産婦人科医院		松山市松末2丁目17-23		
疑似症	松山市赤十字病院	松山市文京町1		
中予	インフルエンザ	きむら内科クリニック	伊予市灘町151	
		久万高原町立病院	上浮穴郡久万高原町久万65	
		辻井循環器科内科	東温市田窪2030	○
	小児科	いのうえ小児科	東温市野田2丁目485-1	○
		宇山小児科	伊予市米湊815-6	
		みかわクリニック	上浮穴郡久万高原町上黒岩2920	
		むかいだ小児科	伊予郡松前町恵久美792-1	
	眼科	いずみだ眼科	東温市田窪2228-1	
	STD	重信クリニック	東温市志津川246-6	
	基幹	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川	○
疑似症	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川		
八幡浜	インフルエンザ	市立大洲病院	大洲市西大洲字ヤスバ甲570	○
		西予市立野村病院	西予市野村町野村9-53	
		三瓶病院	西予市三瓶町朝立2番耕地1-7	
	小児科	おおむら小児科	喜多郡内子町城廻846-30	
		ごとう小児科	大洲市東大洲74番地2	
		みかんこどもクリニック	八幡浜市白浜通1536-5	○
		山下小児科	西予市宇和町伊賀上1656-57	
	眼科	東大洲城戸眼科	大洲市東大洲149-2	
	STD	なかの泌尿器科	八幡浜市保内町喜木1番耕地240番地1	
	基幹	市立八幡浜総合病院	八幡浜市大平1-638	○
疑似症	市立八幡浜総合病院	八幡浜市大平1-638		
宇和島	インフルエンザ	宇和島市立吉田病院	宇和島市吉田町北小路甲217	
		粉川ファミリークリニック	南宇和郡愛南町城辺甲86	
		田中循環器科内科	宇和島市堀端町29	
	小児科	県立南宇和病院	南宇和郡愛南町城辺甲2433-1	
		桑折小児科	宇和島市中央町1丁目10-5	
		こばやし小児科	宇和島市長堀3丁目5-12	
		市立宇和島病院	宇和島市御殿町1-1	○
	眼科	阿部眼科	宇和島市堀端町1-4	
	STD	秋山医院	宇和島市堀端町1-16	
	基幹	市立宇和島病院	宇和島市御殿町1-1	○
疑似症	市立宇和島病院	宇和島市御殿町1-1		



# 2020年(令和2年)感染症発生動向調査結果

## 一患者情報一

## 2020年(令和2年)感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
1			1	2	3	4	5
2	6	7	8	9	10	11	12
3	13	14	15	16	17	18	19
4	20	21	22	23	24	25	26
5	27	28	29	30	31		

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
27			1	2	3	4	5
28	6	7	8	9	10	11	12
29	13	14	15	16	17	18	19
30	20	21	22	23	24	25	26
31	27	28	29	30	31		

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5						1	2
6	3	4	5	6	7	8	9
7	10	11	12	13	14	15	16
8	17	18	19	20	21	22	23
9	24	25	26	27	28	29	

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
31						1	2
32	3	4	5	6	7	8	9
33	10	11	12	13	14	15	16
34	17	18	19	20	21	22	23
35	24	25	26	27	28	29	30
36	31						

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
9							1
10	2	3	4	5	6	7	8
11	9	10	11	12	13	14	15
12	16	17	18	19	20	21	22
13	23	24	25	26	27	28	29
14	30	31					

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
36		1	2	3	4	5	6
37	7	8	9	10	11	12	13
38	14	15	16	17	18	19	20
39	21	22	23	24	25	26	27
40	28	29	30				

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
14			1	2	3	4	5
15	6	7	8	9	10	11	12
16	13	14	15	16	17	18	19
17	20	21	22	23	24	25	26
18	27	28	29	30			

10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
40				1	2	3	4
41	5	6	7	8	9	10	11
42	12	13	14	15	16	17	18
43	19	20	21	22	23	24	25
44	26	27	28	29	30	31	

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
18					1	2	3
19	4	5	6	7	8	9	10
20	11	12	13	14	15	16	17
21	18	19	20	21	22	23	24
22	25	26	27	28	29	30	31

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
44							1
45	2	3	4	5	6	7	8
46	9	10	11	12	13	14	15
47	16	17	18	19	20	21	22
48	23	24	25	26	27	28	29
49	30						

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
23	1	2	3	4	5	6	7
24	8	9	10	11	12	13	14
25	15	16	17	18	19	20	21
26	22	23	24	25	26	27	28
27	29	30					

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
49		1	2	3	4	5	6
50	7	8	9	10	11	12	13
51	14	15	16	17	18	19	20
52	21	22	23	24	25	26	27
53	28	29	30	31			

愛媛県感染症情報発行日



## 2020年(令和2年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -

## 1 全数把握対象 一～五類感染症、新型インフルエンザ等感染症

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として届出票に記載されていたものを示す。

## (1) 一類感染症

一類感染症 7 疾患（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）の届出はなかった。

## (2) 二類感染症

## 結核

結核は 158 人の届出があり、前年（147 人）から 11 人増加した。病型は、患者 131 人、無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）26 人、疑似症患者 1 人であった。性別は男性 79 人、女性 79 人で、年齢は 10 歳未満 7 人、10 歳代 1 人、20 歳代 10 人、30 歳代 7 人、40 歳代 6 人、50 歳代 8 人、60 歳代 23 人、70 歳代 32 人、80 歳代以上人 64 人であった。感染経路は飛沫・飛沫核感染が 77 人、その他（不明を含む）が 81 人であった。感染地域は国内 133 人（うち県内 132 人、都道府県不明 1 人）、国外 6 人（うちインドネシア 2 人、中華人民共和国 1 人、フィリピン 1 人、ベトナム 1 人、ミャンマー 1 人）、不明 19 人であった。

なお、結核の動向の詳細は、結核登録者情報システムでの集計に基づき、別章（2020 年（令和 2 年）結核登録者情報）に掲載した。

その他 6 疾患（急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9））の届出はなかった。

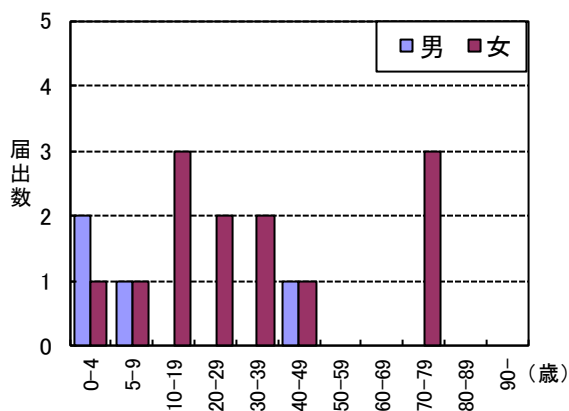
## (3) 三類感染症

## 腸管出血性大腸菌感染症

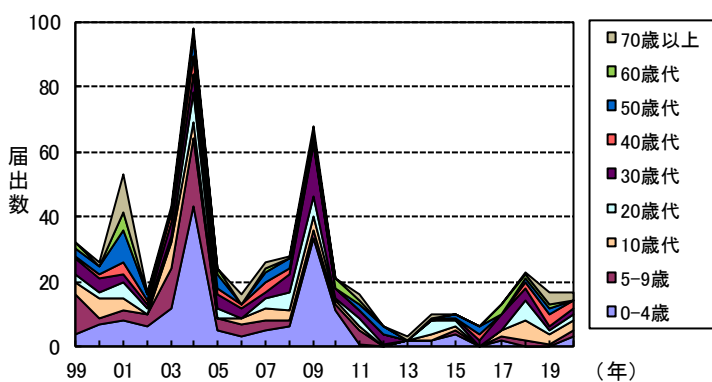
腸管出血性大腸菌感染症は 13 事例 17 人（患者 11 人、無症状病原体保有者 6 人）の届出があった。性別は男性 4 人、女性 13 人で、年齢は 10 歳未満 5 人、10 歳代 3 人、20 歳代 2 人、30 歳代 2 人、40 歳代 2 人、70 歳代 3 人であった。血清型及び Vero 毒素は、O157 VT1・VT2 が 6 人、O157 VT2 が 2 人、O103 VT1 が 2 人、O8 VT1、O26 VT1、O91 VT1、O111 VT1・VT2、O121 VT2、O145 VT1・VT2、O186 VT1 が各 1 人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は経口感染が 4 人、接触感染が 4 人、経口感染及び接触感染が 1 人、不明が 8 人であった。溶血性尿毒症症候群（HUS）発症等、重症例の報告はなかった。

事例番号	診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	血清型	ペロ毒素
1	2月 14日	7週	松山市	女	10歳代	なし	O91	VT1
2	4月 6日	15週	八幡浜	女	30歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O121	VT2
3	5月 22日	21週	西条	女	20歳代	なし	O103	VT1
4	6月 12日	24週	松山市	女	40歳代	なし	O103	VT1
5	6月 17日	25週	松山市	女	70歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O186	VT1
6	6月 17日	25週	松山市	女	70歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O111	VT1・VT2
7	6月 18日	25週	八幡浜	女	30歳代	なし	O8	VT1
8	7月 31日	31週	松山市	女	20歳代	なし	O145	VT1・VT2
9	9月 2日	36週	今治	男	10歳未満	腹痛、水様性下痢、血便、 発熱	O157	VT2
	9月 6日	36週	今治	男	10歳未満	なし	O157	VT2
10	9月 3日	36週	松山市	女	10歳未満	腹痛、水様性下痢、血便、 発熱	O157	VT1・VT2
	9月 4日	36週	松山市	女	10歳未満	腹痛、水様性下痢、血便、 発熱	O157	VT1・VT2
	9月 10日	37週	松山市	男	10歳未満	腹痛、水様性下痢、血便	O157	VT1・VT2
	9月 15日	38週	松山市	女	70歳代	腹痛、下痢、胃痛	O157	VT1・VT2
11	9月 29日	40週	松山市	女	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O157	VT1・VT2
12	10月 12日	42週	松山市	男	40歳代	腹痛、水様性下痢、血便、 発熱	O157	VT1・VT2
13	10月 28日	44週	松山市	女	10歳代	腹痛、水様性下痢、発熱	O26	VT1

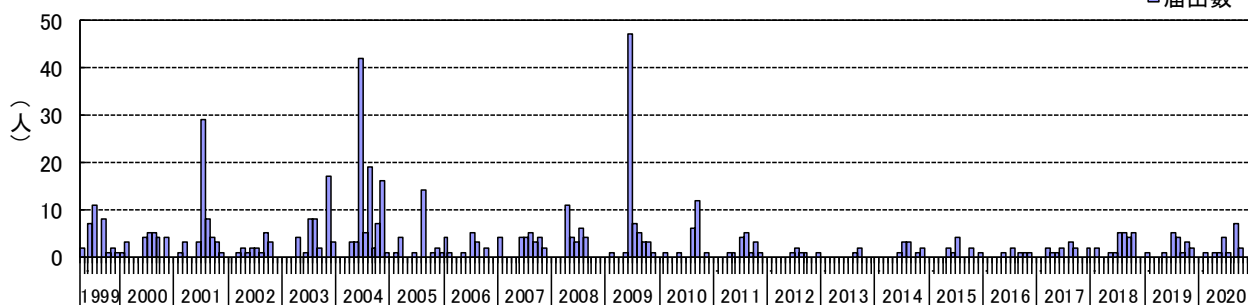
年齢階級・性別患者数(2020年)



年齢階級別患者数の年推移



腸管出血性大腸菌感染症 届出数(月推移)



## 腸チフス

腸チフスは50歳代女性1人の届出があった。感染地域は国外(インドネシア)であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域
3月 13日	11週	中予	女	50歳代	高熱、比較的徐脈、脾腫、 下痢	国外 (インドネシア)

その他3疾患(コレラ、細菌性赤痢、パラチフス)の届出はなかった。

## (4) 四類感染症

## E型肝炎

E型肝炎は60歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は経口感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
3月 31日	14週	松山市	男	60歳代	全身倦怠感、肝機能異常	県内	経口感染

## A型肝炎

A型肝炎は70歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は経口感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
10月 10日	41週	西条	男	70歳代	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、 下痢、好酸球増多	県内	経口感染

重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は2人の届出があった。すべて男性で、年齢は50歳代1人、70歳代1人であった。いずれも感染地域は県内で、感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。なお、全国では78人の届出があった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域 (保健所)	感染経路
6月 18日	25週	宇和島	男	70歳代	6月 17日	発熱、下痢、食欲不振、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、肝機能障害	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
7月 1日	27週	八幡浜	男	50歳代	6月 25日	発熱、下痢、食欲不振、刺し口	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染

### つつが虫

つつが虫は60歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

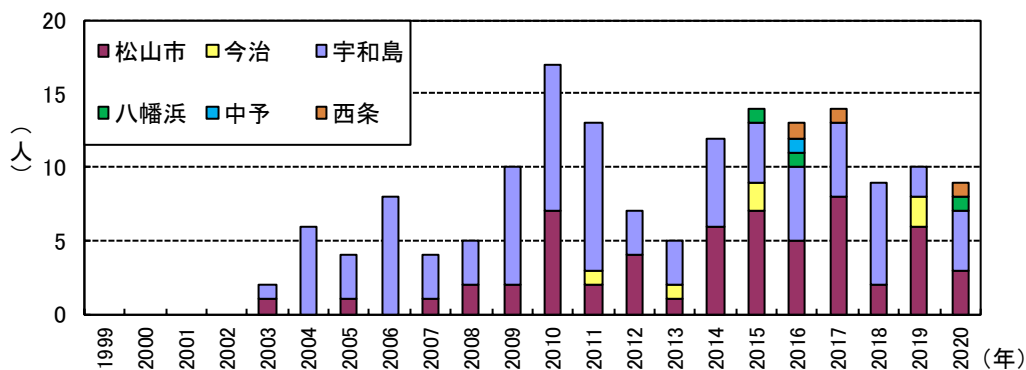
診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域 (保健所)	感染経路
12月 24日	52週	松山市	男	60歳代	12月 16日	発熱、刺し口、発疹	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染

### 日本紅斑熱

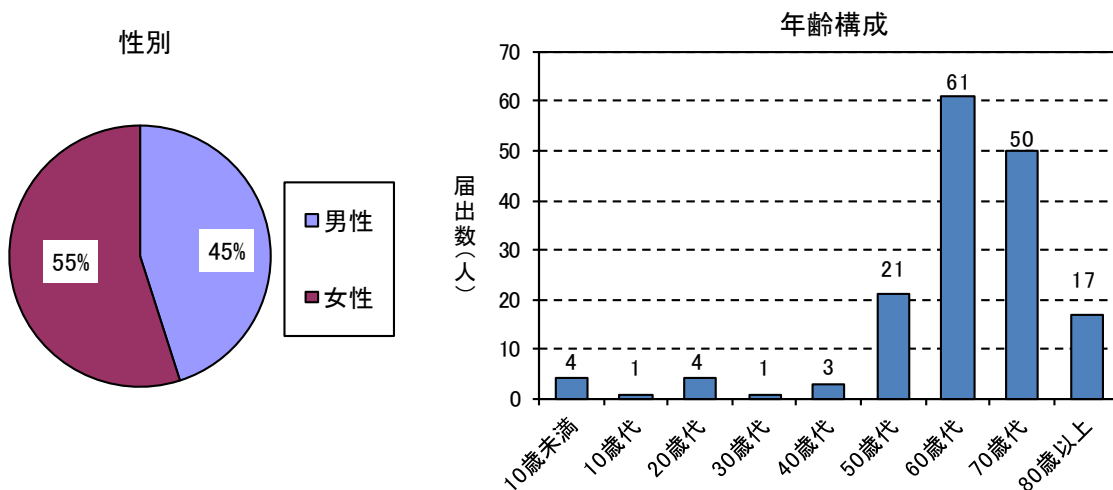
日本紅斑熱は9人の届出があった。性別は男性4人、女性5人で、年齢は60歳代4人、70歳代5人であった。感染地域はすべて県内(宇和島保健所管内4人、松山市保健所管内2人、今治保健所管内1人、中予保健所管内1人、八幡浜保健所管内1人)で、9人中8人にマダニ類による刺し口が確認された。感染症法施行(1999年4月)以降に届出された患者162人のうち、性別は男性73人(45.1%)、女性89人(54.9%)であり、年齢は50歳以上の壮高年者が149人(92.0%)を占めている。また、患者の届出は、宇和島保健所が91人(56.2%)と多く、次いで松山市保健所が58人(35.8%)、今治保健所が6人(3.7%)、西条保健所3人(1.9%)、八幡浜保健所が3人(1.9%)、中予保健所1人(0.6%)であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域 (保健所)	感染経路
5月 8日	19週	宇和島	男	60歳代	3月 30日	発熱、刺し口、発疹	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 1日	23週	宇和島	男	70歳代	4月 20日	発熱、発疹、肝機能異常、関節痛、筋肉痛	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 8日	24週	松山市	女	70歳代	5月 19日	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 2日	36週	松山市	男	70歳代	8月 18日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、低ナトリウム血症、血小板低下、尿潜血、尿蛋白	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 16日	38週	松山市	女	70歳代	8月 27日	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	中予	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 21日	43週	宇和島	女	60歳代	9月 11日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 27日	44週	八幡浜	男	60歳代	10月 9日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 10日	46週	西条	女	60歳代	10月 1日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	今治	動物・蚊・昆虫等からの感染
12月 14日	51週	宇和島	女	70歳代	10月 19日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染

日本紅斑熱 保健所別届出数の年推移



感染症法施行(1999年4月)以降に届出された日本紅斑熱患者(162人)の内訳



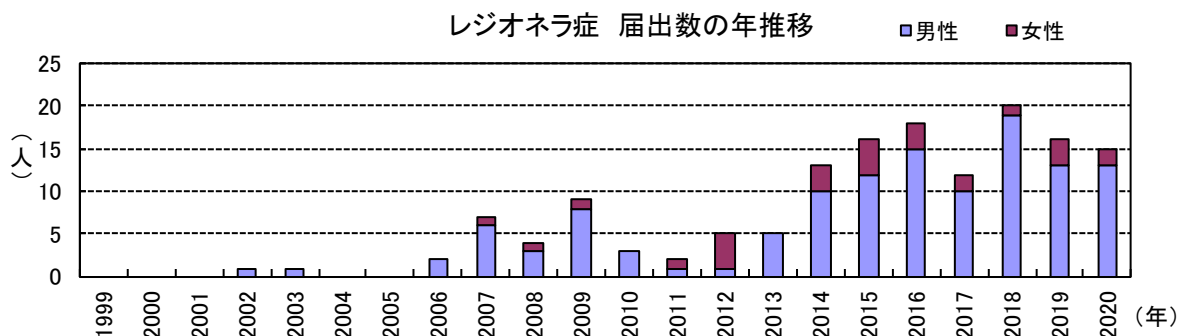
レジオネラ症

レジオネラ症は 15 人の届出があり、病型はすべて肺炎型であった。性別は男性 13 人、女性 2 人で、年齢は 50 歳代 2 人、60 歳代 7 人、70 歳代 3 人、80 歳代 2 人、90 歳代 1 人であった。感染地域は県内 14 人(西条保健所管内 4 人、松山市保健所管内 3 人、宇和島保健所管内 3 人、四国中央保健所管内 1 人、今治保健所管内 1 人、中予保健所管内 1 人、八幡浜保健所管内 1 人)、県外 1 人であった。感染経路は水系感染が 9 人、不明が 6 人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域(保健所)	感染経路
1月 2日	1週	今治	男	70歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	今治	水系感染
1月 20日	4週	松山市	男	50歳代	肺炎型	発熱、肺炎、頭痛	松山市	水系感染
2月 7日	6週	四国中央	女	60歳代	肺炎型	発熱、肺炎	県外	水系感染
2月 17日	8週	宇和島	男	80歳代	肺炎型	呼吸困難、肺炎	宇和島	不明
4月 7日	15週	宇和島	男	70歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	宇和島	不明
6月 2日	23週	西条	男	60歳代	肺炎型	発熱、肺炎	西条	不明
6月 6日	23週	西条	女	90歳代	肺炎型	発熱、肺炎	西条	不明

( 続き )

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域(保健所)	感染経路
6月 12日	24週	西条	男	60歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	西条	不明
6月 21日	25週	八幡浜	男	50歳代	肺炎型	発熱、肺炎	八幡浜	水系感染
7月 21日	30週	松山市	男	80歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	松山市	水系感染
8月 3日	32週	松山市	男	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	松山市	水系感染
9月 17日	38週	松山市	男	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、頭痛	中予	水系感染
10月 4日	40週	四国中央	男	70歳代	肺炎型	発熱、肺炎	四国中央	水系感染
11月 20日	47週	四国中央	男	60歳代	肺炎型	発熱、肺炎、倦怠感	西条	水系感染
11月 24日	48週	宇和島	男	60歳代	肺炎型	発熱、肺炎	宇和島	不明



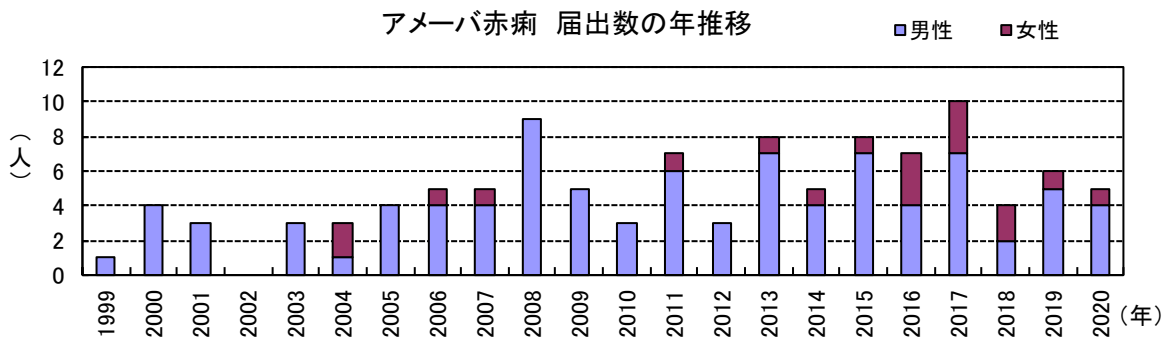
その他 38 疾患 (ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q 熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1 及び H7N9 を除く。)、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱)の届出はなかった。

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は5人の届出があり、病型は腸管アメーバ症4人、腸管外アメーバ症1人であった。性別は男性4人、女性1人で、年齢は40歳代2人、60歳代2人、80歳代1人であった。感染地域はすべて国内(うち県内4人、県外1人)で、感染経路は性的接触2人、経口感染1人、不明2人であった。

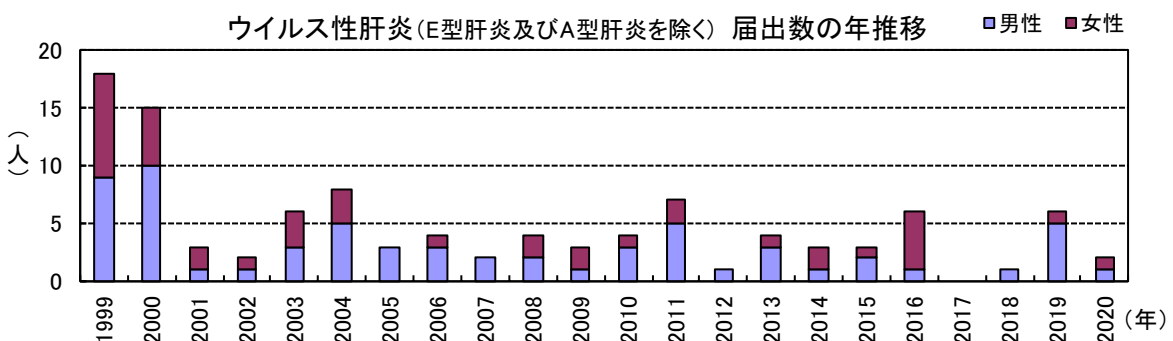
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
1月 7日	2週	松山市	男	60歳代	腸管アメーバ症	便潜血	県内	不明
8月 12日	33週	松山市	男	60歳代	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見	県内	経口感染
8月 26日	35週	中予	男	40歳代	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見	県外	性的接触
9月 15日	38週	松山市	女	80歳代	腸管外アメーバ症	肝膿瘍	県内	不明
11月 10日	46週	今治	男	40歳代	腸管アメーバ症	粘血便、大腸粘膜異常所見	県内	性的接触



ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)

ウイルス性肝炎は2人の届出があり、病型はB型であった。性別は男性1人、女性1人で、年齢は、60歳代1人、70歳代1人であった。いずれも感染地域は県内で、針等の鋭利なものの刺入による感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
2月 28日	9週	今治	男	60歳代	B型	全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸	県内	針等の鋭利なものの刺入による感染
6月 18日	25週	中予	女	70歳代	B型	全身倦怠感、発熱、肝機能異常	県内	針等の鋭利なものの刺入による感染



## カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症は20人の届出があった。性別は男性11人、女性9人で、年齢は40歳代1人、50歳代2人、70歳代8人、80歳代7人、90歳代2人であった。感染地域は県内19人、不明1人で、感染経路は、以前からの保菌9人、手術部位感染、医療器具関連感染、院内感染が各1人、その他3人、不明5人であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月19日	3週	松山市	男	80歳代	敗血症、胆嚢炎、胆管炎	県内	不明
2月20日	8週	今治	女	90歳代	肺炎	県内	その他
4月3日	14週	松山市	男	70歳代	炎症、化膿	県内	手術部位感染
7月2日	27週	宇和島	男	70歳代	尿路感染症	県内	医療器具関連感染
7月10日	28週	松山市	男	80歳代	尿路感染症、肺炎、菌血症、敗血症	県内	以前からの保菌
7月31日	31週	松山市	女	90歳代	肺炎	県内	以前からの保菌
8月6日	32週	四国中央	男	80歳代	尿路感染症	県内	以前からの保菌
8月7日	32週	宇和島	女	80歳代	胆嚢炎	県内	以前からの保菌
8月11日	33週	宇和島	男	70歳代	腸炎	県内	以前からの保菌
8月21日	34週	松山市	男	70歳代	菌血症	県内	その他
8月22日	34週	松山市	女	70歳代	腹膜炎	県内	不明
8月22日	34週	松山市	女	80歳代	菌血症、胆管炎	県内	その他
8月29日	35週	四国中央	女	80歳代	会陰部皮膚炎	県内	以前からの保菌
8月31日	36週	四国中央	女	70歳代	尿路感染症	県内	不明
11月12日	46週	西条	女	70歳代	尿路感染症	県内	以前からの保菌
11月20日	47週	宇和島	女	80歳代	肺炎	不明	不明
12月3日	49週	松山市	男	40歳代	腹膜炎	県内	不明
12月10日	50週	宇和島	男	50歳代	尿路感染症	県内	院内感染
12月17日	51週	今治	男	70歳代	胆管炎	県内	以前からの保菌
12月24日	52週	松山市	男	50歳代	硬膜外膿瘍	県内	以前からの保菌



急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)

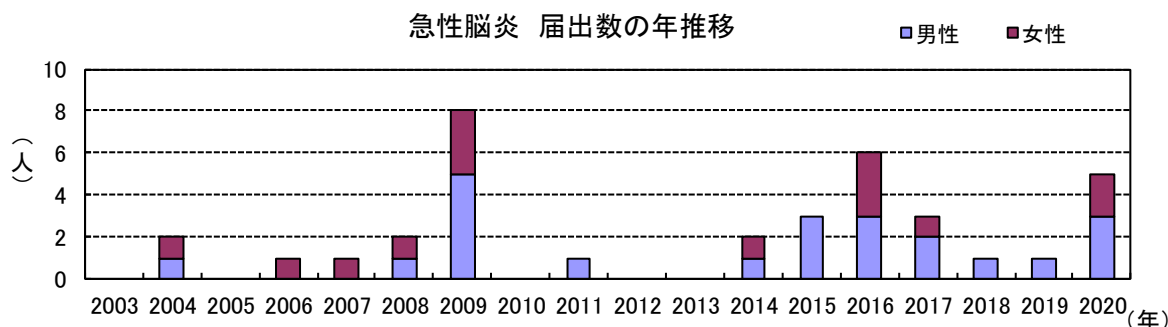
急性弛緩性麻痺は1～4歳女性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路、病原体は不明であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
8月 21日	34週	中予	女	1～4歳	弛緩性麻痺(左右上肢、左下肢)、膀胱直腸障害、発熱、脊髄の画像異常所見	県内	不明

急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)

急性脳炎は5人の届出があった。性別は男性3人、女性2人で、年齢は10歳未満4人、10歳代1人であった。感染地域はすべて国内(県内4人、都道府県不明1人)で、感染経路は飛沫・飛沫核感染4人、不明1人であった。

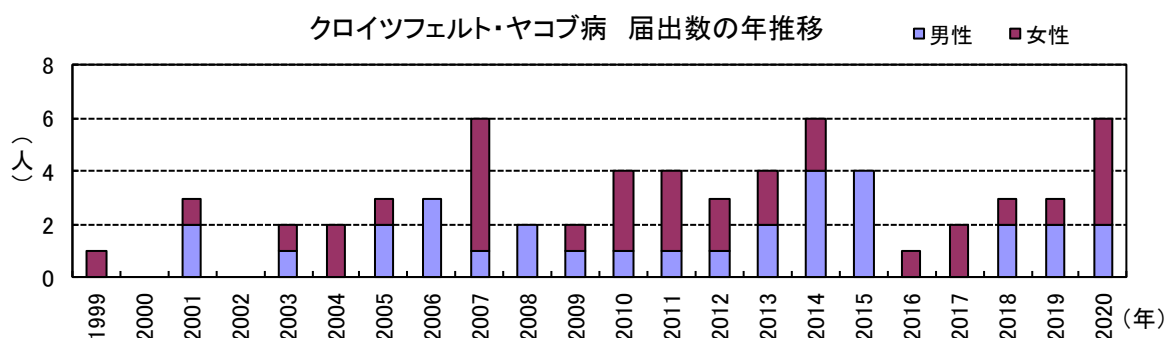
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 3日	1週	松山市	男	10歳未満	発熱、痙攣、意識障害	県外	飛沫・飛沫核感染
1月 14日	3週	松山市	男	10歳未満	発熱、意識障害	県内	飛沫・飛沫核感染
1月 20日	4週	松山市	男	10歳未満	発熱、意識障害	県内	飛沫・飛沫核感染
1月 31日	5週	松山市	女	10歳未満	発熱、意識障害	県内	飛沫・飛沫核感染
6月 17日	25週	今治	女	10歳代	発熱、頭痛、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加	県内	不明



クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は6人の届出があった。性別は男性2人、女性4人で、年齢は60歳代1人、70歳代2人、80歳代3人であった。いずれも病型は孤発性で、診断の確実度はほぼ確実であった。

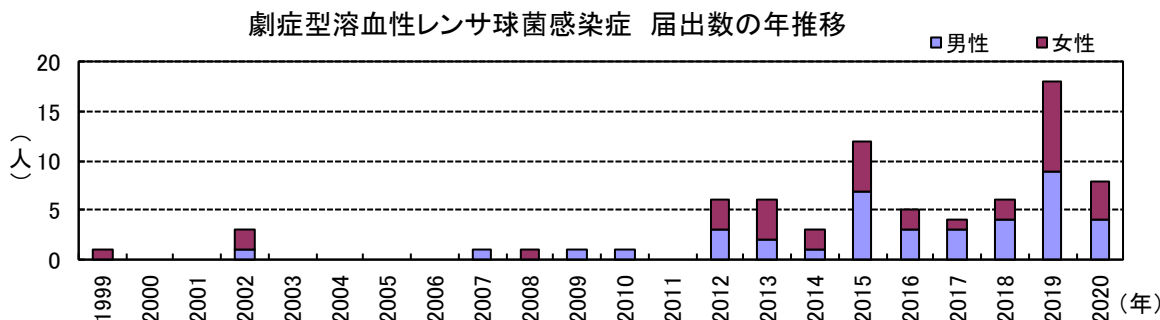
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型 (診断の確実度)	症状
3月 11日	11週	松山市	女	80歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、錐体外路症状、視覚異常、無動性無言状態、記憶障害、精神・知能障害、筋強剛
5月 20日	21週	西条	男	60歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、錐体外路症状、記憶障害、精神・知能障害、筋強剛
6月 3日	23週	松山市	男	70歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、記憶障害、精神・知能障害、痙性対麻痺
7月 3日	27週	中予	女	70歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、錐体路症状、小脳症状
10月 5日	41週	松山市	女	80歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、錐体外路症状、視覚異常
10月 16日	42週	松山市	女	80歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、ミオクローヌス、小脳症状、視覚異常、記憶障害



**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は 8 人の届出があった。性別は男性 4 人、女性 4 人で、年齢は、40 歳代 2 人、50 歳代 1 人、70 歳代 2 人、80 歳代 2 人、90 歳代 1 人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は創傷感染が 3 人、その他が 3 人、不明が 2 人であった。検出された病原体の血清群は A 群が 4 人、B 群、G 群が各 2 人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病原体	症状	感染地域	感染経路
2月 12日	7週	松山市	女	40歳代	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
3月 6日	10週	宇和島	女	40歳未満	B群	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC	県内	不明
4月 19日	16週	松山市	女	70歳代	A群	ショック、肝不全、腎不全、DIC、中枢神経症状	県内	不明
6月 19日	25週	中予	男	80歳代	A群	ショック、肝不全、腎不全、軟部組織炎	県内	その他
7月 13日	29週	松山市	男	70歳代	B群	ショック、肝不全、腎不全、全身性紅斑性発疹、発熱	県内	創傷感染
8月 12日	33週	松山市	男	50歳代	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
8月 17日	34週	宇和島	男	90歳代	G群	ショック、肝不全、腎不全、中枢神経症状	県内	不明
11月 14日	46週	松山市	女	80歳代	G群	ショック、腎不全、DIC、中枢神経症状	県内	不明



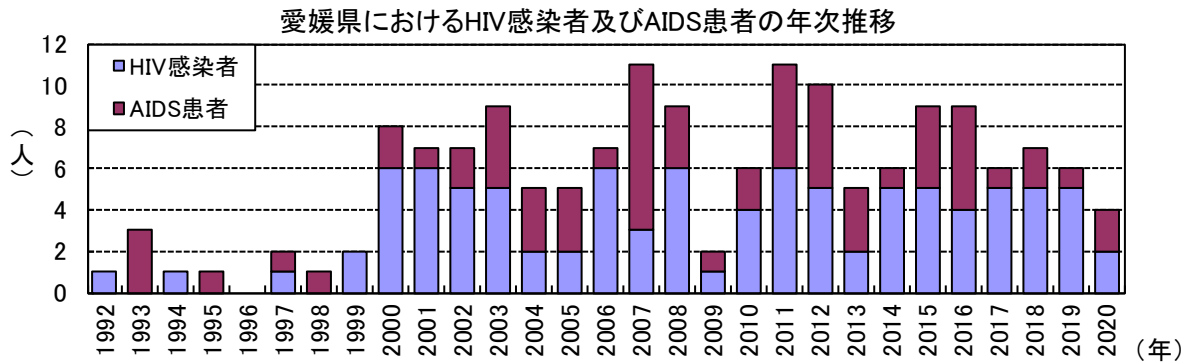
### 後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は4人の届出があり、病型は無症候性キャリアが2人、AIDSが2人であった。性別は男性3人、女性1人で、年齢は30歳代1人(無症候性キャリア)、40歳代3人(無症候性キャリア1人、AIDS2人)であった。感染地域は国内2人、不明2人で、感染経路は同性間性的接触が3人、異性間性的接触が1人であった。

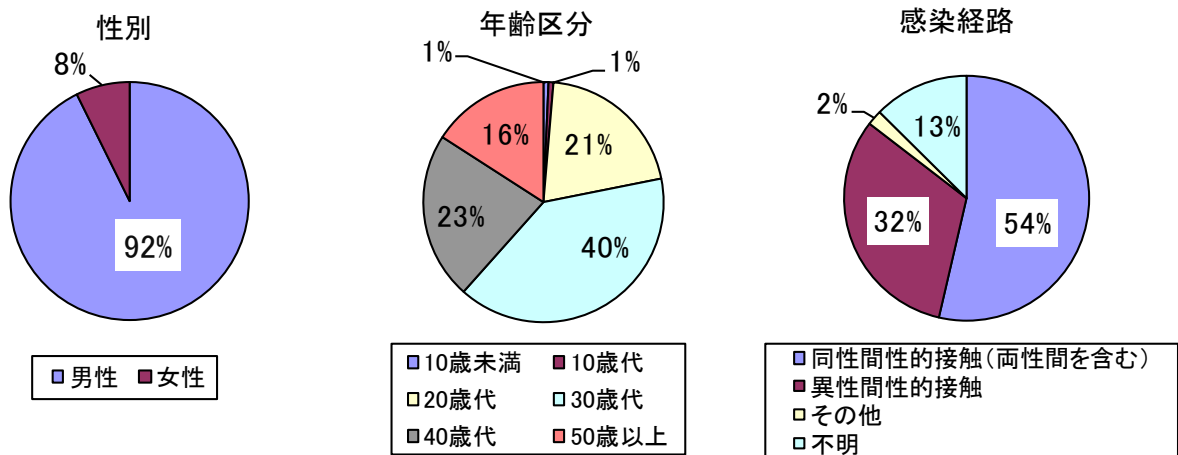
県内のHIV感染者(無症候性キャリア、その他)及びAIDS患者数の年次推移をみると、1992年から1999年までは毎年1~2人程度で推移していたが、2000年以降は2009年を除き年間5~10人程度と多い状態が続いている。

1999年4月以降、感染症法に基づいて届出された151人のうち、性別は男性が139人と全体の92.1%を占めている。男性139人の年齢は、20歳未満が1人(0.7%)、20歳代が30人(21.6%)、30歳代が56人(40.3%)、40歳代が28人(20.1%)、50歳代が16人(11.5%)、60歳以上が8人(5.8%)であり、20~40歳代が114人(82.0%)と多い。感染経路は性的接触が129人(同性間(両性間を含む)81人、異性間48人)と85.4%を占め、感染地域は国内感染例が121人(80.1%)を占める。これらのことから、県内におけるHIV感染者及びAIDS患者は、20歳代から40歳代の男性を中心に、国内での性的接触によるものが多いと言える。また、AIDSを発症してはじめて感染が確認される割合は、年齢が上がるにつれ多くなり、50歳以上では7割以上に上ることから、発症前の検査で早期に発見することが重要である。

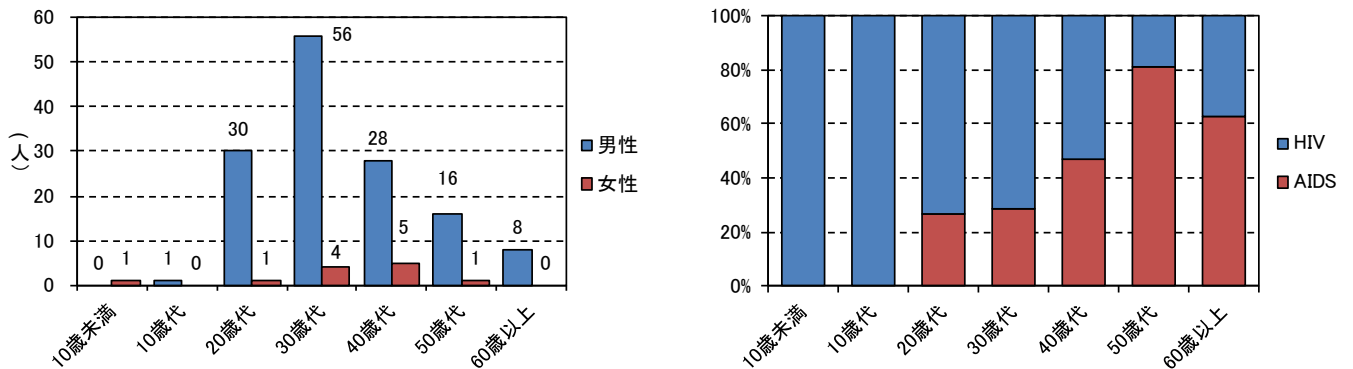
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
2月 25日	9週	中予	男	40歳代	AIDS	不明	同性間性的接触
3月 19日	12週	中予	女	30歳代	無症候性キャリア	国内	異性間性的接触
7月 26日	30週	四国中央	男	40歳代	AIDS	不明	同性間性的接触
11月 10日	46週	今治	男	40歳代	無症候性キャリア	国内	同性間性的接触



1999年4月以降 感染症法に基づいて届出されたHIV感染者及びAIDS患者(151人)の内訳



1999年4月以降 感染症法に基づいて届出された HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢分布(n=151)



侵襲性インフルエンザ菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は2人の届出があった。性別は男性1人、女性1人で、年齢は10歳未満1人、80歳代1人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路はいずれも不明であった

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
7月 25日	30週	八幡浜	女	80歳代	発熱、肺炎	県内	不明
12月 28日	53週	松山市	男	10歳未満	発熱、嘔吐、肺炎、菌血症	県内	不明

### 侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は10人の届出があった。性別は男性5人、女性5人で、年齢は50歳代1人、60歳代2人、70歳代3人、80歳代2人、90歳代2人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染が1人、不明が9人であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 3日	1週	宇和島	女	90歳代	発熱、菌血症	県内	不明
1月 9日	2週	松山市	男	60歳代	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
1月 27日	5週	松山市	男	60歳代	発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症、ショック	県内	不明
1月 29日	5週	宇和島	男	90歳代	発熱、菌血症	県内	不明
2月 9日	6週	松山市	男	70歳代	発熱、髄膜炎、菌血症	県内	不明
2月 28日	9週	松山市	男	70歳代	発熱、腰痛	県内	不明
3月 10日	11週	松山市	女	50歳代	発熱、咳、意識障害、菌血症	県内	不明
5月 7日	19週	西条	女	80歳代	発熱、咳、肺炎	県内	不明
7月 18日	29週	松山市	女	80歳代	発熱、項部硬直、髄膜炎	県内	不明
11月 12日	46週	松山市	女	70歳代	発熱、全身倦怠感、意識障害、菌血症、肩関節膿瘍、仙骨の骨髄炎	県内	不明

水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）（入院例）

水痘（入院例）は50歳代女性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は不明であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
2月 3日	6週	松山市	女	50歳代	臨床診断例	発熱、発疹	不明	不明

### 梅毒

梅毒は60人の届出があった。性別は男性42人、女性18人で、男性の年齢は10歳代2人、20歳代14人、30歳代10人、40歳代10人、50歳代6人で、20～40歳代が81.0%を占め、女性の年齢は10歳代2人、20歳代6人、30歳代6人、40歳代3人、50歳代1人で、20～40歳代が83.3%を占めた。病型は無症候13人、早期顕症梅毒46人（I期31人、II期15人）、晚期顕症梅毒1人で、感染地域は国内57人（うち県内43人、県外12人、都道府県不明2人）、不明3人で、感染経路は性的接触が56人、不明が4人であった。

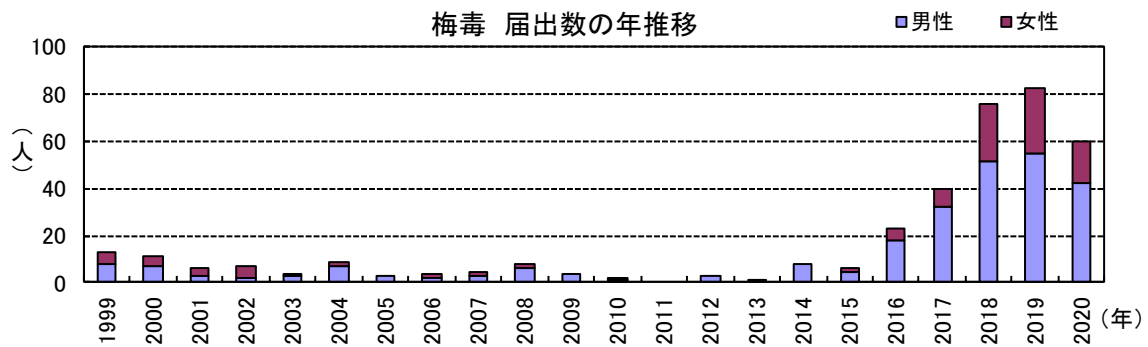
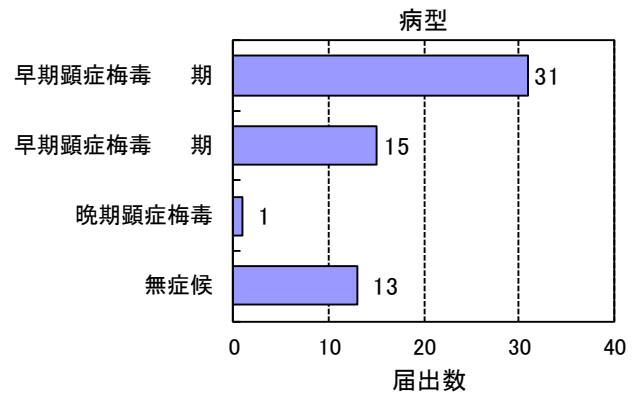
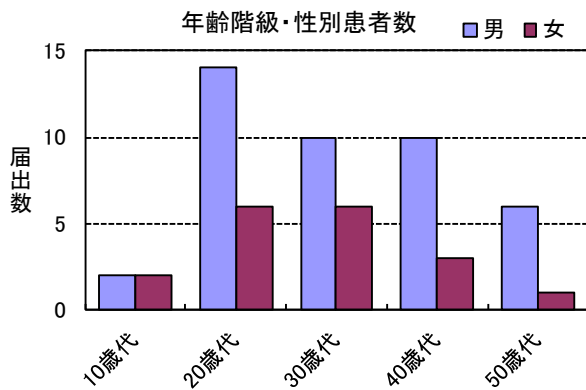
診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
1月 15日	3週	西条	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県外	性的接触
1月 21日	4週	松山市	女	30歳代	無症候	県内	性的接触
1月 30日	5週	松山市	女	20歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触
2月 5日	6週	西条	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県外	性的接触
2月 17日	8週	松山市	男	50歳代	無症候	県外	性的接触
2月 26日	9週	西条	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
3月 5日	10週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触
3月 24日	13週	西条	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
3月 30日	14週	宇和島	女	30歳代	無症候	県内	性的接触
3月 31日	14週	松山市	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
4月 1日	14週	西条	女	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
4月 3日	14週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
4月 3日	14週	西条	男	50歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県外	性的接触
4月 4日	14週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
4月 8日	15週	松山市	女	40歳代	無症候	県内	性的接触
4月 8日	15週	松山市	女	10歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
4月 10日	15週	松山市	男	40歳代	無症候	県内	性的接触
4月 13日	16週	西条	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
4月 15日	16週	四国中央	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県外	性的接触
4月 20日	17週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触
4月 23日	17週	八幡浜	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県外	性的接触
5月 8日	19週	松山市	女	40歳代	無症候	県内	性的接触
5月 13日	20週	松山市	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
5月 13日	20週	松山市	女	20歳代	無症候	県外	性的接触
5月 18日	21週	宇和島	女	10歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県外	性的接触
5月 25日	22週	八幡浜	女	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
5月 30日	22週	松山市	女	20歳代	無症候	県内	性的接触
5月 30日	22週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
6月 12日	24週	松山市	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触

( 続き )

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
6月 12日	24週	四国中央	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
6月 19日	25週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触
6月 24日	26週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
7月 10日	28週	松山市	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
7月 21日	30週	西条	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県外	性的接触
7月 31日	31週	西条	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県外	性的接触
8月 4日	32週	松山市	女	30歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触
8月 14日	33週	松山市	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
8月 19日	34週	松山市	男	10歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
8月 19日	34週	松山市	女	40歳代	無症候	県内	性的接触
8月 20日	34週	西条	男	40歳代	無症候	国内	不明
8月 26日	35週	松山市	男	50歳代	無症候	県内	不明
8月 27日	35週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
8月 29日	35週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	不明
8月 31日	36週	中予	女	30歳代	無症候	県内	性的接触
9月 1日	36週	松山市	男	50歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
9月 1日	36週	今治	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
10月 13日	42週	松山市	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
10月 13日	42週	松山市	女	30歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触
10月 19日	43週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	不明	性的接触
10月 21日	43週	松山市	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	不明	性的接触
10月 21日	43週	松山市	女	20歳代	無症候	国内	性的接触
10月 30日	44週	今治	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県外	性的接触
10月 31日	44週	松山市	男	50歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
11月 17日	47週	松山市	男	10歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触
11月 17日	47週	今治	男	20歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	不明	性的接触
11月 27日	48週	中予	女	50歳代	晩期顕症梅毒	県内	不明
11月 30日	49週	今治	女	30歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触

( 続き )

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
12月 17日	51週	宇和島	男	50歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県外	性的接触
12月 25日	52週	松山市	男	40歳代	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	性的接触
12月 28日	53週	松山市	男	30歳代	早期顕症梅毒Ⅰ期	県内	性的接触



播種性クリプトコックス症

播種性クリプトコックス症は70歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路・感染原因は免疫不全であった。

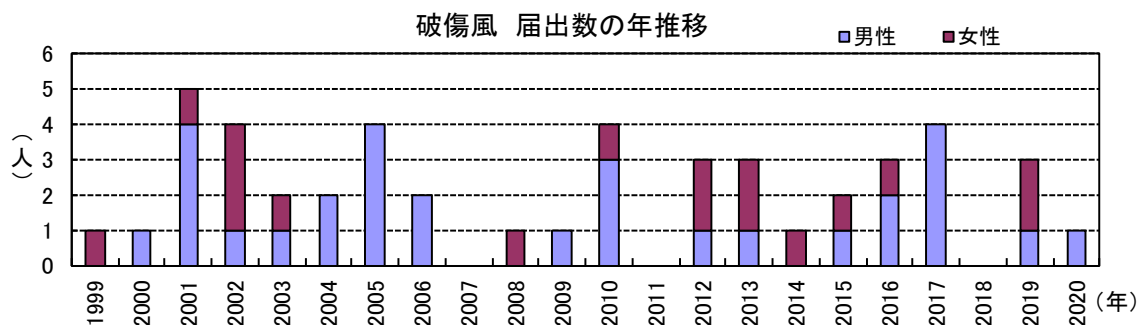
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
2月 26日	9週	中予	男	70歳代	発熱、意識障害、痙攣、真菌血症	県内	免疫不全



## 破傷風

破傷風は 80 歳代男性 1 人の届出があった。感染地域は不明で、感染経路・感染原因は創傷感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
3月 31日	14週	八幡浜	男	80歳代	開口障害、発語障害、後頭部痛	不明	創傷感染



## 百日咳

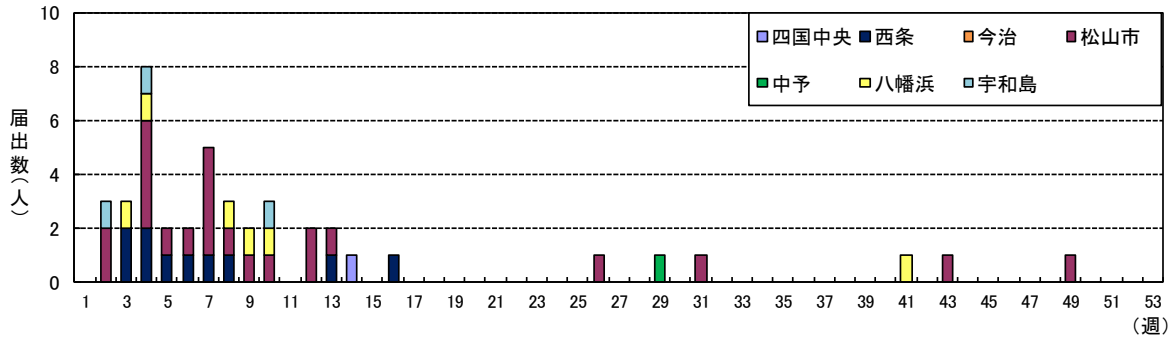
百日咳は 43 人の届出があった。性別は男性 24 人、女性 19 人で、年齢は 10 歳未満 21 人、10 歳代 10 人、20 歳代 4 人、30 歳代 3 人、40 歳代 2 人、50 歳代 1 人、60 歳代 1 人、70 歳代 1 人で、20 歳未満が 72.1%を占めた。感染地域は国内 35 人(県内 34 人、県外 1 人)、不明 8 人で、感染経路は家族内感染が 10 人、学校・幼稚園で流行が 8 人、不明が 25 人であった。また、患者の届出は、松山市保健所が 22 人(51.2%)と多く、次いで、西条保健所が 10 人(23.3%)八幡浜保健所 6 人(14.0%)、宇和島保健所 3 人(7.0%)、四国中央保健所 1 人(2.3%)、中予保健所 1 人(2.3%)であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 7日	2週	松山市	男	20歳代	持続する咳	県内	家族内感染
1月 9日	2週	宇和島	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	家族内感染
1月 10日	2週	松山市	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	不明	不明
1月 14日	3週	八幡浜	男	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	家族内感染
1月 17日	3週	西条	女	10歳未満	持続する咳	県内	家族内感染
1月 17日	3週	西条	男	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	不明
1月 20日	4週	西条	女	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	不明
1月 21日	4週	松山市	女	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐	県内	不明
1月 21日	4週	八幡浜	女	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	学校・幼稚園
1月 22日	4週	西条	女	10歳未満	持続する咳	県内	家族内感染
1月 23日	4週	松山市	男	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	不明	不明
1月 23日	4週	松山市	男	10歳未満	持続する咳	県内	家族内感染
1月 23日	4週	宇和島	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	不明

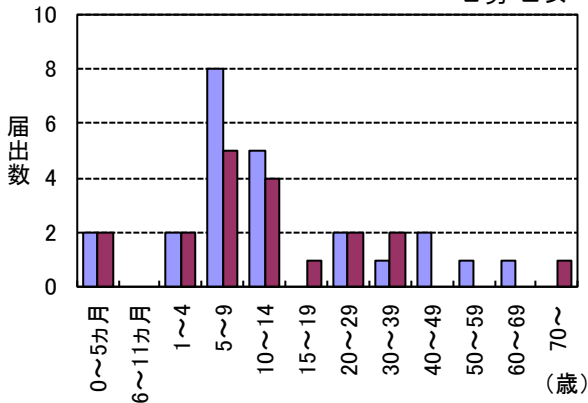
( 続き )

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 25日	4週	松山市	女	10歳未満	持続する咳	県内	学校・幼稚園
1月 28日	5週	西条	男	10歳未満	持続する咳	県内	不明
1月 31日	5週	松山市	女	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、 スタックカート、ウーズ、嘔吐	県内	不明
2月 4日	6週	松山市	男	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐	県内	不明
2月 8日	6週	西条	女	10歳代	持続する咳、白血球数増多	県内	不明
2月 12日	7週	松山市	男	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦	県内	学校・幼稚園
2月 12日	7週	松山市	女	70歳代	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、 白血球数増多、肺炎	県内	家族内感染
2月 13日	7週	松山市	女	10歳代	持続する咳	不明	不明
2月 14日	7週	西条	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐	県内	不明
2月 15日	7週	松山市	男	40歳代	持続する咳	不明	不明
2月 17日	8週	八幡浜	女	30歳代	持続する咳、嘔吐、白血球数増多	県内	不明
2月 19日	8週	西条	女	10歳代	持続する咳	県内	家族内感染
2月 21日	8週	松山市	男	50歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	不明	不明
2月 26日	9週	松山市	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	学校・幼稚園
2月 27日	9週	八幡浜	女	10歳未満	持続する咳	県内	学校・幼稚園
3月 2日	10週	宇和島	女	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐	県内	家族内感染
3月 3日	10週	松山市	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	学校・幼稚園
3月 4日	10週	八幡浜	男	60歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	不明
3月 16日	12週	松山市	女	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	学校・幼稚園
3月 17日	12週	松山市	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	学校・幼稚園
3月 25日	13週	西条	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県外	不明
3月 27日	13週	松山市	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐	不明	家族内感染
4月 3日	14週	四国中央	男	40歳代	持続する咳	県内	不明
4月 17日	16週	西条	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	不明
6月 24日	26週	松山市	男	30歳代	持続する咳、肺炎、発熱	不明	不明
7月 17日	29週	中予	女	10歳未満	夜間の咳き込み	県内	不明
7月 30日	31週	松山市	女	30歳代	持続する咳	県内	不明
10月 7日	41週	八幡浜	女	20歳代	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦	県内	不明
10月 19日	43週	松山市	男	20歳代	持続する咳	不明	不明
12月 5日	49週	松山市	女	20歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	不明

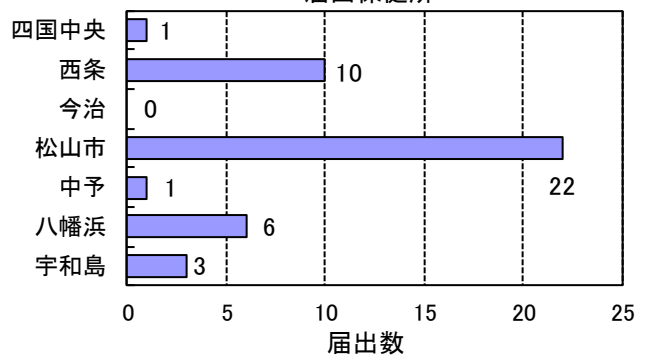
百日咳 保健所別届出数の週推移



年齢階級・性別患者数



届出保健所



風しん

風しんは 20 歳代男性 1 人の届出があった。病型は検査診断例で、感染地域は県内であった。ワクチン接種歴はなかった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	ワクチン接種歴
1月 17日	3週	四国中央	男	20歳代	検査診断例	発熱、咳、鼻汁、発疹、 関節痛・関節炎	県内	不明

その他 8 疾患 (クリプトスポリジウム症、ジアルジア症、侵襲性髄膜炎菌感染症、先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症)の届出はなかった。

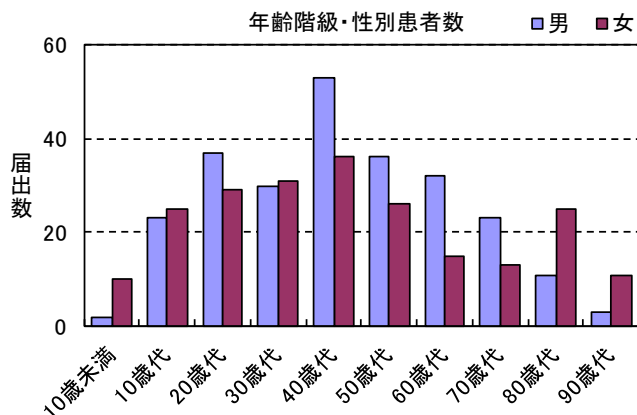
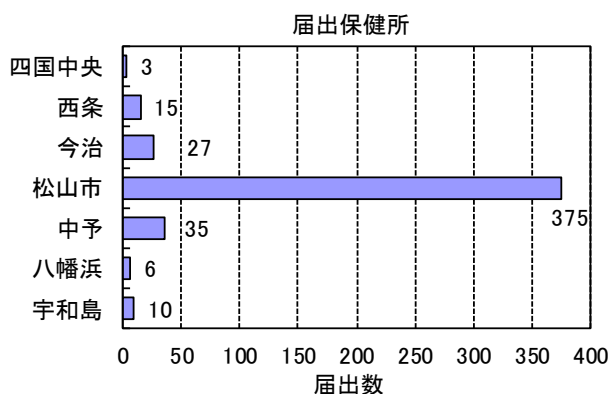
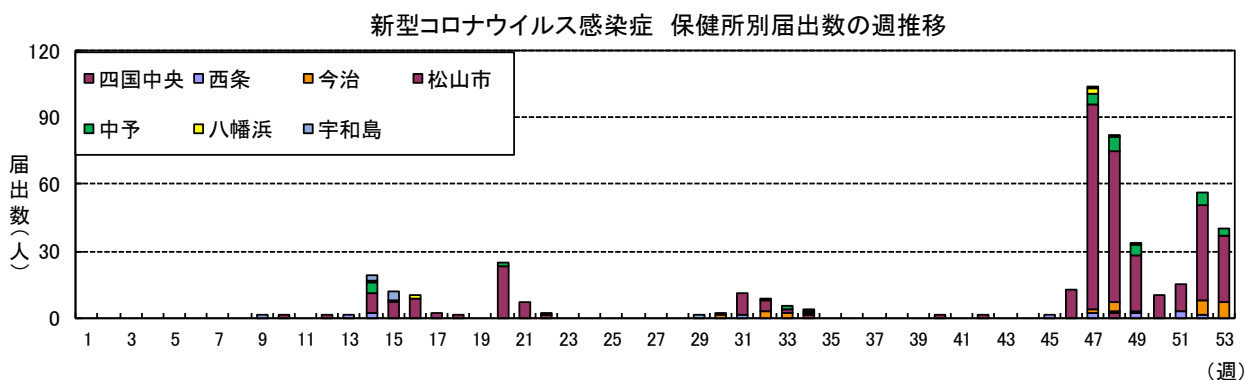
(6) 新型インフルエンザ等感染症

新型インフルエンザ及び再興型インフルエンザの届出はなかった。

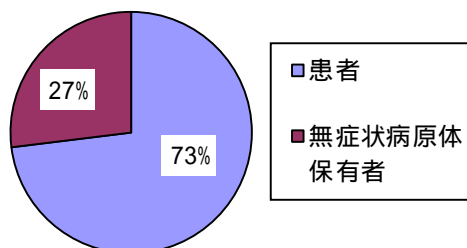
(7) 指定感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は 471 人の届出があった。性別は男性 250 人、女性 221 人で、年齢は 10 歳未満 12 人、10 歳代 48 人、20 歳代 66 人、30 歳代 61 人、40 歳代 89 人、50 歳代 62 人、60 歳代 47 人、70 歳代 36 人、80 歳代 36 人、90 歳代 14 人で 20～50 歳代が 59.0%を占めた。診断類型は患者が 344 人(73.0%)、無症状病原体保有者が 127 人(27.0%)であった。また、患者の届出は、松山市保健所が 375 人(79.6%)と多く、次いで、中予保健所 35 人(7.4%)、今治保健所 27 人(5.7%)、西条保健所が 15 人(3.2%)、宇和島保健所 10 人(2.1%)、八幡浜保健所 6 人(1.3%)、四国中央保健所 3 人(0.6%)であった。



診断類型



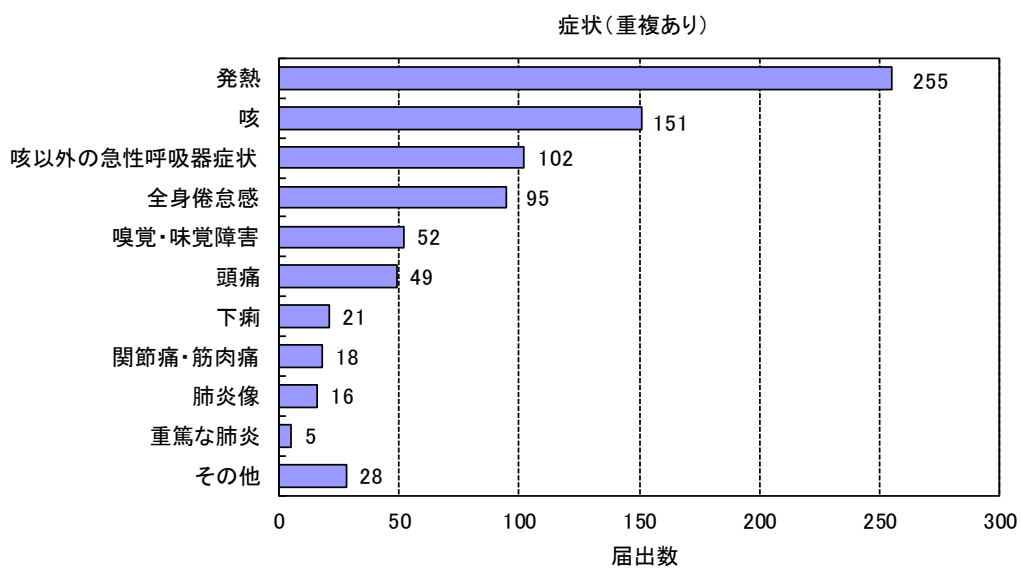


表 2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)

感染症 類型	疾病名	年	愛媛県					全国							
			2020	2019	2018	2017	2016	2015	2020	2019	2018	2017	2016	2015	
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ベスト														
	マールブルグ病														
	ラッサ熱														
二類	急性灰白髄炎														
	結核	158	147	176	200	191	203	17,745	21,672	22,448	23,427	24,669	24,523		
	ジフテリア														
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)														
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る) <sup>1</sup>														
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)														
	鳥インフルエンザ(H7N9) <sup>1</sup>														
	コレラ							1	5	4	7	9	7		
	細菌性赤痢			1			1	87	140	268	141	121	156		
	腸管出血性大腸菌感染症	17	17	23	13	6	10	3,092	3,744	3,854	3,904	3,647	3,573		
	腸チフス	1			2			21	37	35	37	52	37		
	パラチフス				1			7	21	23	14	20	32		
	E型肝炎	1	3		3		3	454	493	446	305	356	212		
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
	A型肝炎	1	2	3	5	8	4	120	425	926	285	272	243		
	エキノкокクス症							22	28	19	30	27	25		
	黄熱														
	オウム病							7	13	6	13	6	5		
	オムスク出血熱														
	回帰熱							15	7	6	8	7	4		
四類	ギヤサスル森林病														
	Q熱								2	3					
	狂犬病							1							
	コクシジオイデス症							6	2	2	4	3	3		
	サル痘														
	ジカウイルス感染症 <sup>2</sup>						-	1	3		5	12	-		
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)	2	3	3	4	1	1	78	101	77	90	60	60		
	腎臓候性出血熱														
	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎									1	2	1			
	炭疽														
	チクングニア熱							3	49	4	5	14	17		
	つつが虫病	1				2		536	404	456	447	505	422		
	デング熱		1		4	3	1	45	461	201	245	342	293		
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱	9	10	9	14	13	14	421	318	305	337	277	215		
	日本脳炎							5	9		3	11	2		
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病								2						
	鼻疽														
	ブルセラ症							2	2	3	2	2	5		
	ベネズエラウマ脳炎														
	ヘンドラウイルス感染症														
	発しんチフス														
	ボツリヌス症							4	3	2	4	5	1		
	マラリア		1	1			1	21	57	50	61	54	40		
	野兎病													2	
	ライム病							27	17	13	19	8	9		
	リッサウイルス感染症														
	リフトバレー熱														
	類鼻疽							1	2	2	1		1		
	レジオネラ症	15	16	20	12	18	16 <sup>18</sup>	2,058	2,316	2,142	1,733	1,602	1,592		
	レプトスピラ症		1					16	32	32	46	76	33		
ロッキー山紅斑熱															
五類	アメーバ赤痢	5	6	4	10	7	8	613	853	843	1,089	1,151	1,109		
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	2	6	1		6	3	246	331	277	294	280	255		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	20	15	7	12	9	10	1,952	2,333	2,289	1,660	1,573	1,671		
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) <sup>3</sup>	1	1	3	-	-	-	34	78	141	-	-	-		
	急性脳炎 <sup>4</sup>	5	1	1	3	6	3	490	959	679	702	763	511		
	クリプトスポリジウム症							6	19	25	19	14	15		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6	3	3	2	1	4	154	193	221	200	175	192		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8	18	6	4	5	12	764	894	694	587	494	415		
	後天性免疫不全症候群	4	6	7	6	9	9	1,096	1,231	1,301	1,395	1,443	1,431		
	ジアルジア症					1		28	53	68	60	71	81		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	5		2		1	253	543	488	372	312	252		
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1				14	48	37	25	43	34		
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	14	16	13	12	10	1,655	3,344	3,328	3,205	2,735	2,403		
	水痘(入院例)	1	3	2	2	1	1	362	492	466	312	318	313		
	先天性風しん症候群							1	4						
	梅毒	60	82	76	40	23	6	5,871	6,642	7,007	5,826	4,575	2,690		
	播種性クリプトコックス症	1	1	1	1	1	1	152	156	180	137	137	120		
	破傷風	1	3		4	3	2	105	126	134	125	129	120		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1		1			136	80	80	83	61	66		
	百日咳 <sup>5</sup>	43	320	151	-	-	-	2,947	16,845	12,115	-	-	-		
	風しん	1	6	7			1	102	2,298	2,941	91	126	163		
	麻しん							12	744	279	186	165	35		
	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1				10	24	24	28	33	38		
	新型インフル ルエンザ等	新型インフルエンザ													
		再興型インフルエンザ													
指定感染症	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る) <sup>6</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	鳥インフルエンザ(H7N9) <sup>7</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。) <sup>8</sup> であるものに限る。) <sup>9</sup>	471	-	-	-	-	-	234,109	-	-	-	-	-		
計		846	692	523	358	326	325	41,799	68,655	64,945	47,571	46,756	43,426		

\*1:2015年1月21日からの集計 \*2:2016年2月15日からの集計 \*3:2018年5月1日からの集計 \*4:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 \*5:2018年1月1日からの集計 \*6:2014年7月26日から2015年1月20日までの集計(2015年1月21日以降、二類感染症に変更) \*7:2013年5月6日から2015年1月20日までの集計(2015年1月21日以降、二類感染症に変更) \*8:診断日2014年12月29日(2015年第1週分)1例含む \*9:2020年2月3日からの集計

表 2-1-2 2020年全数把握対象疾患発生状況(月別)

2020年1月1日～2020年12月31日

感染症類 型	疾病名	月													
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ペスト														
	マールブルグ病														
	ラッサ熱														
二類	急性灰白髄炎														
	結核	158	11	10	13	12	14	16	14	12	13	16	14	13	
	ジフテリア														
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限り)														
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限り)														
	鳥インフルエンザ(H5N1)														
鳥インフルエンザ(H7N9)															
三類	コレラ														
	細菌性赤痢														
	腸管出血性大腸菌感染症	17		1		1	1	4	1		7	2			
	腸チフス	1			1										
	パラチフス														
四類	E型肝炎	1			1										
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
	A型肝炎	1										1			
	エキノкокクス症														
	黄熱														
	オウム病														
	オムスク出血熱														
	回帰熱														
	キャサスル森林病														
	Q熱														
	狂犬病														
	コクシジオイデス症														
	サル痘														
	ジカウイルス感染症														
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限り)	2							1	1					
	腎症候性出血熱														
	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎														
	炭疽														
	チクングニア熱														
	つつが虫病	1												1	
	デング熱														
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱	9						1	2		2	2	1	1	
	日本脳炎														
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病														
	鼻疽														
	ブルセラ症														
	ベネズエラウマ脳炎														
	ヘンドラウイルス感染症														
	糞しんチフス														
	ボツリヌス症														
	マラリア														
	野兔病														
	ライム病														
	リッサウイルス感染症														
	リフトバレー熱														
	類鼻疽														
	レジオネラ症	15	2	2		1		4	1	1	1	1	2		
	レプトスピラ症														
	ロッキー山紅斑熱														
	五類	アメーバ赤痢	5	1							2	1	1		
		ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	2		1				1						
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	20	1	1		1			3	8		2	4	
		急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1								1				
急性脳炎 <sup>1)</sup>		5	4						1						
クリプトスポリジウム症															
クロイツフェルト・ヤコブ病		6			1		1	1	1			2			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8		1	1	1		1	1	2			1		
後天性免疫不全症候群		4		1	1				1				1		
ジアルジア症															
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2							1					1	
侵襲性髄膜炎菌感染症															
侵襲性肺炎球菌感染症		10	4	2	1		1		1				1		
水痘(入院例)		1		1											
先天性風しん症候群															
梅毒		60	3	3	4	11	7	4	3	9	2	7	4	3	
播種性クリプトкокクス症		1		1											
破傷風		1			1										
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症															
バンコマイシン耐性腸球菌感染症															
百日咳		43	16	12	7	2		1	2			2		1	
風しん		1	1												
麻しん															
薬剤耐性アシネトバクター感染症															
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ														
	再興型インフルエンザ														
指定感染症	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))	471			9	38	35		7	25		2	204	151	
計		846	43	36	40	67	60	36	37	60	26	35	231	175	

(診断年月日による集計)

\*1:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

表 2-1-3 2020年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)

2020年1月1日～2020年12月31日

感染症 種類	疾病名	保健所	計	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
一類	エボラ出血熱									
	クリミア・コンゴ出血熱									
	痘そう									
	南米出血熱									
	ペスト									
	マールブルグ病									
	ラッサ熱									
二類	急性灰白髄炎									
	結核		158	8	19	21	43	14	29	24
	ジフテリア									
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限り)									
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限り)									
	鳥インフルエンザ(H5N1) 鳥インフルエンザ(H7N9)									
三類	コレラ									
	細菌性赤痢									
	腸管出血性大腸菌感染症		17		1	2	12		2	
	腸チフス		1					1		
	パラチフス									
四類	E型肝炎		1				1			
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)									
	A型肝炎		1		1					
	エキノコックス症									
	黄熱									
	オウム病									
	オムスク出血熱									
	回帰熱									
	キャサヌル森林病									
	Q熱									
	狂犬病									
	コクシジオイデス症									
	サル痘									
	ジカウイルス感染症									
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限り)		2						1	1
	腎症候性出血熱									
	西部ウマ脳炎									
	ダニ媒介脳炎									
	炭疽									
	チクングニア熱									
	つつが虫病		1					1		
	デング熱									
	東部ウマ脳炎									
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)									
	ニパウイルス感染症									
	日本紅斑熱		9		1		3		1	4
	日本脳炎									
	ハンタウイルス肺症候群									
	Bウイルス病									
	鼻疽									
	ブルセラ症									
	ベネズエラウマ脳炎									
	ヘンドラウイルス感染症									
	発しんチフス									
	ボツリヌス症									
	マラリア									
	野兔病									
	ライム病									
	リッサウイルス感染症									
	リフトバレー熱									
	類鼻疽									
	レジオネラ症		15	3	3	1	4		1	3
	レプトスピラ症									
	ロッキー山紅斑熱									
	五類	アムール赤痢		5			1	3	1	
ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)			2			1		1		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			20	3	1	2	9			5
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1					1		
急性脳炎 <sup>*1</sup>			5			1	4			
クリプトスポリジウム症										
クロイツフェルト・ヤコブ病			6		1		4	1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			8				5	1		2
後天性免疫不全症候群			4	1		1		2		
ジアルジア症										
侵襲性インフルエンザ菌感染症			2				1		1	
侵襲性髄膜炎菌感染症										
侵襲性肺炎球菌感染症			10		1		7			2
水痘(入院例)			1				1			
先天性風しん症候群										
梅毒			60	2	10	4	37	2	2	3
播種性クリプトコックス症			1					1		
破傷風			1							1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症										
バンコマイシン耐性腸球菌感染症										
百日咳			43	1	10		22	1	6	3
風しん			1	1						
麻しん										
薬剤耐性アシネトバクター感染症										
新型イン フルエンザ等	新型インフルエンザ									
	再興型インフルエンザ									
指定感染症	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナ ウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華 人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染 する能力を有することが新たに報告されたものに限 る。)であるものに限る。)		471	3	15	27	375	35	6	10
	計		846	22	63	61	532	61	50	57

(届出受理保健所による集計)

\*1:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。



表 2-1-4 2020年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)

2020年1月1日～2020年12月31日

感染症 類型	疾病名	年齢区分																	
		計	0 歳	1   4	5   9	10   14	15   19	20   24	25   29	30   34	35   39	40   44	45   49	50   54	55   59	60   64	65   69	70 歳 以上	
一類	エボラ出血熱																		
	クリミア・コンゴ出血熱																		
	痘そう																		
	南米出血熱																		
	ペスト																		
	マールブルグ病																		
二類	ラッサ熱																		
	急性灰白髄炎																		
	結核	158	5	2		1		6	4	4	3	5	1	7	1	10	13	96	
	ジフテリア																		
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																		
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る)																		
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)																		
	鳥インフルエンザ(H7N9)																		
	コレラ																		
	細菌性赤痢																		
	腸管出血性大腸菌感染症	17		3	2	1	2	2			2	2						3	
	腸チフス	1													1				
四類	バラチフス																		
	E型肝炎	1																1	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																		
	A型肝炎	1																1	
	エキノコックス症																		
	黄熱																		
	オウム病																		
	オムスク出血熱																		
	回帰熱																		
	キャサスル森林病																		
	Q熱																		
	狂犬病																		
	コクシジオイデス症																		
	サル痘																		
	ジカウイルス感染症																		
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)	2													1			1	
	腎症候性出血熱																		
	西部ウマ脳炎																		
	ダニ媒介脳炎																		
	炭疽																		
	チクングニア熱																		
	つつが虫病	1															1		
	デング熱																		
	東部ウマ脳炎																		
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)																		
	ニパウイルス感染症																		
	日本紅斑熱	9														3	1	5	
	日本脳炎																		
	ハンタウイルス肺症候群																		
	Bウイルス病																		
	鼻疽																		
	ブルセラ症																		
	ベネズエラウマ脳炎																		
	ヘンドラウイルス感染症																		
	発しんチフス																		
	ポツリヌス症																		
	マラリア																		
	野兎病																		
	ライム病																		
	リッサウイルス感染症																		
リフトバレー熱																			
類鼻疽																			
レジオネラ症	15													1	1	2	5	6	
レプトスピラ症																			
ロッキー山紅斑熱																			
五類	アメーバ赤痢	5										2				2		1	
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	2														1		1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	20										1		2				17	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1		1															
	急性脳炎 <sup>1)</sup>	5		1	3	1													
	クリプトスポリジウム症																		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6																1	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8												2	1				5
	後天性免疫不全症候群	4								1		2	1						
	ジアルジア症																		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2		1															1
	侵襲性髄膜炎菌感染症																		
	侵襲性肺炎球菌感染症	10														1	1	1	7
	水痘(入院例)	1													1				
	先天性風しん症候群																		
	梅毒	60					4	10	10	7	9	9	4	4	3				
	播種性クリプトコックス症	1																	1
	破傷風	1																	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																		
	百日咳	43	4	4	13	9	1	1	3	2	1		2		1			1	1
	風しん	1																	
	麻しん																		
薬剤耐性アシネトバクター感染症																			
新型インフルエンザ等																			
再興型インフルエンザ																			
指定感染症	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)	471	1	3	8	19	29	34	32	29	32	41	48	29	33	23	24	86	
計		846	9	12	18	12	7	19	18	14	15	21	10	16	9	20	23	152	

(届出時の年齢による集計)

\*1:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

## 2 定点把握対象 五類感染症

### (1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況

2020年(令和2年)における定点把握感染症の流行状況を、愛媛県内の流行規模で分類した。週報対象疾患は以下のとおりであった。なお、(イ)はインフルエンザ定点、(小)は小児科定点、(眼)は眼科定点、(基)は基幹定点からの報告疾患であることを示す。

例年と比較し、大きな流行となった疾患

例年と比較し、大きな流行となった疾患はなかった。

例年と同程度の流行となった疾患

RSウイルス感染症(小):2019/2020シーズンの患者報告数は、1,906人(定点当たり51.52人/シーズン)で、前シーズンと同程度の発生となった。第31週(8月上旬)から報告数が増加し、第45週(11月上旬)までの3ヶ月にわたり患者数の多い状態が続いた。地域別では、西条保健所、今治保健所からの報告が多かった。1歳以下の乳幼児が全体の62.3%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(小):2020年の患者報告数は3,073人(定点当たり83.05人/年)で、前年の0.6倍に減少した。本年は1月上旬から4月下旬に増加傾向を示し、その後は報告数が増加しなかった。地域別では中予保健所からの報告が突出して多かった。年齢別では4~6歳が全体の39.6%を占めた。

伝染性紅斑(小):2020年の患者報告数は372人(定点当たり10.05人/年)で、前年の0.3倍に減少した。2020年は小規模な発生であり非流行期と考えられた。4歳が20.4%と最も多く、3~6歳が全体の61.3%を占めた。

例年と比較し、小さな流行となった疾患

インフルエンザ(イ):2019/2020シーズンの患者報告数は11,494人(定点当たり188.56人/シーズン)で、前シーズンに比べ0.7倍に減少し、過去10シーズンで最も小さい流行規模となった。9月上旬から東予・中予地区で散発し、過去10シーズンで最も早く第41週(10月中旬)に流行が始まった。第51週(12月中旬)には注意報レベルを超え、県内全域で増加が始まったが、警報レベルを超えることなく第4週(1月下旬)に定点当たり23.54人/週と流行のピークを迎えた。その後、第6週(2月上旬)まで注意報レベルが継続し、第12週(3月中旬)に終息した。ウイルス型はAH1pdm09が多く検出された。

咽頭結膜熱(小):2020年の患者報告数は268人(定点当たり7.24人/年)で、前年の0.3倍に減少し、一年を通じて報告数は増加しなかった。地域別では今治保健所からの報告が多く、年齢別では1~5歳までの幼児が全体の89.6%を占めた。

感染性胃腸炎(小):2019/2020シーズンの患者報告数は9,314人(定点当たり251.96人/シーズン)で、前シーズンの0.7倍に減少し、1999年の調査開始以降最も少ない発生規模であった。第51週(12月中旬)に定点当たり10.84人/週と最高値を示した後、3~4月は報告数の増加がみられなかった。地域別では西条保健所、松山市保健所からの報告が多く、年齢別では1~6歳の幼児が全体の61.2%を占めた。病原体はサポウイルス、ノロウイルスなどが検出された。

水痘(小):2019/2020シーズンの患者報告数は396人(定点当たり10.71人/シーズン)で、前シーズンの0.7倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。地域別では今治保健所、松山市保健所、八幡浜保健所からの報告が多く、年齢別では5~7歳が全体の35.6%を占めた。

手足口病(小):2020年の患者報告数は108人(定点当たり2.92人/年)で、前年の0.02倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。本年は年間を通して散発程度の発生で、第2週(1

月上旬)の定点当たり0.38人/週が最高値であった。地域別では四国中央保健所からの報告が最も多く、年齢別では1~3歳の幼児が全体の60.2%を占めた。病原体はコクサッキーウイルスA16型、コクサッキーウイルスA10型が検出された。

突発性発しん(小):2020年の患者報告数は1,153人(定点当たり31.16人/年)で、前年と同程度の発生となった。地域別では西条保健所、今治保健所、中予保健所からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の89.2%を占めた。

ヘルパンギーナ(小):2020年の患者報告数は196人(定点当たり5.30人/年)で、前年の0.2倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。地域別では八幡浜保健所からの報告が最も多く、年齢別では1~4歳が全体の86.2%を占めた。

流行性耳下腺炎(小):2020年の患者報告数は284人(定点当たり7.68人/年)で、前年の0.5倍に減少した。地域別では、松山市保健所からの報告が最も多く、次いで西条保健所からの報告が多かった。年齢別では4~7歳が全体の58.1%を占めた。

流行性角結膜炎(眼):2020年の患者報告数は394人(定点当たり49.25人/年)で、前年の0.4倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。第2週(1月上旬)に定点当たり2.63人/週と最高値を示し、年間を通じて大きく変動せず推移した。地域別では今治保健所が突出して多く、次いで八幡浜保健所からの報告が多かった。年齢別では20歳以上の成人が全体の77.2%を占めた。

マイコプラズマ肺炎(基):2020年の患者報告数は30人(定点当たり5.00人/年)で、前年の0.5倍に減少した。主に1月上旬から3月下旬にかけて患者数が増加した。地域別では八幡浜保健所からの報告が最も多く、年齢別では14歳以下が全体の83.3%を占めた。

#### 報告が少なかった疾患

急性出血性結膜炎(眼):2020年の患者報告数は5人(定点当たり0.63人/年)で、前年と同様、少数の報告であった。本疾患は、2004年9~10月に宇和島地区で地域的な短期流行があって以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)(基):2020年の患者報告数は8人(定点当たり1.33人/年)で、前年の0.6倍に減少した。主に1月下旬から6月下旬にかけて発生がみられた。地域別では宇和島保健所からの報告が多く、年齢別では1~9歳が全体の62.5%を占めた。

細菌性髄膜炎(基):2020年の患者報告数は4人(定点当たり0.67人/年)で、前年の1.3倍に増加した。すべて中予保健所からの報告で、病原体はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌2人、黄色ブドウ球菌、その他のブドウ球菌が各1人であった。

無菌性髄膜炎(基):2020年の患者報告数は1人(定点当たり0.17人/年)であった。宇和島保健所からの報告で、病原体は不明であった。

クラミジア肺炎(基):2020年の患者報告はなかった。

STD 定点対象疾患(月報)の性器クラミジア感染症(89人)、性器ヘルペスウイルス感染症(47人)、尖圭コンジローマ(25人)、淋菌感染症(37人)は2019年に比べて増加した。

基幹定点対象疾患(月報)では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(107人)は2019年に比べ減少し、薬剤耐性緑膿菌感染症(1人)は少数例の報告に留まった。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告はなかった。

表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数

週	期間	インフルエンザ 定点	小児科定点								
		イン*1 フルエンザ	R S ウ イル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	
1	12/30 ~ 1/5	774	10	8	31	113	7	4	10	11	
2	1/6 ~ 1/12	1,250	3	13	100	299	15	14	46	20	
3	1/13 ~ 1/19	1,375	6	8	123	333	7	6	41	19	
4	1/20 ~ 1/26	1,436	8	10	160	349	9	11	25	16	
5	1/27 ~ 2/2	1,038	17	10	159	342	6	3	23	16	
6	2/3 ~ 2/9	718	9	20	172	305	11	5	19	20	
7	2/10 ~ 2/16	479	9	5	205	329	8	1	7	10	
8	2/17 ~ 2/23	402	10	7	152	348	6	4	16	18	
9	2/24 ~ 3/1	256	6	6	115	218	13	2	18	14	
10	3/2 ~ 3/8	191	8	3	166	222	11		13	14	
11	3/9 ~ 3/15	139	4	6	97	169	10		21	22	
12	3/16 ~ 3/22	35	1	7	70	146	6	1	8	17	
13	3/23 ~ 3/29	11	1	2	63	148	11	4	20	13	
14	3/30 ~ 4/5	4	2	3	69	101	6		15	12	
15	4/6 ~ 4/12	5	5	3	55	102	12		12	18	
16	4/13 ~ 4/19		5	3	44	140	4		11	21	
17	4/20 ~ 4/26	4	3	3	40	84	7		10	18	
18	4/27 ~ 5/3	1	1	6	44	84	3	2	10	20	
19	5/4 ~ 5/10	1	1	2	27	40	5		5	19	
20	5/11 ~ 5/17			2	52	76	6		7	21	
21	5/18 ~ 5/24			1	30	58	1		4	24	
22	5/25 ~ 5/31			2	54	78	2	1	3	28	
23	6/1 ~ 6/7			4	51	113		3	4	36	
24	6/8 ~ 6/14			4	47	122	3	1	1	43	
25	6/15 ~ 6/21			3	31	115	5	2	2	27	
26	6/22 ~ 6/28	1		2	59	117	1	3	2	24	
27	6/29 ~ 7/5			6	46	118	4	2		35	
28	7/6 ~ 7/12			1	38	127	5			39	
29	7/13 ~ 7/19	1		10	46	130	6		2	23	
30	7/20 ~ 7/26			8	16	94	2		3	23	
31	7/27 ~ 8/2		1	3	28	103	10	5	3	28	
32	8/3 ~ 8/9		1	4	23	87	8	1	1	21	
33	8/10 ~ 8/16		1	2	10	73	3			21	
34	8/17 ~ 8/23			7	24	88	6	3		28	
35	8/24 ~ 8/30			8	18	103	6	2	1	33	
36	8/31 ~ 9/6			5	28	108	3	2		34	
37	9/7 ~ 9/13			1	42	133	6	4	1	26	
38	9/14 ~ 9/20			4	40	107	2	1	1	20	
39	9/21 ~ 9/27			2	30	90	2	1		13	
40	9/28 ~ 10/4			3	50	87	5	1		27	
41	10/5 ~ 10/11			1	39	93	2		3	26	
42	10/12 ~ 10/18			3	21	120	7	1	1	19	
43	10/19 ~ 10/25			3	34	107	3	2		23	
44	10/26 ~ 11/1			2	52	98	6	1		17	
45	11/2 ~ 11/8		1	6	25	92	6	1	2	18	
46	11/9 ~ 11/15	1		4	38	100	5	1	1	26	
47	11/16 ~ 11/22			1	40	99	14	2		23	
48	11/23 ~ 11/29			7	23	94	9			13	
49	11/30 ~ 12/6			1	31	110	12	2		16	
50	12/7 ~ 12/13			7	42	123	12	1		26	
51	12/14 ~ 12/20	1		14	38	111	12	3		9	
52	12/21 ~ 12/27			6	25	114	8	3		30	
53	12/28 ~ 1/3			6	10	57	8	2		15	
合計		8,123	113	268	3,073	7,317	347	108	372	1,153	
男性		4,190	61	166	1,628	3,976	176	57	208	606	
女性		3,933	52	102	1,445	3,341	171	51	164	547	

\*1:鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 \*2:感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

(人)

		眼科定点		基幹定点					定点数			
ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎*2	細菌性髄膜炎*3	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
1	14		3						61	37	8	6
1	25		21				2		61	37	8	6
2	19		15				3		61	37	8	6
	16		11				2		61	37	8	6
	16		6	2			2		61	37	8	6
1	11		11						61	37	8	6
2	8		8				4		61	37	8	6
	11		11				4		61	37	8	6
	9		9	1			2		61	37	8	6
1	9		14				2		61	37	8	6
	16		6				3		61	37	8	6
	6		11	1					61	37	8	6
	6		6				3		61	37	8	6
	4		8						61	37	8	6
	5		8			1			61	37	8	6
	3		2						61	37	8	6
	5		7						61	37	8	6
	7		5						61	37	8	6
	2		3						61	37	8	6
1	2		8						61	37	8	6
	2		8	1					61	37	8	6
	3		9						61	37	8	6
	2	1	6		1				61	37	8	6
1	2		7						61	37	8	6
1	9		5						61	37	8	6
	7		6	1					61	37	8	6
2	4	1	10				1		61	37	8	6
	3	2	3						61	37	8	6
1	2		6						61	37	8	6
			6						61	37	8	6
1	2		10				1		61	37	8	6
7	4		9						61	37	8	6
4			4						61	37	8	6
5	5		5						61	37	8	6
6	2		9		1				61	37	8	6
7	4		10						61	37	8	6
8	1		9						61	37	8	6
15	3	1	7						61	37	8	6
7	3		5						61	37	8	6
14	4		4						61	37	8	6
11			8						61	37	8	6
6	2		6						61	37	8	6
6	5		4						61	37	8	6
8	1		6	1					61	37	8	6
2	1		2						61	37	8	6
4	4		2						61	37	8	6
6	2		9						61	37	8	6
7	1		12						61	37	8	6
8	2		9						61	37	8	6
19	5		8				1		61	37	8	6
11	3		8		1				61	37	8	6
13	1		8		1				61	37	8	6
7	1		1	1					61	37	8	6
196	284	5	394	8	4	1	30					
93	149	2	197	4	2		13					
103	135	3	197	4	2	1	17					

\*3：インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数

週	期間	インフルエンザ 定点	小児科定点							
		インフルエンザ	R S ウイルス感染症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑
1	12/30 ~ 1/5	12.69	0.27	0.22	0.84	3.05	0.19	0.11	0.27	0.30
2	1/6 ~ 1/12	20.49	0.08	0.35	2.70	8.08	0.41	0.38	1.24	0.54
3	1/13 ~ 1/19	22.54	0.16	0.22	3.32	9.00	0.19	0.16	1.11	0.51
4	1/20 ~ 1/26	23.54	0.22	0.27	4.32	9.43	0.24	0.30	0.68	0.43
5	1/27 ~ 2/2	17.02	0.46	0.27	4.30	9.24	0.16	0.08	0.62	0.43
6	2/3 ~ 2/9	11.77	0.24	0.54	4.65	8.24	0.30	0.14	0.51	0.54
7	2/10 ~ 2/16	7.85	0.24	0.14	5.54	8.89	0.22	0.03	0.19	0.27
8	2/17 ~ 2/23	6.59	0.27	0.19	4.11	9.41	0.16	0.11	0.43	0.49
9	2/24 ~ 3/1	4.20	0.16	0.16	3.11	5.89	0.35	0.05	0.49	0.38
10	3/2 ~ 3/8	3.13	0.22	0.08	4.49	6.00	0.30		0.35	0.38
11	3/9 ~ 3/15	2.28	0.11	0.16	2.62	4.57	0.27		0.57	0.59
12	3/16 ~ 3/22	0.57	0.03	0.19	1.89	3.95	0.16	0.03	0.22	0.46
13	3/23 ~ 3/29	0.18	0.03	0.05	1.70	4.00	0.30	0.11	0.54	0.35
14	3/30 ~ 4/5	0.07	0.05	0.08	1.86	2.73	0.16		0.41	0.32
15	4/6 ~ 4/12	0.08	0.14	0.08	1.49	2.76	0.32		0.32	0.49
16	4/13 ~ 4/19		0.14	0.08	1.19	3.78	0.11		0.30	0.57
17	4/20 ~ 4/26	0.07	0.08	0.08	1.08	2.27	0.19		0.27	0.49
18	4/27 ~ 5/3	0.02	0.03	0.16	1.19	2.27	0.08	0.05	0.27	0.54
19	5/4 ~ 5/10	0.02	0.03	0.05	0.73	1.08	0.14		0.14	0.51
20	5/11 ~ 5/17			0.05	1.41	2.05	0.16		0.19	0.57
21	5/18 ~ 5/24			0.03	0.81	1.57	0.03		0.11	0.65
22	5/25 ~ 5/31			0.05	1.46	2.11	0.05	0.03	0.08	0.76
23	6/1 ~ 6/7			0.11	1.38	3.05		0.08	0.11	0.97
24	6/8 ~ 6/14			0.11	1.27	3.30	0.08	0.03	0.03	1.16
25	6/15 ~ 6/21			0.08	0.84	3.11	0.14	0.05	0.05	0.73
26	6/22 ~ 6/28	0.02		0.05	1.59	3.16	0.03	0.08	0.05	0.65
27	6/29 ~ 7/5			0.16	1.24	3.19	0.11	0.05		0.95
28	7/6 ~ 7/12			0.03	1.03	3.43	0.14			1.05
29	7/13 ~ 7/19	0.02		0.27	1.24	3.51	0.16		0.05	0.62
30	7/20 ~ 7/26			0.22	0.43	2.54	0.05		0.08	0.62
31	7/27 ~ 8/2		0.03	0.08	0.76	2.78	0.27	0.14	0.08	0.76
32	8/3 ~ 8/9		0.03	0.11	0.62	2.35	0.22	0.03	0.03	0.57
33	8/10 ~ 8/16		0.03	0.05	0.27	1.97	0.08			0.57
34	8/17 ~ 8/23			0.19	0.65	2.38	0.16	0.08		0.76
35	8/24 ~ 8/30			0.22	0.49	2.78	0.16	0.05	0.03	0.89
36	8/31 ~ 9/6			0.14	0.76	2.92	0.08	0.05		0.92
37	9/7 ~ 9/13			0.03	1.14	3.59	0.16	0.11	0.03	0.70
38	9/14 ~ 9/20			0.11	1.08	2.89	0.05	0.03	0.03	0.54
39	9/21 ~ 9/27			0.05	0.81	2.43	0.05	0.03		0.35
40	9/28 ~ 10/4			0.08	1.35	2.35	0.14	0.03		0.73
41	10/5 ~ 10/11			0.03	1.05	2.51	0.05		0.08	0.70
42	10/12 ~ 10/18			0.08	0.57	3.24	0.19	0.03	0.03	0.51
43	10/19 ~ 10/25			0.08	0.92	2.89	0.08	0.05		0.62
44	10/26 ~ 11/1			0.05	1.41	2.65	0.16	0.03		0.46
45	11/2 ~ 11/8		0.03	0.16	0.68	2.49	0.16	0.03	0.05	0.49
46	11/9 ~ 11/15	0.02		0.11	1.03	2.70	0.14	0.03	0.03	0.70
47	11/16 ~ 11/22			0.03	1.08	2.68	0.38	0.05		0.62
48	11/23 ~ 11/29			0.19	0.62	2.54	0.24			0.35
49	11/30 ~ 12/6			0.03	0.84	2.97	0.32	0.05		0.43
50	12/7 ~ 12/13			0.19	1.14	3.32	0.32	0.03		0.70
51	12/14 ~ 12/20	0.02		0.38	1.03	3.00	0.32	0.08		0.24
52	12/21 ~ 12/27			0.16	0.68	3.08	0.22	0.08		0.81
53	12/28 ~ 1/3			0.16	0.27	1.54	0.22	0.05		0.41
合計		133.16	3.05	7.24	83.05	197.76	9.38	2.92	10.05	31.16
男性		68.69	1.65	4.49	44.00	107.46	4.76	1.54	5.62	16.38
女性		64.48	1.41	2.76	39.05	90.30	4.62	1.38	4.43	14.78

\*1:鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 \*2:感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

(人/定点当たり)

		眼科定点		基幹定点					定点数			
ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎*2	細菌性髄膜炎*3	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
0.03	0.38		0.38						61	37	8	6
0.03	0.68		2.63				0.33		61	37	8	6
0.05	0.51		1.88				0.50		61	37	8	6
	0.43		1.38				0.33		61	37	8	6
	0.43		0.75	0.33			0.33		61	37	8	6
0.03	0.30		1.38						61	37	8	6
0.05	0.22		1.00				0.67		61	37	8	6
	0.30		1.38				0.67		61	37	8	6
	0.24		1.13	0.17			0.33		61	37	8	6
0.03	0.24		1.75				0.33		61	37	8	6
	0.43		0.75				0.50		61	37	8	6
	0.16		1.38	0.17					61	37	8	6
	0.16		0.75				0.50		61	37	8	6
	0.11		1.00						61	37	8	6
	0.14		1.00			0.17			61	37	8	6
	0.08		0.25						61	37	8	6
	0.14		0.88						61	37	8	6
	0.19		0.63						61	37	8	6
	0.05		0.38						61	37	8	6
0.03	0.05		1.00						61	37	8	6
	0.05		1.00	0.17					61	37	8	6
	0.08		1.13						61	37	8	6
	0.05	0.13	0.75		0.17				61	37	8	6
0.03	0.05		0.88						61	37	8	6
0.03	0.24		0.63						61	37	8	6
	0.19		0.75	0.17					61	37	8	6
0.05	0.11	0.13	1.25				0.17		61	37	8	6
	0.08	0.25	0.38						61	37	8	6
0.03	0.05		0.75						61	37	8	6
			0.75						61	37	8	6
0.03	0.05		1.25				0.17		61	37	8	6
0.19	0.11		1.13						61	37	8	6
0.11			0.50						61	37	8	6
0.14	0.14		0.63						61	37	8	6
0.16	0.05		1.13		0.17				61	37	8	6
0.19	0.11		1.25						61	37	8	6
0.22	0.03		1.13						61	37	8	6
0.41	0.08	0.13	0.88						61	37	8	6
0.19	0.08		0.63						61	37	8	6
0.38	0.11		0.50						61	37	8	6
0.30			1.00						61	37	8	6
0.16	0.05		0.75						61	37	8	6
0.16	0.14		0.50						61	37	8	6
0.22	0.03		0.75	0.17					61	37	8	6
0.05	0.03		0.25						61	37	8	6
0.11	0.11		0.25						61	37	8	6
0.16	0.05		1.13						61	37	8	6
0.19	0.03		1.50						61	37	8	6
0.22	0.05		1.13						61	37	8	6
0.51	0.14		1.00				0.17		61	37	8	6
0.30	0.08		1.00		0.17				61	37	8	6
0.35	0.03		1.00		0.17				61	37	8	6
0.19	0.03		0.13	0.17					61	37	8	6
5.30	7.68	0.63	49.25	1.33	0.67	0.17	5.00					
2.51	4.03	0.25	24.63	0.67	0.33		2.17					
2.78	3.65	0.38	24.63	0.67	0.33	0.17	2.83					

\*3：インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数

年齢区分	小児科定点											眼科定点					基幹定点				
	インフルエンザ 定点	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			
6ヶ月未満	32	14	2	3	79	3	2	9	2				1	1							
12ヶ月未満	115	14	22	11	374	8	3	336	7	1			1	1			12				
1歳	328	42	97	133	1,023	18	38	683	82	6	1	17					8				
2歳	318	20	40	199	757	10	15	86	51	16		11					5				
3歳	383	15	29	308	692	25	12	48	27	24		10					1				
4歳	485	7	32	409	571	29	14	16	9	49		4									
5歳	542		18	424	560	48	6	65	6	42		10									
6歳	590		10	385	474	41	6	39	3	36		1									
7歳	507		7	256	373	34	4	25	1	38		3									
8歳	542		4	267	391	39	5	28	5	17		5					1				
9歳	528		3	205	336	35	2	24	1	16											
10~14歳	1,503	1	4	402	1,084	52		17	2	35	1	13									
15~19歳	289			17	129	2	1	1				14									
20~29歳 <sup>*4</sup>	230			54	474	3		1		4	2	52									
30~39歳	432											52									
40~49歳	514										1	48					1				
50~59歳	307											39					1				
60~69歳	207											35									
70~79歳 <sup>*5</sup>	154											78									
80歳以上	117																				
合計	8,123	113	268	3,073	7,317	347	108	372	1,153	196	284	5	394	8	4	1	30				

\*1. 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 \*2. 2013年10月14日から対象疾患に追加。 \*3. インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4. 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20~29歳"に計上。 \*5. 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70~79歳"に計上。



表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数

月	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)						定点数				
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		STD	基幹	
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男			女
1	8	3	5	1	1	3	2	2	8	3	5					11	6
2	6	3	3	3	2	1	5	5	10	6	4					11	6
3	10	5	5			1	5	4	7	4	3					11	6
4	5	2	3	4	2	2	1	1	12	8	4					11	6
5	8	5	3	1	1		2	2	11	4	7					11	6
6	9	4	5	6	3	3	6	6	11	7	4					11	6
7	6	4	2	2	2		3	3	11	7	4					11	6
8	6	4	2	3	3		2	1	13	8	5					11	6
9	11	6	5	1	1	1	1	1	8	5	3					11	6
10	3	1	2	1	1	2			4	3	1					11	6
11	11	7	4	12	10	6	5	5	6	6				1	1	11	6
12	6	6		13	9	4	5	5	6	4	2					11	6
合計	89	50	39	47	35	12	37	35	107	65	42			1	1		

(人)

表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり患者報告数

(人/定点当たり)

月	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)						定点数	
	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計	男	女	合計	男	女	S
1	0.73	0.27	0.45	0.09	0.09	0.27	0.18	0.18	0.83	1.33	0.50	0.83	11	6
2	0.55	0.27	0.27	0.18	0.09	0.09	0.45	0.67	1.67	1.00	0.67		11	6
3	0.91	0.45	0.45	0.36	0.09	0.09	0.45	0.50	1.17	0.67	0.50		11	6
4	0.45	0.18	0.27	0.09	0.18	0.18	0.09	0.67	2.00	1.33	0.67		11	6
5	0.73	0.45	0.27	0.18			0.18	1.17	1.83	0.67	1.17		11	6
6	0.82	0.36	0.45	0.27	0.27		0.55	0.67	1.83	1.17	0.67		11	6
7	0.55	0.36	0.18	0.18			0.27	0.67	1.83	1.17	0.67		11	6
8	0.55	0.36	0.18	0.09	0.09		0.18	0.83	2.17	1.33	0.83		11	6
9	1.00	0.55	0.45	0.09	0.09	0.09	0.09	0.50	1.33	0.83	0.50		11	6
10	0.27	0.09	0.18		0.18	0.18		0.17	0.67	0.50	0.17		11	6
11	1.00	0.64	0.36	0.18	0.55	0.55	0.45	1.00	1.00	1.00		0.17	11	6
12	0.55	0.55	0.36	0.45	0.82	0.82	0.45	0.33	1.00	0.67	0.33		11	6
合計	8.09	4.55	3.55	4.27	3.18	2.27	3.36	17.83	10.83	7.00	0.17	0.17		

表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数

年齢区分	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)								
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
0歳															
1~4歳										3	1	2			
5~9歳										1	1				
10~14歳	1		1							1	1				
15~19歳	6	5	1	2	1	1	2	2	1	1	1				
20~24歳	20	12	8	2	2		7	6	1	4	3	1			
25~29歳	25	10	15	3	1	2	7	7							
30~34歳	5	2	3	3	3		5	5		3	2	1			
35~39歳	8	5	3	3	3		5	5		1	1				
40~44歳	11	6	5	6	4	2	1	1		2	1	1			
45~49歳	4	4		4	4		5	4	1						
50~54歳	3	1	2	8	7	1	3	3		1		1			
55~59歳	5	4	1	3	3		1	1		3	2	1			
60~64歳	1	1		3	2	1	1	1		7	6	1			
65~69歳				2	1	1				5	4	1			
70歳以上				7	4	3				75	44	31		1	1
合計	89	50	39	47	35	12	37	35	2	107	65	42		1	1

(人)

(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)

インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)

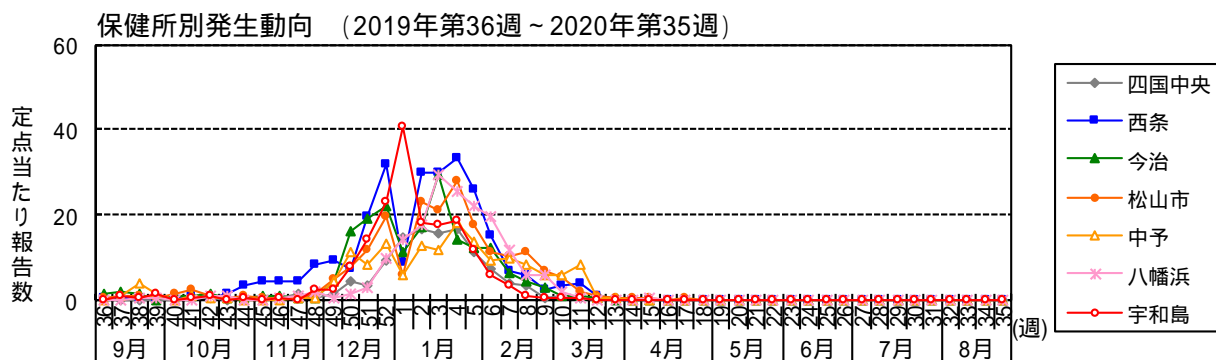
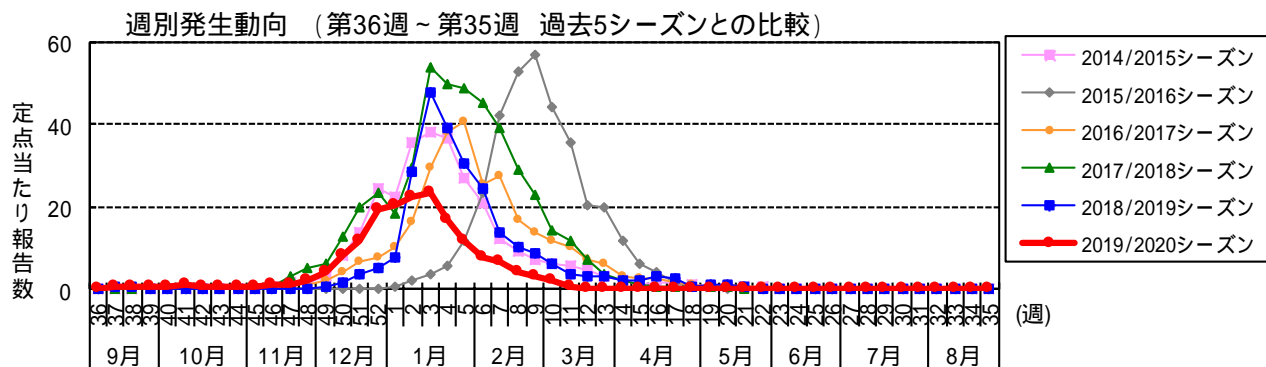
2019/2020シーズン(2019年第36週~2020年第35週)の患者報告数は11,494人(定点当たり188.56人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数15,759人、定点当たり258.45人/シーズン)から4,265人減少し、過去10シーズンで最も小さい流行規模となった。9月上旬から東予・中予地区で散発し、過去10シーズンで最も早く第41週(10月中旬)に流行開始の目安となる定点当たり1.0人/週を超えた。第51週(12月中旬)には注意報レベル(定点当たり10人/週)を超え、県内全域で増加が始まったが、警報レベル(定点当たり30人/週)を超えることなく第4週(1月下旬)に定点当たり23.54人/週と流行のピークを迎えた。その後、第6週(2月上旬)まで注意報レベルが継続し、第12週(3月中旬)に1.0人/週を下回った。

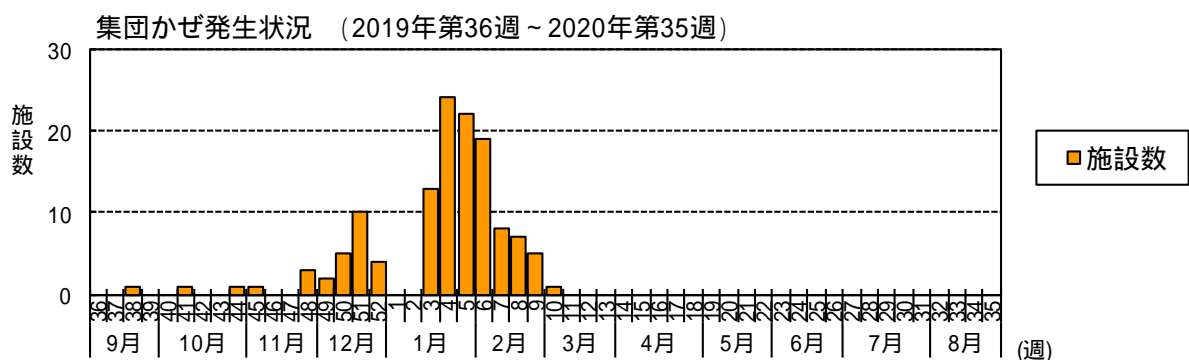
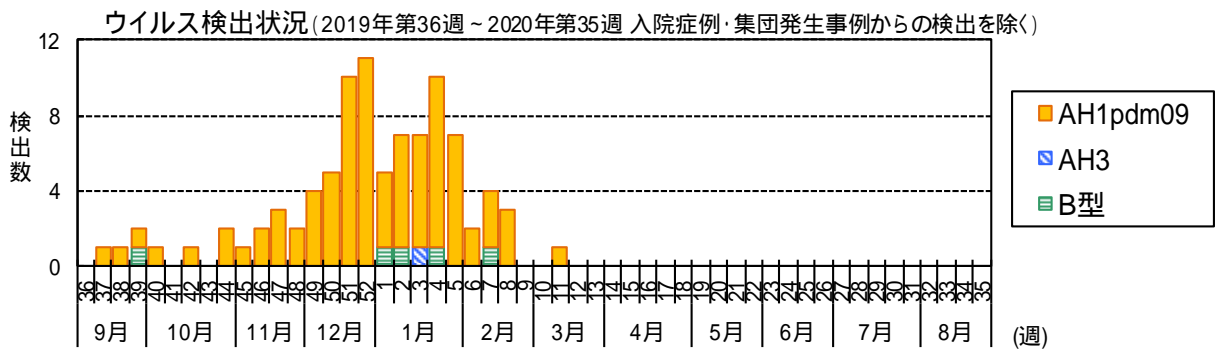
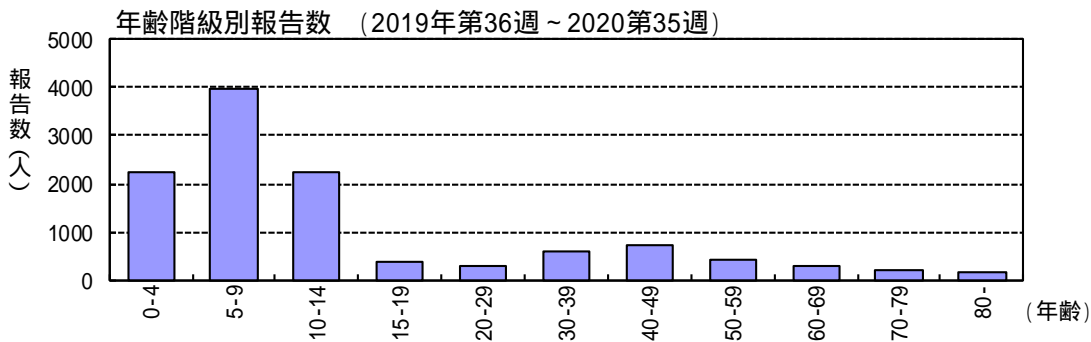
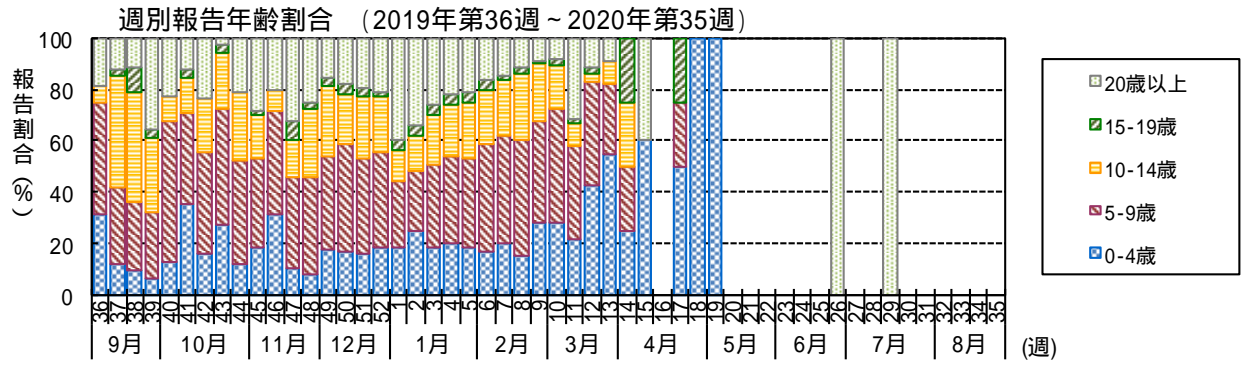
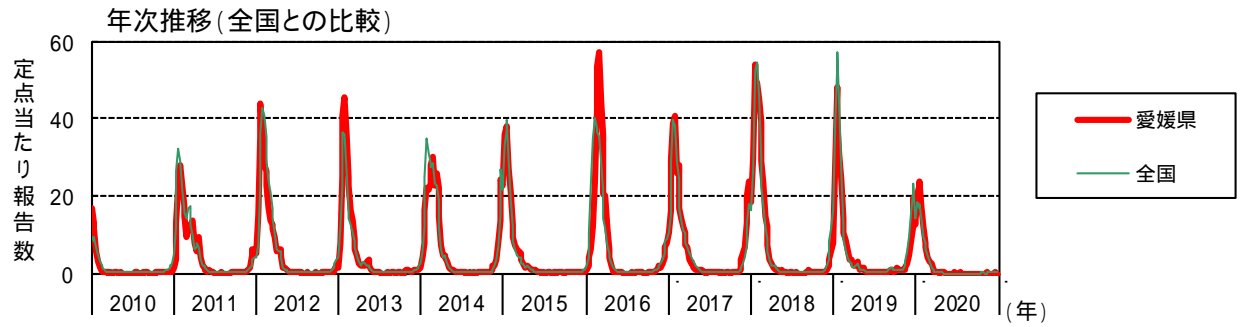
地域別の定点当たり報告数は、西条保健所の261.34人/シーズンが最も多く、松山市保健所198.65人/シーズン、今治保健所183.00人/シーズンと続いた。ピーク時の報告数が最も高かった保健所は、第1週の宇和島保健所(40.86人/週)であり、第4週の西条保健所(33.10人/週)、第3週の八幡浜保健所(29.57人/週)が続いた。四国中央保健所は第2週(16.80人/週)、今治保健所は第3週(29.25人/週)、松山市保健所は第4週(27.94人/週)、中予保健所は第4週(18.00人/週)に最高値を示し、県内各保健所におけるピークの時期は、1月上旬から1月下旬であった。

年齢別では、5~9歳が3,986人(34.7%)と最も多く、次いで10~14歳が2,260人(19.7%)、0~4歳が2,240人(19.5%)と続き、14歳以下の小児の割合が73.8%を占めた。

検出されたウイルス型別は、AH1pdm09が86件、B型が5件、AH3が1件であった。

学校等における集団かぜ発生報告数は127施設/シーズンあり、前シーズンの121施設/シーズンと同程度だった。学校(施設)の種別は、保育所・幼稚園16件、小学校87件、中学校19件、高等学校5件で、措置の内訳は、休校・休園4件、学年閉鎖38件、学級閉鎖85件であった。







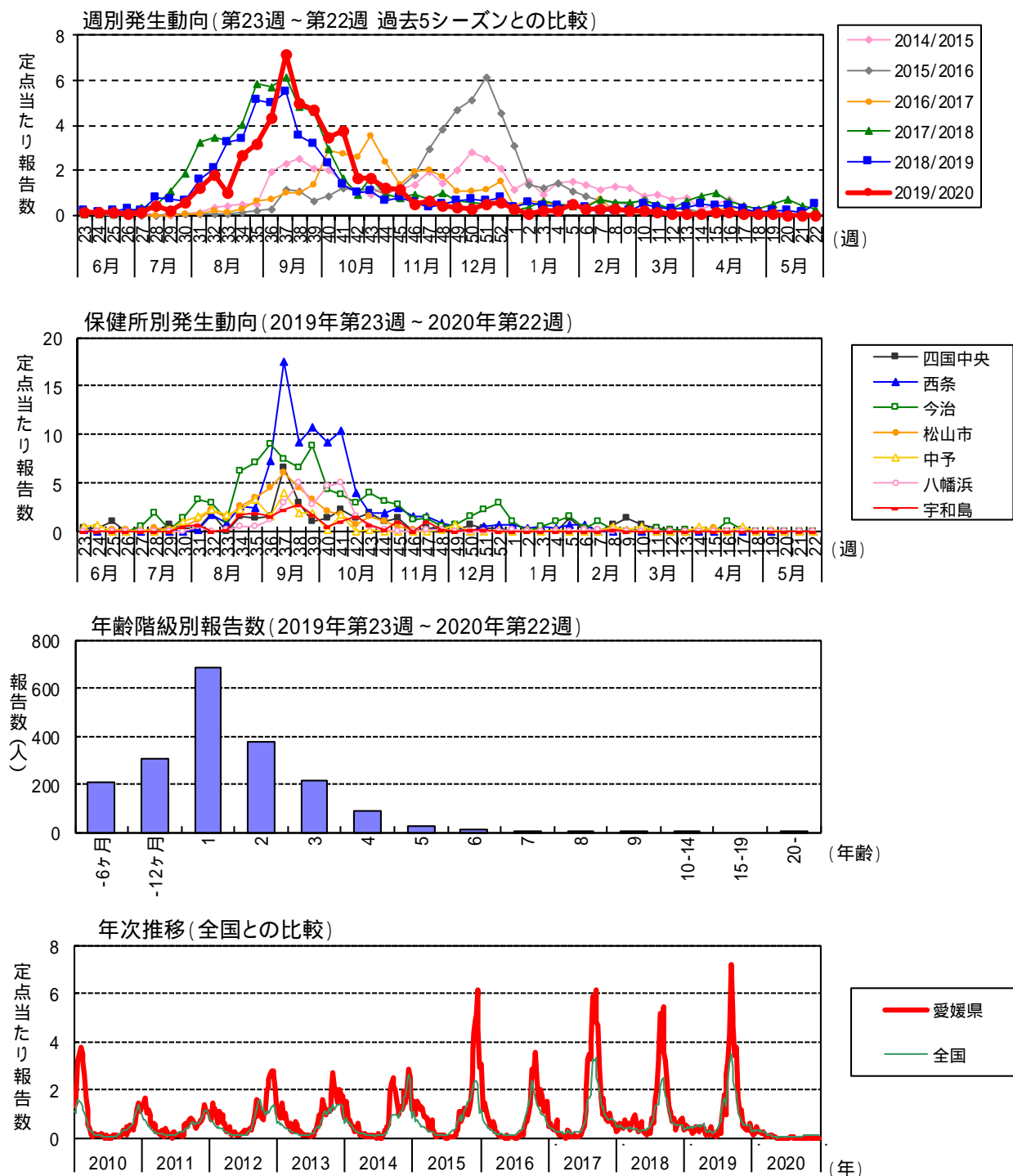
(参考)インフルエンザ [2020年第1週～2020年第53週]

月週	患者報告数										定点当たり報告数																	
	愛媛県					全国					愛媛県					全国												
	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018										
	73	84	84	85	88	102	41	99	286	774	478	1,119	80,215	78,399	80,215	14.60	8.50	11.00	6.00	5.86	14.14	40.86	12.69	7.84	18.34	13.94	16.34	16.34
1	36	150	98	150	98	191	64	137	42	718	1,480	2,747	225,402	130,639	225,402	7.20	15.00	12.25	11.24	9.14	19.57	6.00	11.77	24.26	45.03	9.06	26.32	45.58
2	19	69	50	69	50	171	67	81	22	479	846	2,386	147,124	61,987	147,124	3.80	6.90	6.25	10.06	9.57	11.57	3.14	7.85	13.87	39.11	7.49	12.48	29.72
3	17	59	34	59	34	190	57	39	6	402	634	1,771	112,312	44,673	112,312	3.40	5.90	4.25	11.18	8.14	5.57	0.86	6.59	10.39	29.03	6.19	9.00	22.69
4	2	24	24	24	24	119	42	42	3	256	533	1,400	86,309	29,415	86,309	0.40	2.40	3.00	7.00	6.00	6.00	0.43	4.20	8.74	22.95	4.77	5.92	17.43
5	5	35	8	35	8	91	39	12	1	191	369	885	59,638	20,487	59,638	1.00	3.50	1.00	5.35	5.57	1.71	0.14	3.13	6.05	14.51	3.14	4.12	12.05
6	3	36	5	36	5	30	59	4	2	139	225	731	42,837	14,502	42,837	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
7	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
8	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
9	1	1	1	1	1	3	3	2	2	4	129	144	9,848	7,248	9,848	0.10	0.10		0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
10	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
11	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
12	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
13	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
14	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
15	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
16	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
17	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
18	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
19	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
20	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
21	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
22	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
23	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
24	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
25	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
26	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
27	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
28	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
29	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
30	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
31	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
32	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
33	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
34	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
35	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
36	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
37	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
38	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
39	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
40	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
41	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
42	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
43	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
44	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.11	2.36	0.15	1.46	1.99
45	3	3	3	3	3	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18		0.08	0.08	2.05	1.10	0.09	1.67	1.66
46	188	51	235	188	51	235	188	51	235	188	51	235	12,621	8,715	12,621	0.60	3.60	0.63	1.76	8.43	0.57	0.29	2.28	3.69	11.98	1.29	2.92	8.66
47	4	7	3	7	3	17	4	4	4	35	201	431	26,499	12,334	26,499	0.80	0.70	0.38	1.00	0.57	0.57	0.07	0.57	3.30	7.07	0.54	2.49	5.35
48	1	1	1	1	1	8	1	1	1	11	200	425	6,070	1,341	6,070	0.20	0.10	0.10	0.06	0.14	0.14	0.07	0.02	0.62	0.90	0.01	1.03	0.61
49	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	125	67	8,222	8,294	8,222				0.18	0.18	0.29	0.07	0.07	2.1				

(3) 小児科定点対象疾患(週報)

RS ウイルス感染症

2019/2020 シーズン(2019年第23週~2020年第22週)の患者報告数は1,906人(定点当たり51.52人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数2,002人、定点当たり54.28人/シーズン)と同程度の発生となった。第31週(8月上旬)から報告数が増加し、第45週(11月上旬)までの3ヶ月にわたり患者数の多い状態が続いた。第37週(9月中旬)の265人/週(定点当たり7.16人/週)が本シーズンの最高値となり、昨年のシーズンと同様に、冬季よりも早い時期に流行を迎えた。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所の97.00人/シーズンが最も多く、西条保健所91.83人/シーズン、松山市保健所41.09人/シーズン、四国中央保健所36.00人/シーズン、中予保健所30.00人/シーズン、八幡浜保健所27.00人/シーズン、宇和島保健所20.50人/シーズンの順であり、今治保健所、西条保健所からの報告が多くみられた。年齢別の患者報告数は、1歳が681人(35.7%)、1歳未満が507人(26.6%)、2歳が375人(19.7%)で、1歳以下の乳幼児が1,188人と全体の62.3%を占めた。



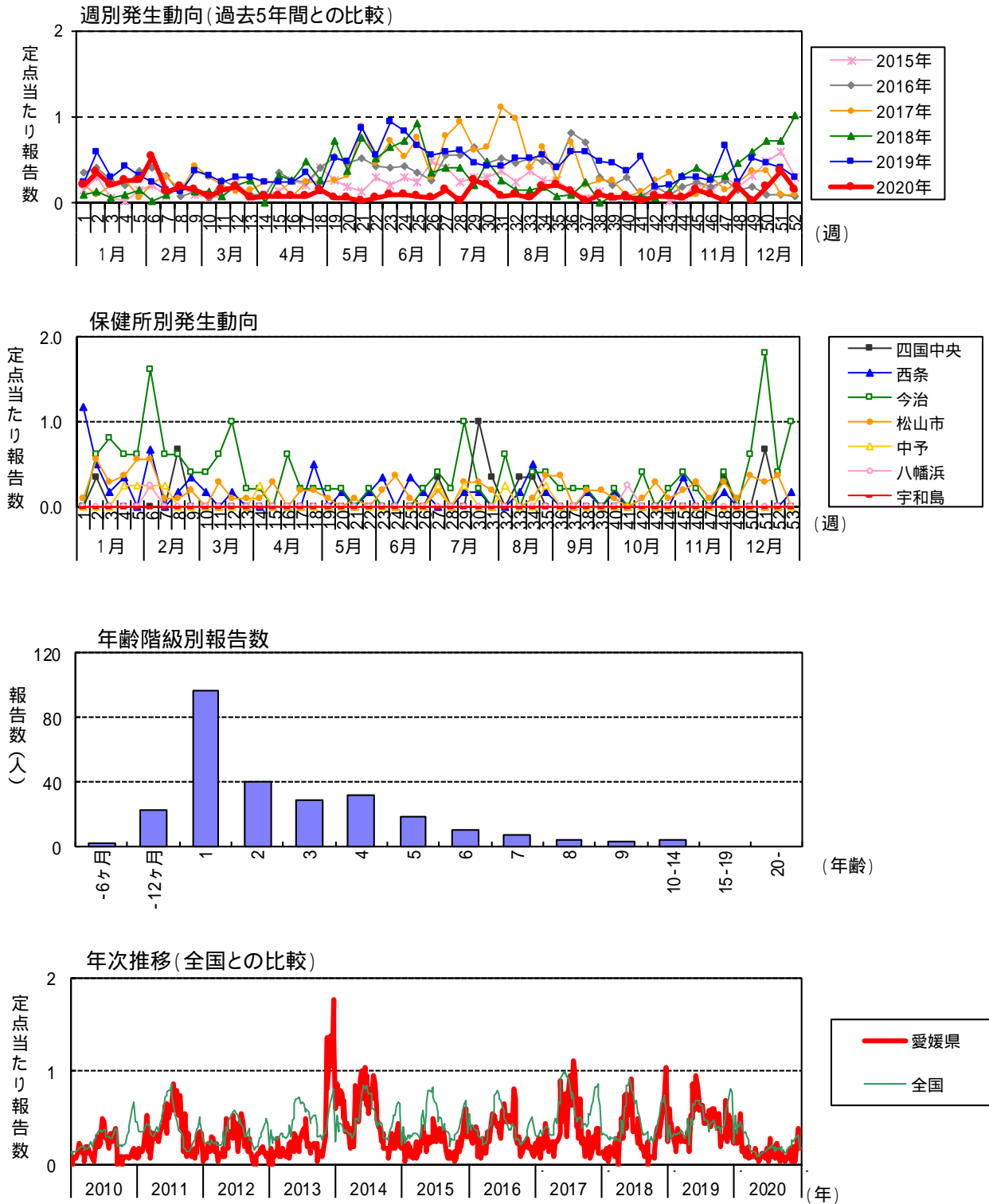






咽頭結膜熱

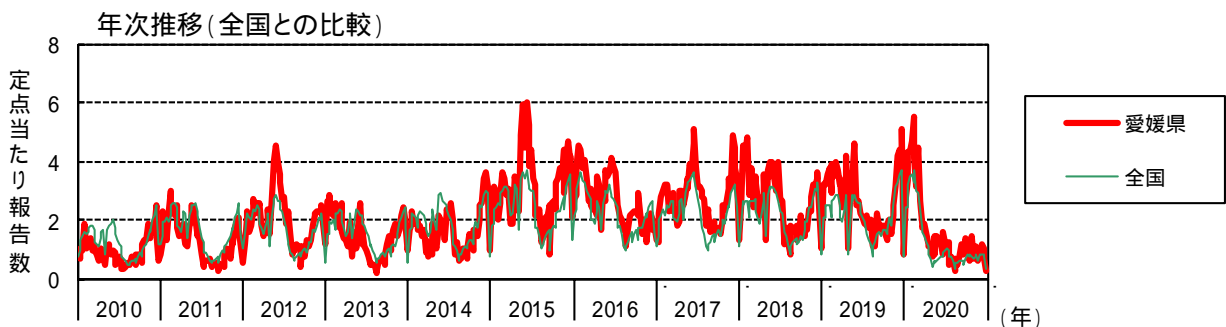
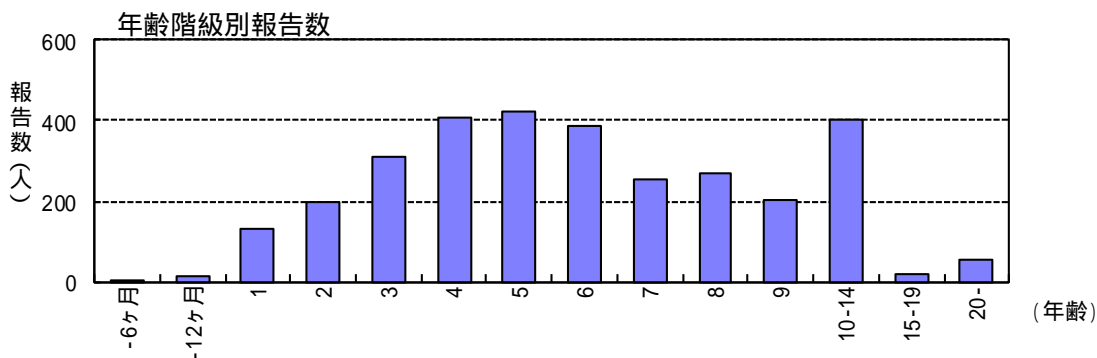
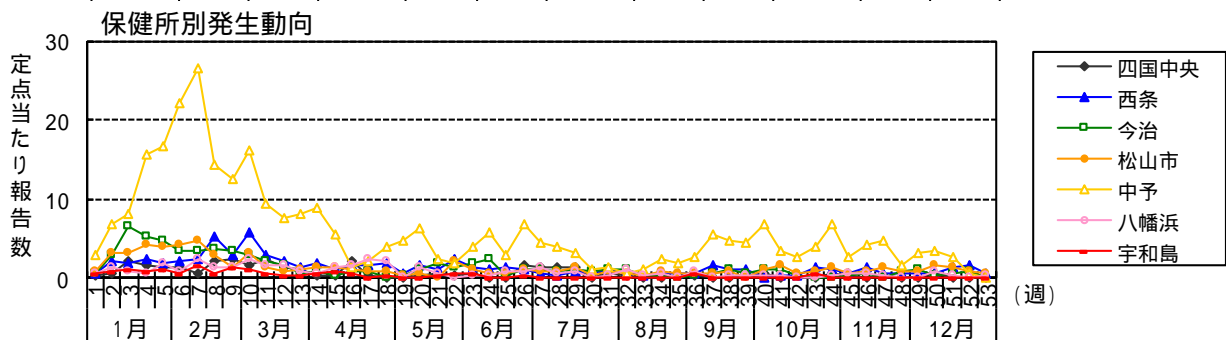
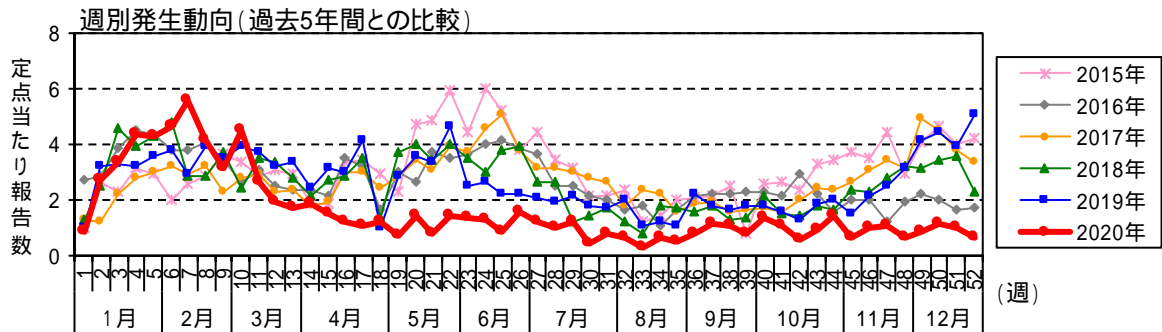
2020年の患者報告数は268人(定点当たり7.24人/年)で、前年(患者報告数818人、定点当たり22.12人/年)の0.3倍に減少し、一年を通じて報告数は増加しなかった。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所の19.40人/年が最も多く、次いで松山市保健所9.27人/年、西条保健所7.50人/年、四国中央保健所4.33人/年、中予保健所2.25人/年、八幡浜保健所0.50人/年の順で宇和島保健所からの報告はなかった。年齢別の患者報告数は、1~5歳までの幼児が240人と全体の89.6%を占めた。





A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

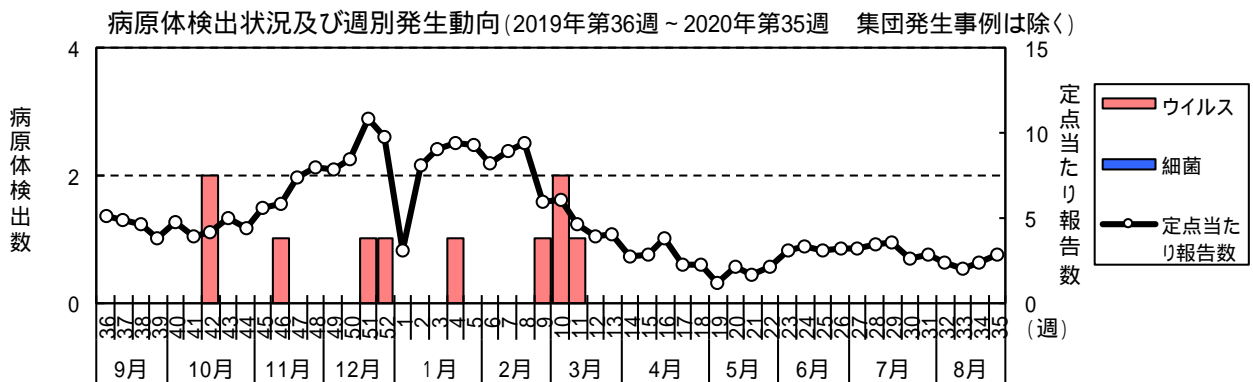
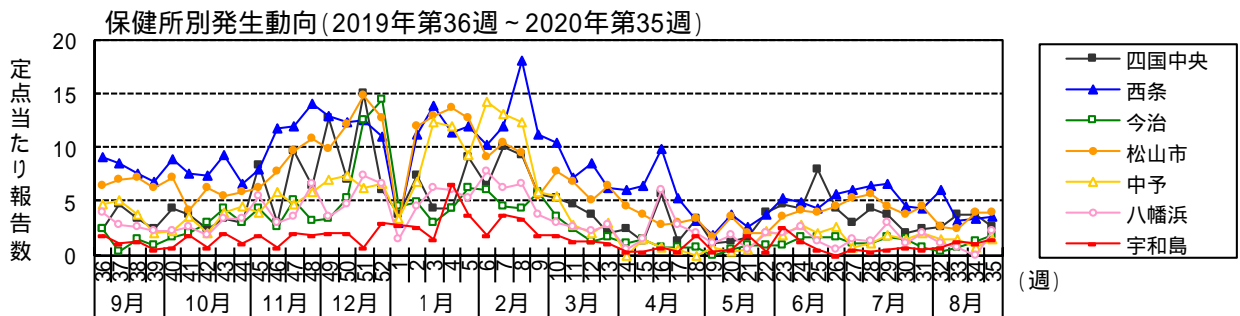
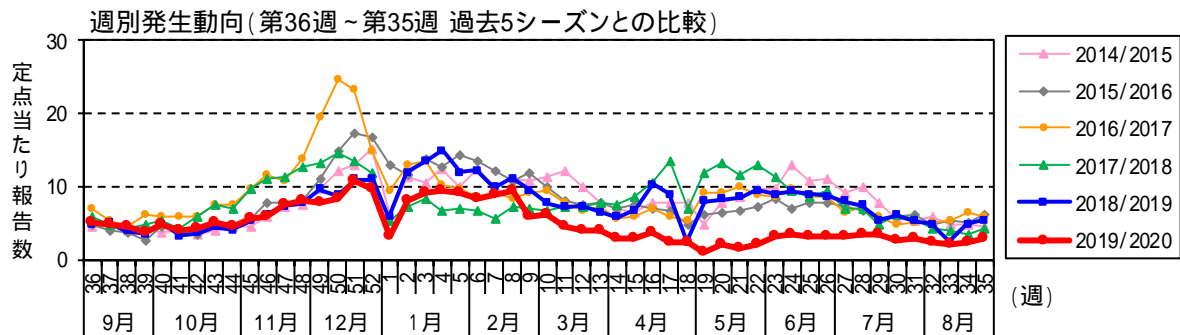
2020年の患者報告数は3,073人(定点当たり83.05人/年)で、前年(患者報告数5,101人、定点当たり137.99人/年)の0.6倍に減少した。本疾患は、例年初夏と晩秋冬季に多発する傾向を示すが、本年は初夏の流行はみられなかった。1月中旬から4月上旬にかけて中予保健所で多発し、第7週(2月中旬)に定点当たり5.54人/週と最高値を示した。地域別の定点当たり報告数は、中予保健所が307.00人/年と突出して多く、次いで西条保健所72.67人/年、今治保健所69.20人/年、松山市保健所68.82人/年、八幡浜保健所36.50人/年、四国中央保健所34.33人/年、宇和島保健所14.25人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、5歳が424人(13.8%)と最も多く、次いで4歳が409人(13.3%)、6歳が385人(12.5%)で、4~6歳が1,218人と全体の39.6%を占めた。

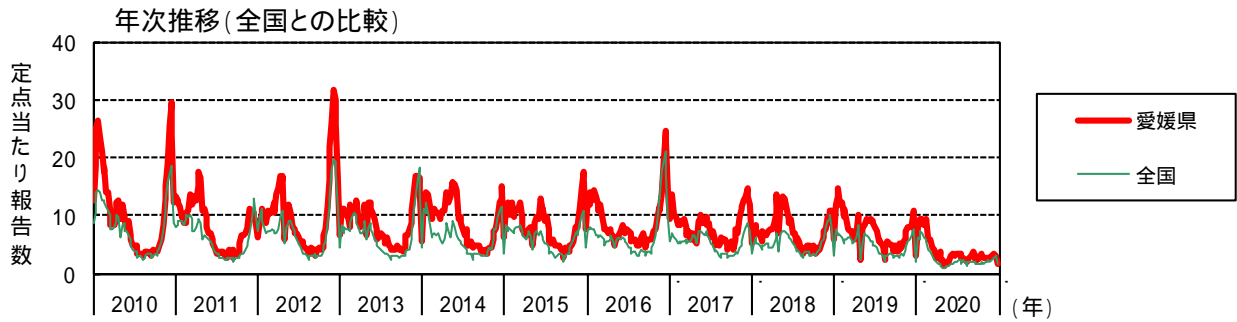
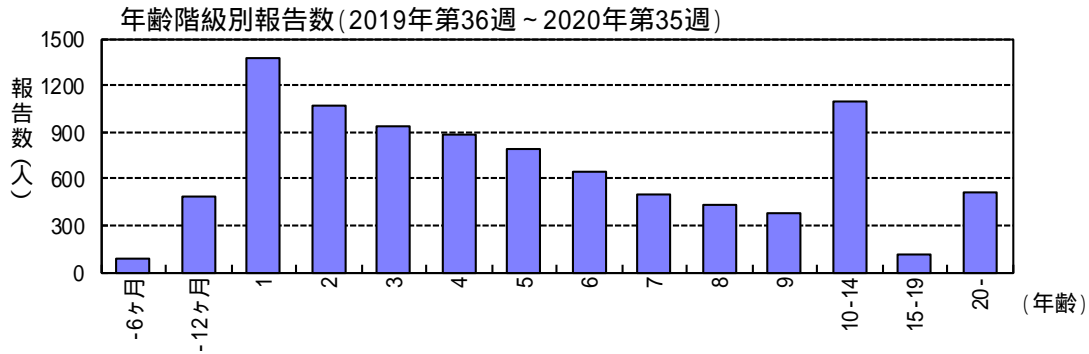
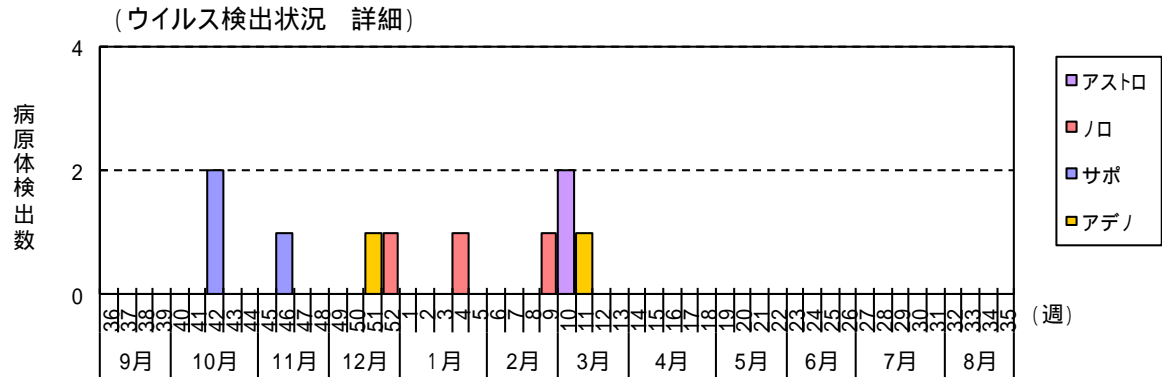




感染性胃腸炎

2019/2020 シーズン(2019年第36週~2020年第35週)の患者報告数は9,314人(定点当たり251.96人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数14,300人、定点当たり388.15人/シーズン)の0.7倍に減少し、1999年の調査開始以降最も少ない発生規模であった。本疾患は例年12月から患者数が急増し、年末の急峻なピークと3~4月の穏やかなピークの二峰性の動向を示すが、本シーズンは第51週(12月中旬)に定点当たり10.84人/週と最高値を示した後、3~4月は報告数の増加がみられなかった。地域別の定点当たり報告数は、西条保健所が408.80人/シーズンと多く、次いで松山市保健所332.55人/シーズン、四国中央保健所244.33人/シーズン、中予保健所208.75人/シーズン、八幡浜保健所160.25人/シーズン、今治保健所142.00人/シーズン、宇和島保健所74.75人/シーズンが続いた。乳幼児から成人まで全年齢層にわたって報告があったが、1歳が1,376人(14.8%)と最も多く、1~6歳の幼児が5,703人と全体の61.2%を占めた。病原体は、10月から11月にサポウイルス、12月と3月にアデノウイルス、12月から2月にノロウイルス、3月にアストロウイルスが検出されたが、細菌は検出されなかった。





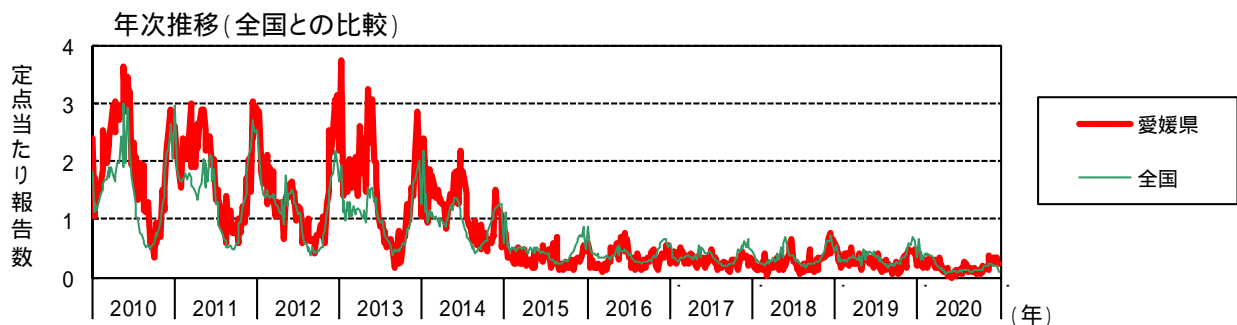
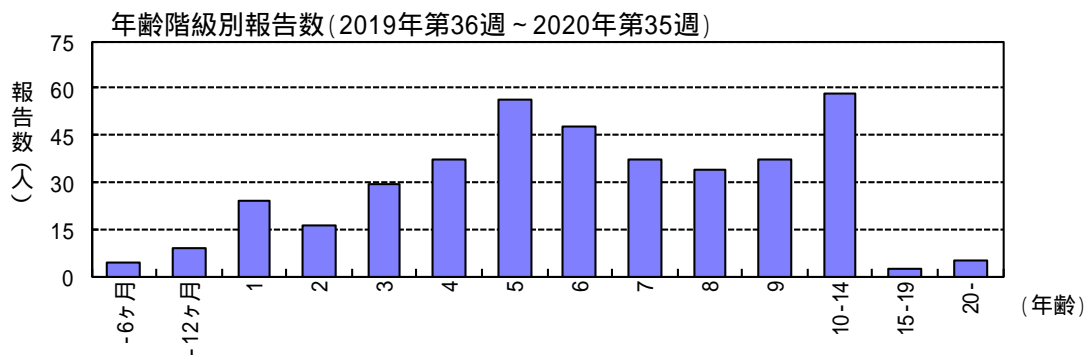
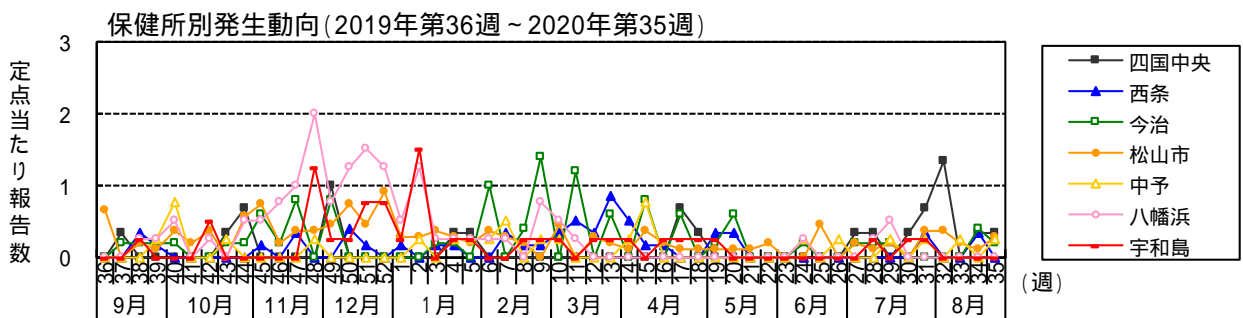
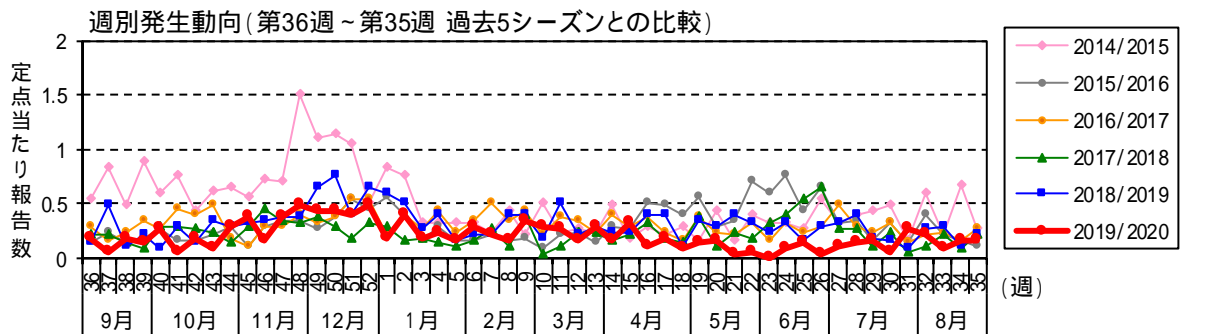






水痘

2019/2020 シーズン(2019年第36週~2020年第35週)の患者報告数は396人(定点当たり10.71人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数602人、定点当たり16.37人/年)の0.7倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。本疾患は、例年冬季のピークと、春から初夏にかけてのなだらかなピークの二峰性の動向を示したが、2014年10月のワクチン定期接種の開始以降、明らかなピークは見られなくなった。本シーズンは、年間を通して散發程度の発生で、第48週(11月下旬)、第52週(12月下旬)の定点当たり0.49人/週が最高値であった。地域別の定点当たり報告数は、八幡浜保健所16.25人/シーズン、松山市保健所13.09人/シーズン、今治保健所12.20人/シーズン、宇和島保健所9.50人/シーズン、四国中央保健所7.67人/シーズン、西条保健所6.90人/シーズン、中予保健所6.00人/シーズンの順であった。年齢別の患者報告数は、5歳が56人(14.1%)と最も多く、5~7歳が141人と全体の35.6%を占めた。2~4歳は82人(20.7%)で、前年より増加傾向であった。



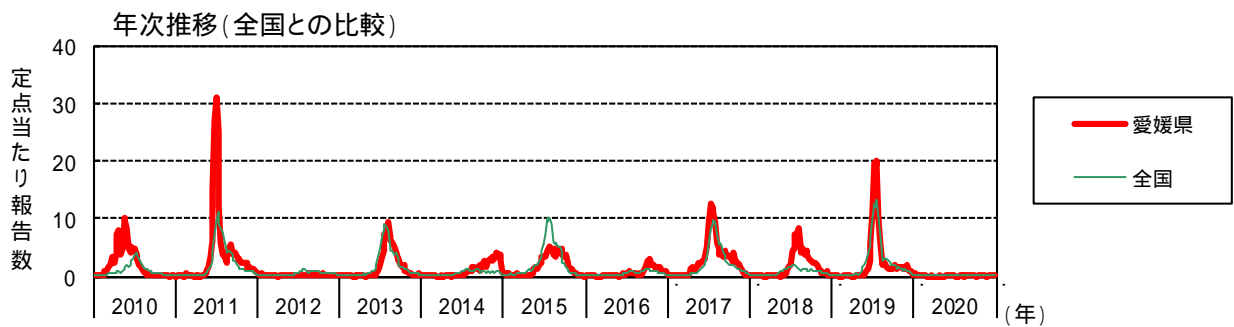
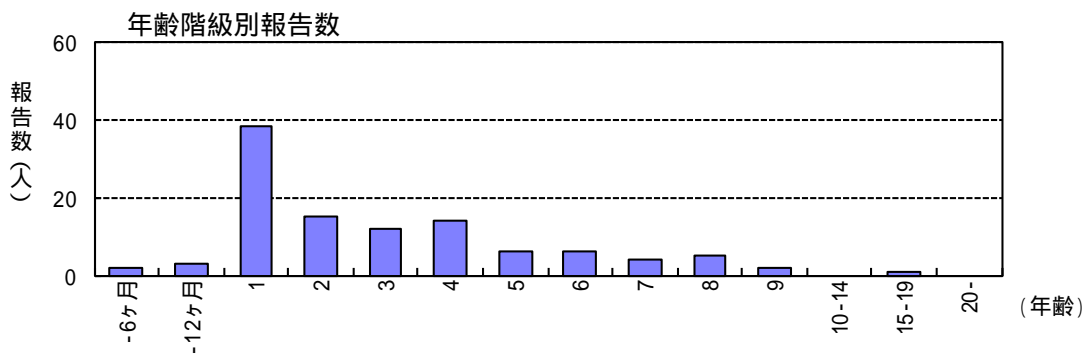
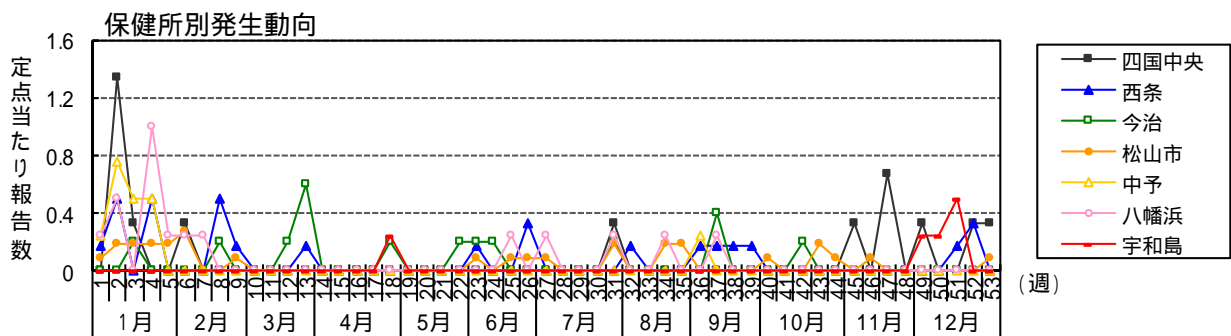
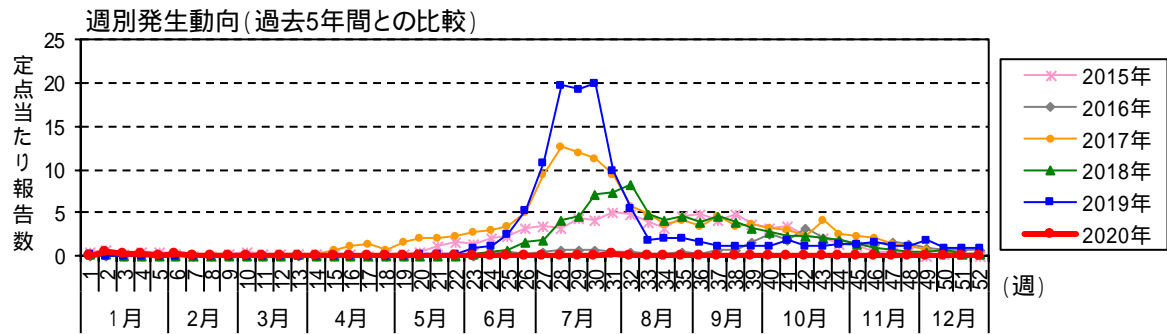
月週	水痘 [2019/2020シーズン(2019年第36週~2020年第35週)]											定点当たり報告数						
	患者報告数					2019/2020シーズン						愛媛県			全国			
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2019/2020	2018/2019	2017/2018	2019/2020	2018/2019	2017/2018	2019/2020	2018/2019	2017/2018		
36			7			8	721	704	620	0.33		0.64	0.19	0.14	0.22	0.23	0.22	0.20
37	1		1			8	612	696	624	0.33	0.20	0.20	0.05	0.05	0.22	0.19	0.22	0.20
38	2	1	2		1	5	747	683	621	0.17	0.20	0.18	0.19	0.11	0.14	0.24	0.22	0.20
39	1	1	1		1	3	661	735	745		0.20	0.09	0.14	0.22	0.08	0.21	0.23	0.24
40		1	4		2	10	792	746	758		0.20	0.18	0.27	0.08	0.30	0.25	0.24	0.23
41			2		3	11	702	870	758		0.20	0.36	0.05	0.30	0.30	0.22	0.27	0.24
42			4		1	5	701	854	1,050	0.33	0.20	0.36	0.19	0.14	0.27	0.22	0.27	0.33
43	1		1		1	9	915	878	924	0.67	0.20	0.55	0.08	0.35	0.24	0.29	0.28	0.29
44	2		6		2	11	1,029	1,008	1,470		0.20	0.20	0.30	0.31	0.14	0.33	0.32	0.47
45		1	8		2	14	1,215	1,402	1,402	0.17	0.60	0.73	0.38	0.33	0.30	0.32	0.38	0.44
46		1	2		3	6	1,291	1,457	1,775		0.20	0.18	0.16	0.36	0.46	0.41	0.46	0.56
47	2	4	4		4	14	1,385	1,352	1,479	0.33	0.80	0.36	0.38	0.39	0.35	0.44	0.43	0.47
48			4		1	14	1,868	1,928	1,945		0.20	0.36	0.49	0.39	0.32	0.59	0.61	0.61
49	3		5		3	24	1,795	1,908	1,612	1.00	0.80	0.45	0.43	0.67	0.38	0.57	0.60	0.51
50		2	8		5	16	2,139	1,989	2,105	0.40		0.73	1.25	0.78	0.30	0.67	0.63	0.67
51	1		5		6	15	1,998	2,289	1,658	0.17		0.45	1.50	0.75	0.41	0.63	0.72	0.52
52			10		5	18	1,959	1,693	1,586			0.91	1.25	0.75	0.49	0.62	0.54	0.51
1		1	3		2	7	945	1,316	1,436	0.17		0.27	0.19	0.59	0.30	0.32	0.43	0.46
2			3		1	15	2,063	1,741	1,205			0.27	0.41	0.51	0.16	0.65	0.55	0.38
3		1	4		5	7	940	857	895			0.36	0.19	0.27	0.19	0.30	0.27	0.28
4	1	1	3		1	9	1,363	1,132	921	0.33		0.27	0.24	0.41	0.14	0.43	0.36	0.29
5	1		2		1	6	957	794	799	0.33		0.18	0.16	0.16	0.11	0.30	0.25	0.25
6			5		1	11	1,243	920	738			0.36	0.25	0.25	0.25	0.30	0.29	0.23
7		2	3		2	8	1,171	839	695			0.27	0.22	0.22	0.27	0.37	0.26	0.22
8	1	1	2		1	6	1,250	953	676			0.17	0.16	0.41	0.11	0.39	0.30	0.21
9		1	7		3	13	1,191	895	657			0.17	0.25	0.35	0.41	0.38	0.28	0.21
10		2	5		1	11	1,157	1,059	827			0.45	0.30	0.19	0.03	0.37	0.33	0.26
11	3	3	6		1	10	1,111	1,029	764			0.50	0.27	0.51	0.11	0.35	0.32	0.24
12	2	2	3		3	6	829	1,146	944			0.33	0.16	0.22	0.24	0.26	0.36	0.30
13	5	3	2		2	11	754	1,076	851			0.83	0.25	0.30	0.30	0.24	0.34	0.24
14	3		1		1	6	637	1,013	1,118			0.50	0.16	0.24	0.16	0.20	0.32	0.35
15	1	4	4		3	9	538	991	894			0.17	0.32	0.24	0.22	0.17	0.31	0.28
16	1		2		2	4	487	912	925			0.17	0.11	0.41	0.32	0.15	0.29	0.29
17	2	3	1		1	7	351	1,191	1,237			0.60	0.25	0.19	0.41	0.11	0.38	0.39
18	1		1		1	3	339	611	894	0.67		0.09	0.25	0.08	0.11	0.11	0.21	0.29
19		2	1		1	5	235	1,542	1,648	0.33		0.20	0.14	0.35	0.38	0.07	0.49	0.52
20		2	3		1	6	299	954	1,105	0.33		0.60	0.16	0.30	0.11	0.09	0.30	0.35
21			1		1	15	276	1,415	1,869			0.09	0.03	0.41	0.24	0.09	0.45	0.59
22			2		2	12	265	1,143	1,177			0.18	0.05	0.32	0.19	0.08	0.36	0.37
23						9	304	1,423	1,600					0.24	0.32	0.10	0.45	0.51
24			3		1	12	347	1,243	1,185				0.08	0.32	0.41	0.11	0.39	0.37
25			5		6	20	282	1,169	1,228				0.14	0.16	0.54	0.09	0.37	0.39
26			1		1	11	241	1,380	1,159				0.03	0.30	0.65	0.08	0.43	0.37
27	1		2		4	12	320	1,111	1,224	0.33		0.18	0.11	0.32	0.27	0.10	0.35	0.39
28	1		1		1	5	383	1,182	850	0.33		0.20	0.14	0.41	0.28	0.12	0.37	0.27
29			1		2	6	321	878	891			0.20	0.16	0.19	0.11	0.10	0.28	0.28
30	1				6	9	344	1,040	792	0.33			0.25	0.05	0.16	0.25	0.33	0.25
31	2	2	4		1	10	363	868	721	0.67			0.25	0.27	0.08	0.11	0.27	0.23
32	4		4		8	10	355	791	663	1.33			0.36	0.25	0.11	0.11	0.26	0.22
33			2		1	8	330	587	621				0.18	0.30	0.22	0.11	0.19	0.20
34	1	2	2		3	6	364	743	708	0.33		0.40	0.16	0.11	0.08	0.12	0.24	0.23
35	1		1		3	6	287	511	558	0.33		0.20	0.16	0.22	0.22	0.09	0.16	0.18
合計	23	41	61	144	24	65	396	602	459	7.67	6.90	13.09	10.71	16.37	12.42	13.60	18.18	17.61

(参考)水痘 [2020年第1週～2020年第53週]

月週	患者報告数											定点当たり報告数					
	2020年						愛媛県					全国					
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018	
1	1	1	1	3	1	2	1	7	22	11	945	1,316	1,436	0.25	0.19	0.30	
2	1	1	1	3	1	1	6	15	19	6	2,063	1,741	1,205	1.50	0.41	0.16	
3	1	1	1	4	1	1	7	7	10	7	940	857	895	0.25	0.19	0.16	
4	1	1	1	3	1	1	1	9	15	5	1,363	1,132	921	0.25	0.24	0.14	
5	1	1	1	2	1	1	1	6	8	4	957	794	799	0.25	0.16	0.11	
6	1	1	1	4	1	1	1	11	11	6	1,243	920	738	0.30	0.22	0.16	
7	2	2	1	3	2	1	1	8	8	10	1,171	839	695	0.22	0.22	0.27	
8	1	1	2	2	1	1	1	6	15	4	1,250	953	676	0.16	0.41	0.11	
9	1	1	7	1	1	3	1	13	15	15	1,191	895	657	0.35	0.41	0.41	
10	2	2	1	5	1	2	1	11	7	1	1,157	1,059	827	0.25	0.30	0.19	
11	3	3	1	1	1	1	1	10	19	4	1,111	1,029	764	0.27	0.51	0.11	
12	2	2	6	3	3	1	1	6	8	9	829	1,146	944	0.25	0.16	0.22	
13	5	3	3	2	2	1	1	11	11	9	754	1,076	851	0.25	0.30	0.24	
14	3	3	1	1	1	1	1	6	9	6	637	1,013	1,118	0.25	0.16	0.16	
15	1	1	4	4	3	1	1	12	9	8	538	991	894	0.32	0.24	0.22	
16	1	1	2	2	1	1	1	4	15	12	487	912	925	0.11	0.41	0.32	
17	2	1	3	1	1	1	1	7	15	7	351	1,191	1,237	0.25	0.19	0.11	
18	1	1	1	1	1	1	1	3	4	5	339	611	894	0.25	0.08	0.11	
19	2	2	1	1	1	1	1	5	13	14	235	1,542	1,648	0.25	0.14	0.35	
20	2	2	3	1	1	1	1	6	11	4	299	954	1,105	0.16	0.30	0.11	
21	1	1	1	1	1	1	1	1	15	9	276	1,415	1,869	0.03	0.41	0.24	
22	2	2	7	2	1	1	1	2	12	7	265	1,143	1,177	0.05	0.32	0.19	
23	2	2	1	2	1	1	1	3	9	12	304	1,423	1,600	0.24	0.24	0.32	
24	1	1	1	1	1	1	1	3	12	15	347	1,243	1,185	0.08	0.32	0.41	
25	5	5	1	5	1	1	1	5	6	20	282	1,169	1,228	0.14	0.16	0.54	
26	1	1	1	1	1	1	1	1	11	24	241	1,380	1,159	0.03	0.30	0.65	
27	1	1	1	2	1	1	1	4	12	10	320	1,111	1,224	0.11	0.32	0.27	
28	1	1	1	1	1	1	1	5	15	10	383	1,182	850	0.14	0.41	0.28	
29	1	1	1	2	1	1	1	6	7	4	321	878	891	0.16	0.19	0.11	
30	1	1	1	1	1	1	1	2	6	9	344	1,040	792	0.05	0.16	0.25	
31	2	2	4	1	1	1	1	10	3	2	363	868	721	0.25	0.27	0.08	
32	4	4	4	4	4	4	4	8	10	4	355	791	663	0.22	0.27	0.11	
33	3	3	2	2	1	1	1	3	11	8	330	587	621	0.08	0.30	0.22	
34	1	2	2	1	1	1	1	6	4	3	364	743	708	0.16	0.11	0.08	
35	1	1	1	3	1	1	1	6	8	8	287	511	558	0.16	0.22	0.22	
36	1	2	1	1	1	1	1	3	7	5	302	721	704	0.08	0.19	0.14	
37	2	2	1	1	1	1	1	6	2	18	336	612	696	0.16	0.05	0.49	
38	3	3	1	1	1	1	1	2	7	4	387	747	683	0.05	0.19	0.11	
39	3	3	1	1	1	1	1	2	5	8	361	661	735	0.05	0.14	0.22	
40	1	3	1	1	1	1	1	5	10	3	394	792	746	0.14	0.27	0.08	
41	1	1	1	1	1	1	1	2	2	11	376	702	870	0.05	0.05	0.30	
42	3	3	1	1	1	1	1	7	7	5	435	701	854	0.19	0.19	0.14	
43	3	3	1	1	1	1	1	3	3	13	481	915	878	0.08	0.08	0.35	
44	2	1	1	2	1	1	1	6	11	6	561	1,029	1,008	0.16	0.30	0.31	
45	3	3	1	5	1	1	1	6	14	12	590	1,029	1,215	0.16	0.38	0.33	
46	1	1	1	2	2	1	1	5	6	13	641	1,291	1,457	0.14	0.16	0.36	
47	3	3	3	10	3	3	3	14	14	14	738	1,385	1,352	0.38	0.38	0.39	
48	3	3	3	2	2	1	1	9	18	14	691	1,868	1,928	0.24	0.49	0.39	
49	1	1	1	8	1	2	1	12	16	24	676	1,795	1,908	0.32	0.43	0.67	
50	1	1	3	5	1	1	1	12	16	28	665	2,139	1,989	0.32	0.44	0.78	
51	1	1	5	4	1	1	1	12	15	15	604	1,998	2,289	0.32	0.41	0.42	
52	2	2	2	2	4	4	4	8	18	24	566	1,959	1,693	0.33	0.40	0.65	
53	1	1	2	4	4	4	4	8	—	—	322	—	—	0.22	—	—	
合計	28	53	64	123	25	30	24	347	551	514	31,768	56,799	55,480	6.00	9.38	14.90	
											12.80	11.18	6.25	7.50	10.08	14.00	
															18.00	17.60	

手足口病

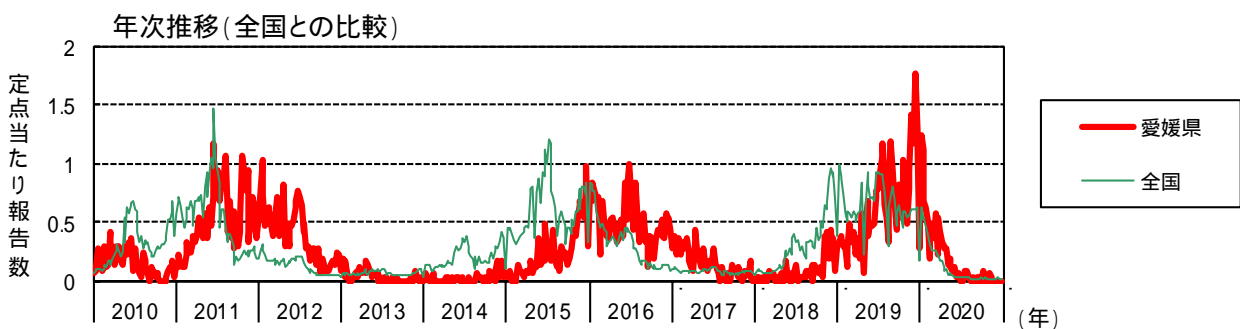
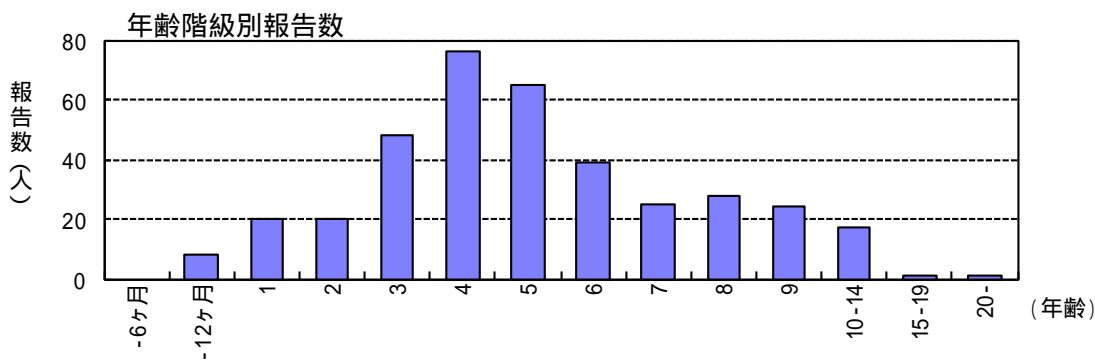
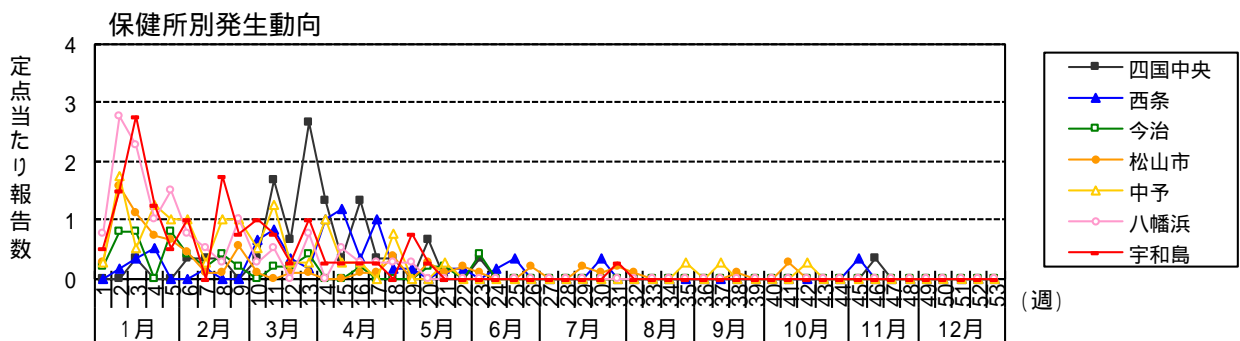
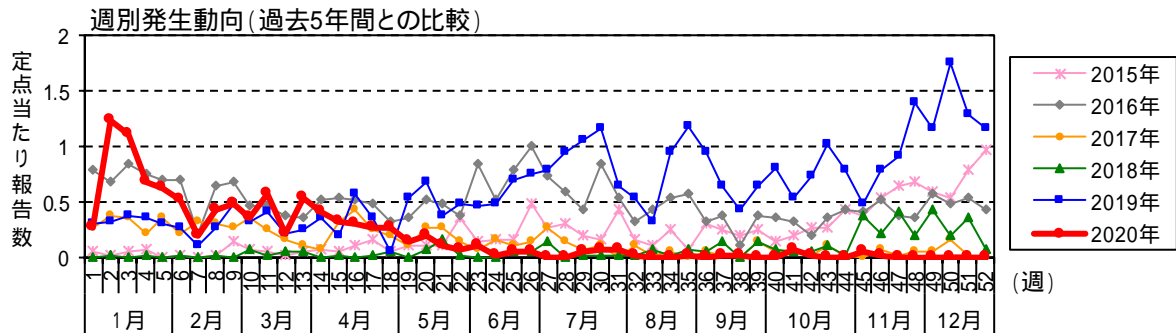
2020年の患者報告数は108人(定点当たり2.92人/年)で、前年(患者報告数4,643人、定点当たり125.52人/年)の0.02倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。本疾患は、例年4月から9月にかけて流行地域を移動しながら3~4カ月間流行するが、本年は年間を通して散發程度の発生で、第2週(1月上旬)の定点当たり0.38人/週が最高値であった。地域別の定点当たり報告数は、四国中央保健所4.33人/年、西条保健所3.83人/年、八幡浜保健所3.75人/年、今治保健所2.80人/年、松山市保健所2.64人/年、中予保健所2.25人/年、宇和島保健所1.25人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳が38人(35.2%)と最も多く、1~3歳の幼児が65人と全体の60.2%を占めた。病原体は、コクサッキーウイルスA16型が2例、コクサッキーウイルスA10型が1例検出された。





伝染性紅斑

2020年の患者報告数は372人(定点当たり10.05人/年)で、前年(患者報告数1,225人、定点当たり33.16人/年)の0.3倍に減少した。本疾患は、1992年、1997年、2001~2002年、2006~2007年、2011~2012年、2015~2016年、2019年と4、5年おきに流行期を迎えており、本年は小規模な発生であることから、非流行期と考えられる。本年は、前年に引き続き第2週(1月上旬)に定点当たり報告数1.24人/週となりピークを迎えた後、5月上旬からは散發程度の発生となった。地域別の定点当たり報告数は、宇和島保健所15.25人/年、八幡浜保健所13.75人/年、中予保健所13.50人/年、四国中央保健所11.67人/年、西条保健所8.50人/年、松山市保健所8.00人/年、今治保健所5.60人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、4歳が76人(20.4%)と最も多く、3~6歳が228人と全体の61.3%を占めた。



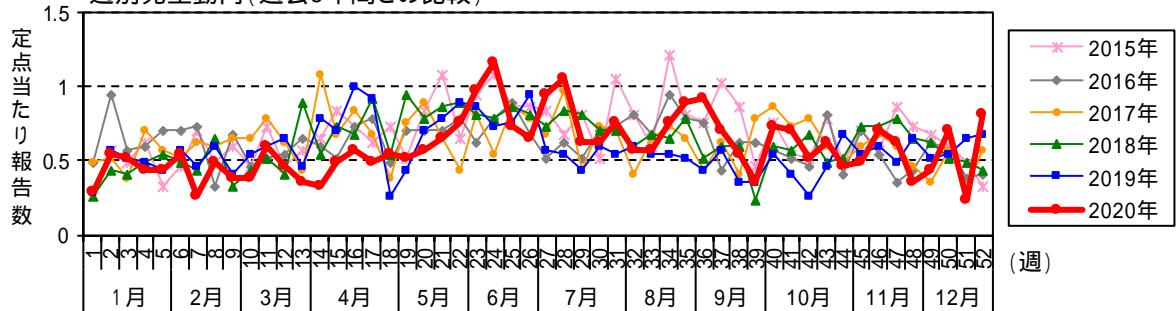




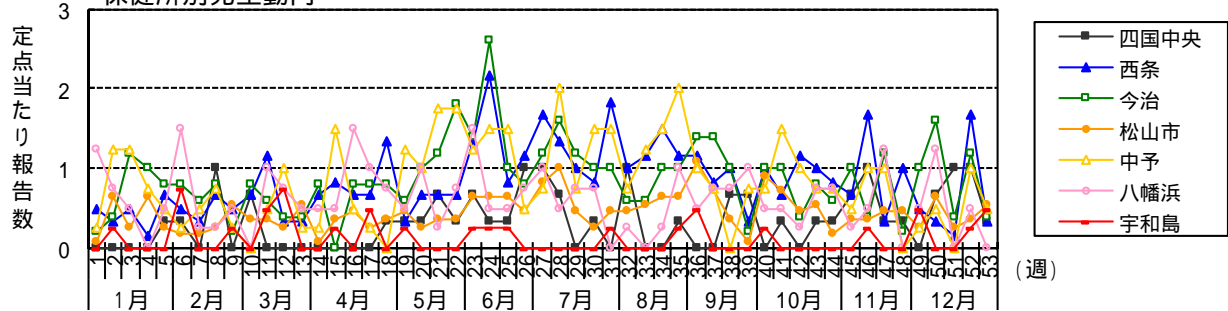
突発性発しん

2020年の患者報告数は1,153人(定点当たり31.16人/年)で、前年(患者報告数1,107人、定点当たり29.93人/年)と同程度の発生となった。本疾患は夏季にやや増加する傾向があり、本年は第24週(6月中旬)に定点当たり1.16人/週と最高値を示したが、年間を通じて大きく変動せず推移した。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所46.20人/年、西条保健所44.83人/年、中予保健所44.50人/年、八幡浜保健所32.25人/年、松山市保健所24.09人/年、四国中央保健所17.67人/年、宇和島保健所7.00人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳が683人(59.2%)、6~12ヶ月が336人(29.1%)で、1歳以下が1,028人と全体の89.2%を占めた。

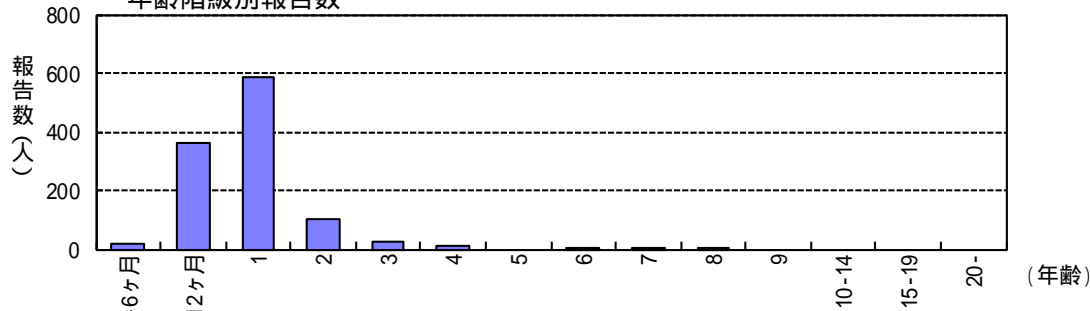
週別発生動向(過去5年間との比較)



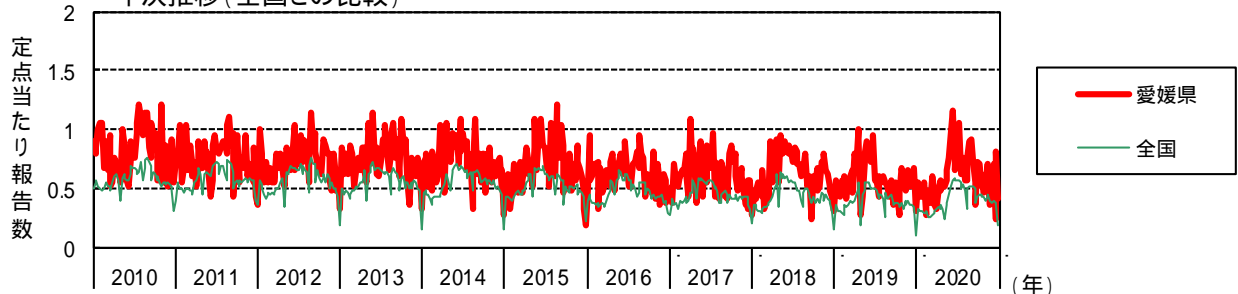
保健所別発生動向



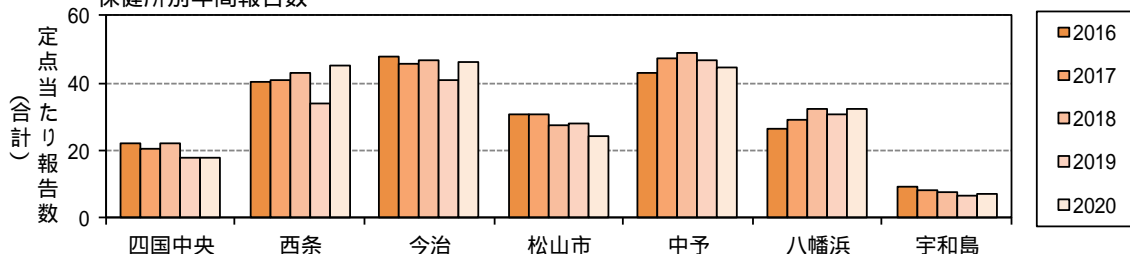
年齢階級別報告数



年次推移(全国との比較)



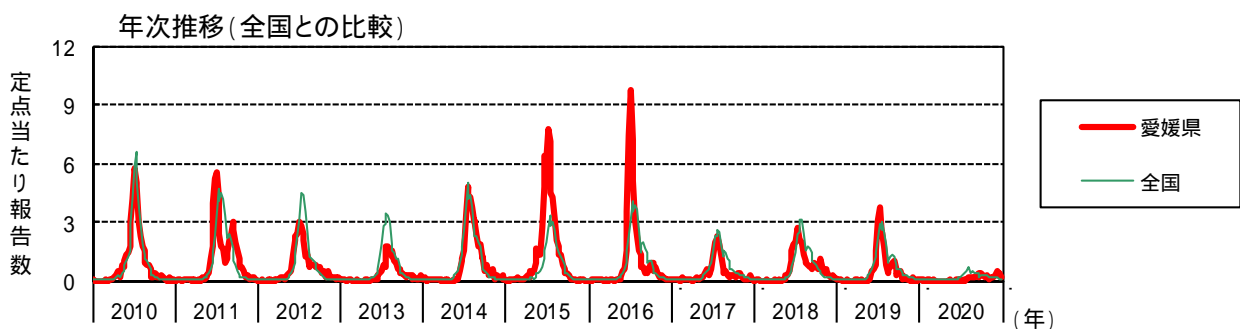
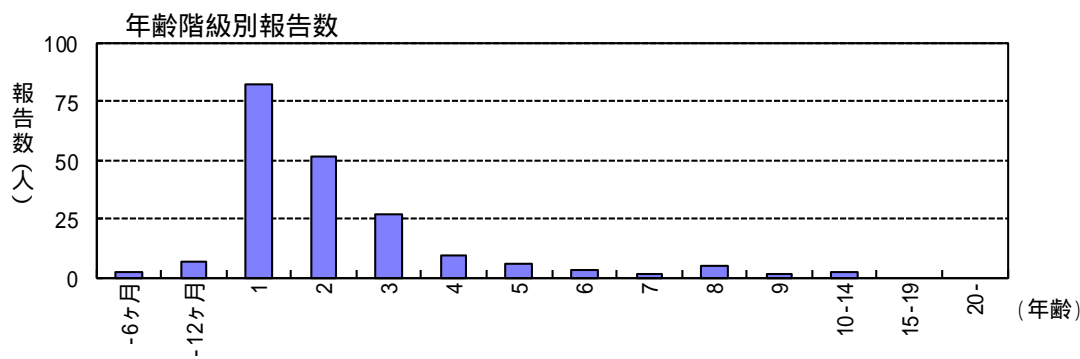
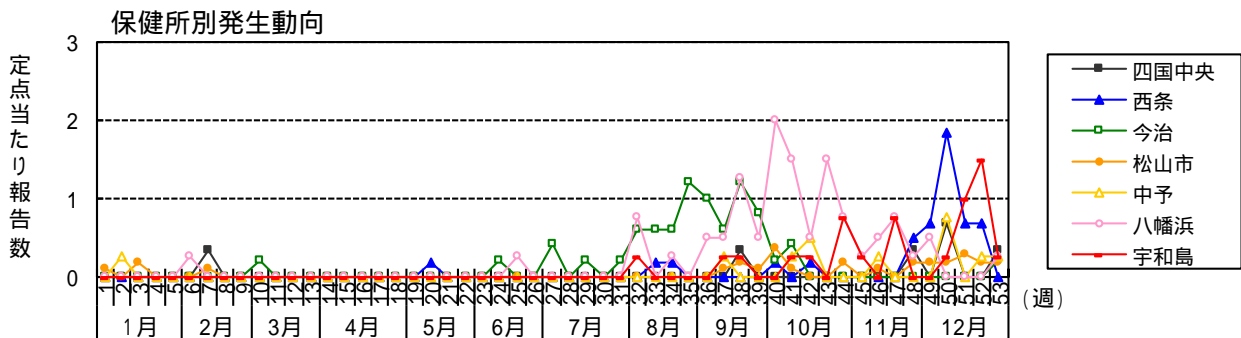
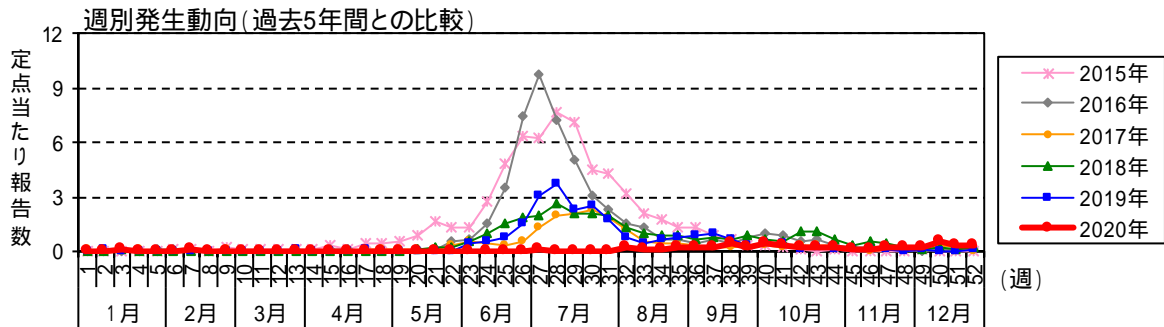
保健所別年間報告数





### ヘルパンギーナ

2020年の患者報告数は196人(定点当たり5.30人/年)で、前年(患者報告数893人、定点当たり24.14人/年)の0.2倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。8月上旬から今治保健所で増加し始め、その後八幡浜保健所、西条保健所、宇和島保健所で増加がみられたが、いずれも大きな流行とならないまま終息に向かった。地域別の定点当たり報告数は、八幡浜保健所13.00人/年、今治保健所8.60人/年、宇和島保健所6.00人/年、西条保健所5.17人/年、中予保健所2.75人/年、松山市保健所2.64人/年、四国中央保健所2.00人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、昨年と同様に1歳が82人(41.8%)と最も多く、1~4歳が169人と全体の86.2%を占めた。



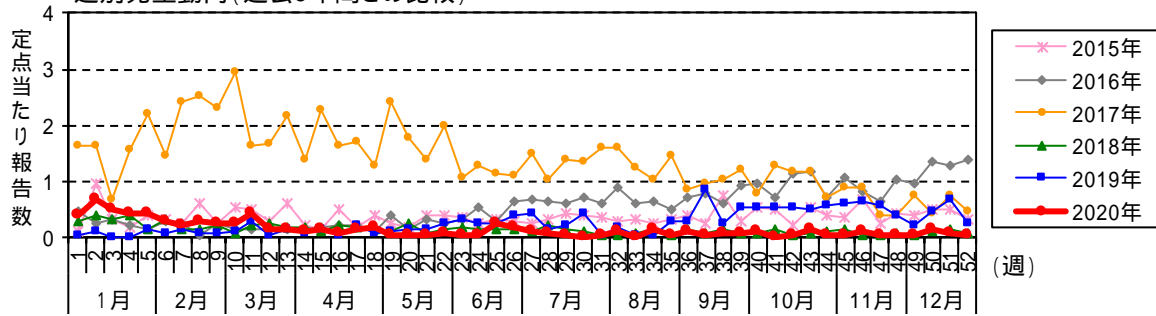
ヘルパンギーナ

月	週	患者報告数												定点当たり報告数										
		2020年						愛媛県						全国										
		保健所別			愛媛県			2020年			保健所別			愛媛県			全国							
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018
	1				1				41	32	52				0.09			0.03	0.03	0.03	0.01	0.01	0.01	
1	2				2	1		103	62	53					0.18	0.25		0.03	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02	
3	3					2		59	47	79								0.05	0.03	0.05	0.02	0.01	0.03	
4	4					1		69	55	57									0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	
5	5							96	39	53											0.03	0.01	0.02	
6	6					1		72	47	55						0.25		0.03			0.02	0.01	0.02	
7	7	1			1			70	48	29					0.09		0.05		0.05		0.02	0.02	0.01	
8	8							60	41	43											0.02	0.01	0.01	
9	9			1				72	83	37								0.03		0.03	0.02	0.01	0.01	
10	10							78	66	36								0.03			0.02	0.02	0.01	
3	11							55	84	42											0.02	0.03	0.01	
12	12							43	79	37											0.01	0.02	0.01	
13	13					2		47	96	42										0.05	0.01	0.03	0.01	
14	14					1		77	118	60										0.03	0.02	0.04	0.02	
15	15							86	134	85										0.03	0.03	0.04	0.03	
4	16					1		64	219	88										0.02	0.07	0.03	0.03	
17	17						3	70	239	124										0.08	0.02	0.08	0.04	
18	18							53	159	113											0.02	0.05	0.04	
19	19							40	295	155											0.03	0.01	0.05	
20	20		1					40	603	257								0.03			0.01	0.19	0.08	
21	21							52	981	434				0.17							0.02	0.31	0.14	
22	22							100	1,168	571											0.03	0.37	0.18	
23	23			1				124	1,790	887											0.04	0.56	0.28	
24	24							153	2,899	1,545				0.20				0.03			0.05	0.92	0.49	
25	25							275	3,789	2,033							0.25				0.76	1.19	0.64	
26	26							450	4,556	3,163											1.57	0.09	1.19	
27	27			2				635	6,742	4,654											1.57	0.14	1.44	
28	28							725	9,166	7,624											1.86	0.14	1.00	
7	29			1				1,098	8,052	7,851											3.08	0.20	2.12	
30	30							77	1,264	9,439				0.20							3.73	0.23	2.89	
31	31							93	1,264	9,439				0.20							2.30	0.35	2.48	
32	32			3				72	1,454	9,865											2.51	0.40	2.98	
33	33		1					29	2,264	6,237											1.76	0.46	2.45	
34	34		1					4	1,202	2,856				0.60							0.78	0.72	2.01	
35	35							5	1,302	3,128				0.17							0.11	0.39	1.48	
36	36							6	1,624	3,831				0.17							0.14	0.99	1.57	
9	37			5				7	1,292	4,071											0.16	0.51	1.70	
38	38	1		3				8	1,124	3,829				1.00							0.19	0.92	0.68	
39	39			4				2	1,090	3,273				0.60							0.22	0.36	1.21	
40	40							14	831	1,968				0.60							0.22	0.36	1.21	
41	41							11	1,748	1,871				0.33							0.41	0.95	1.48	
10	42		1					6	836	1,049											0.30	0.59	1.04	
43	43							6	741	955											0.30	0.86	0.86	
44	44	1						8	709	952											0.19	0.20	0.59	
45	45							2	506	669											0.38	0.46	0.62	
46	46							4	493	509											0.30	0.54	0.26	
47	47							6	426	445											0.16	0.26	0.52	
48	48	1	3					7	388	403											0.16	0.23	0.36	
49	49							8	421	365											0.22	0.11	0.67	
50	50	2						19	371	245											0.25	0.25	0.21	
51	51							11	245	213											0.11	0.08	0.16	
52	52							13	226	217											0.16	0.16	0.20	
53	53	1						7	121	—											0.22	0.12	0.11	
合計		6	31	43	29	11	52	196	893	1,094	99,304	5.17	8.60	2.64	2.75	13.00	6.00	5.30	24.14	29.77	8.02	30.76	31.50	

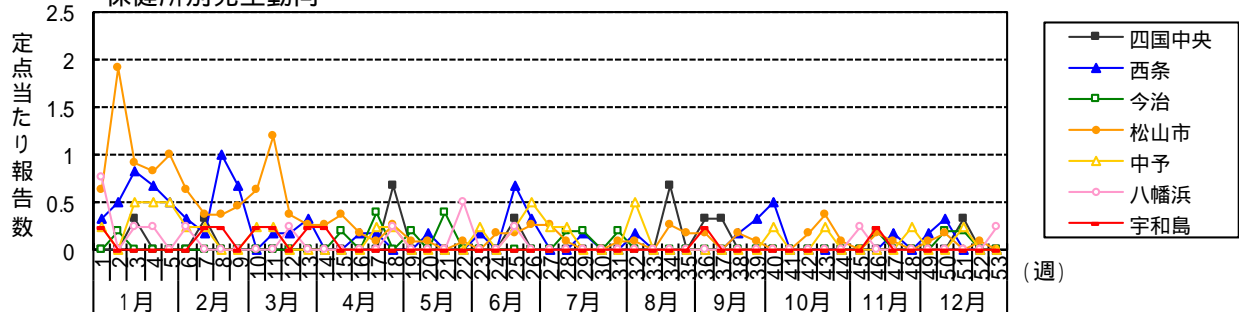
流行性耳下腺炎

2020年の患者報告数は284人(定点当たり7.68人/年)で、前年(患者報告数523人、定点当たり14.15人/年)の0.5倍に減少した。本疾患は3~4年周期で流行する特徴があり、本年は非流行期であると考えられた。本年は、1月上旬から3月上旬に松山市保健所で増加したが、年間を通して散發程度の発生で、第2週(1月上旬)の定点当たり0.68人/週が最高値であった。地域別の定点当たり報告数は、松山市保健所14.36人/年と多く、次いで西条保健所9.33人/年、中予保健所6.25人/年、四国中央保健所3.33人/年、八幡浜保健所3.25人/年、今治保健所で2.60人/年、宇和島保健所2.25人/年の順であった。患者の年齢は、幼児から成人まで幅広い年齢層にわたっていたが、4歳が49人(17.3%)と最も多く、4~7歳が165人と全体の58.1%を占めた。

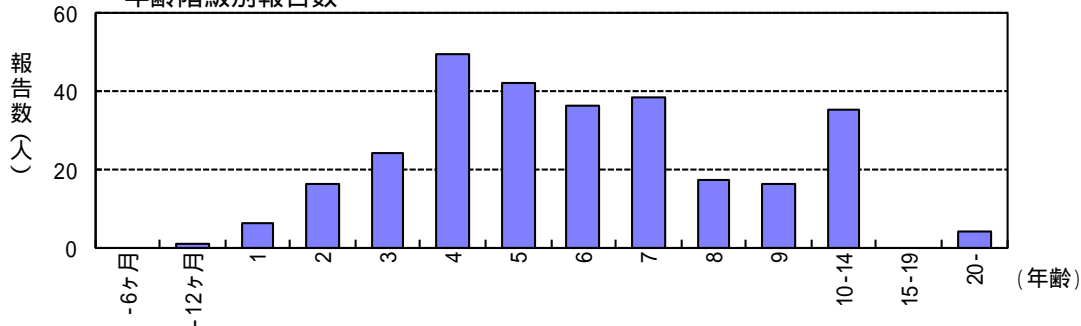
週別発生動向(過去5年間との比較)



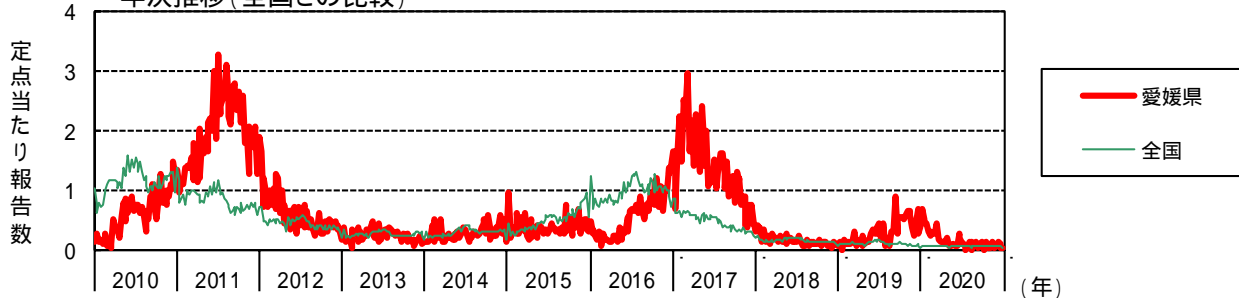
保健所別発生動向



年齢階級別報告数



年次推移(全国との比較)

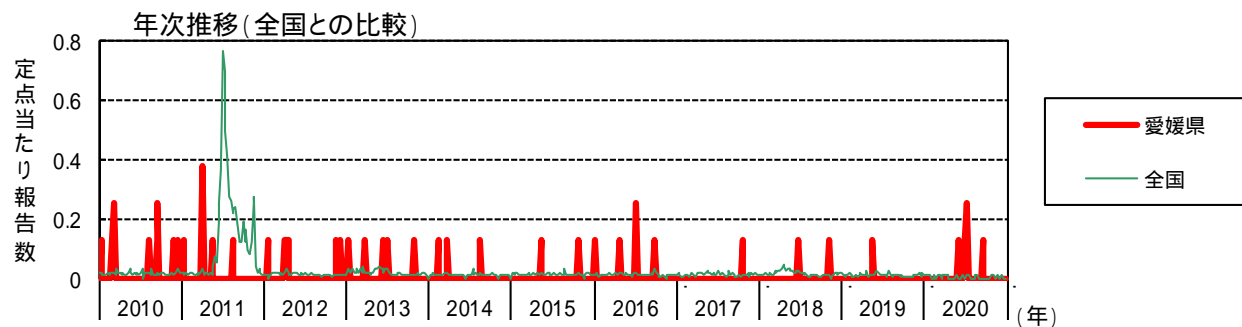
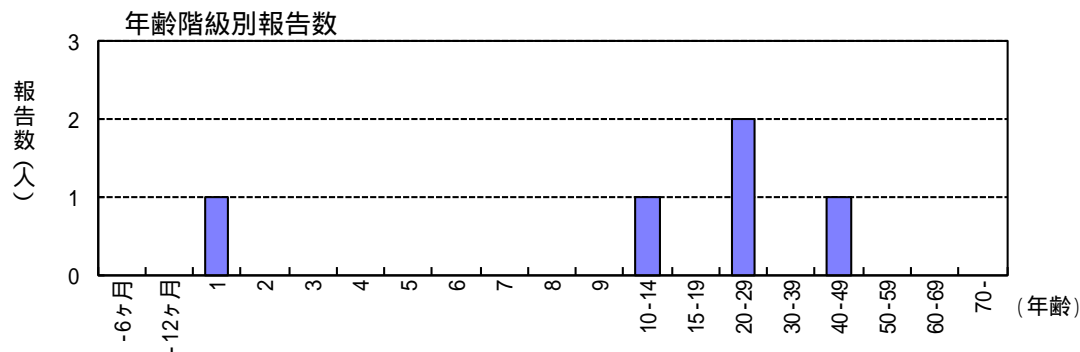
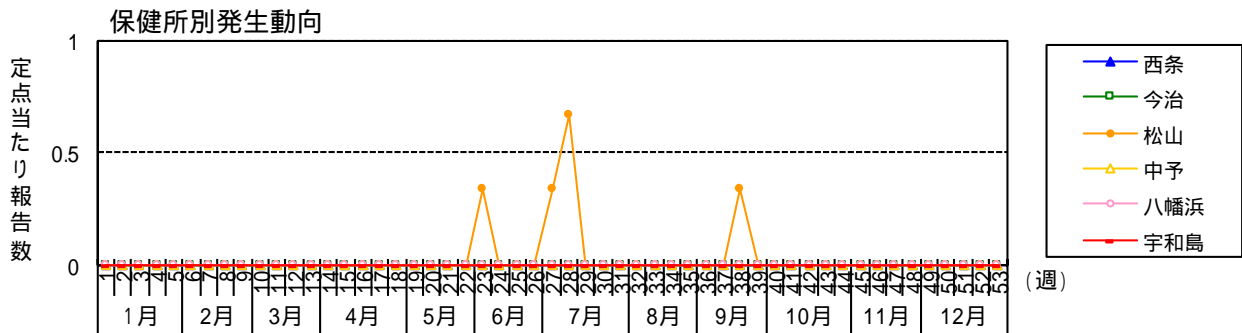
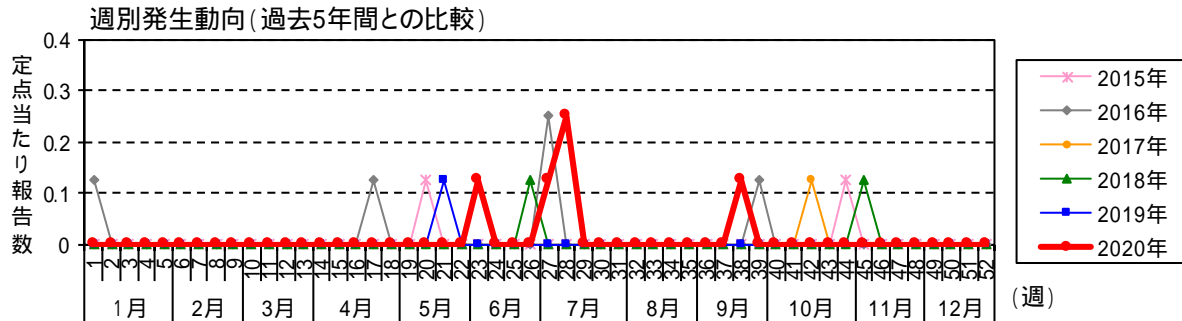




(4) 眼科定点対象疾患(週報)

急性出血性結膜炎

2020年の患者報告数は5人(定点当たり0.63人/年)で、前年(患者報告数1人、定点当たり0.13人/年)と同様、少数の報告であった。本疾患は、2004年9~10月に宇和島地区で地域的な短期流行があって以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。患者は松山市保健所からの報告で、年齢は幼児から成人まで幅広い年齢層にわたっていた。



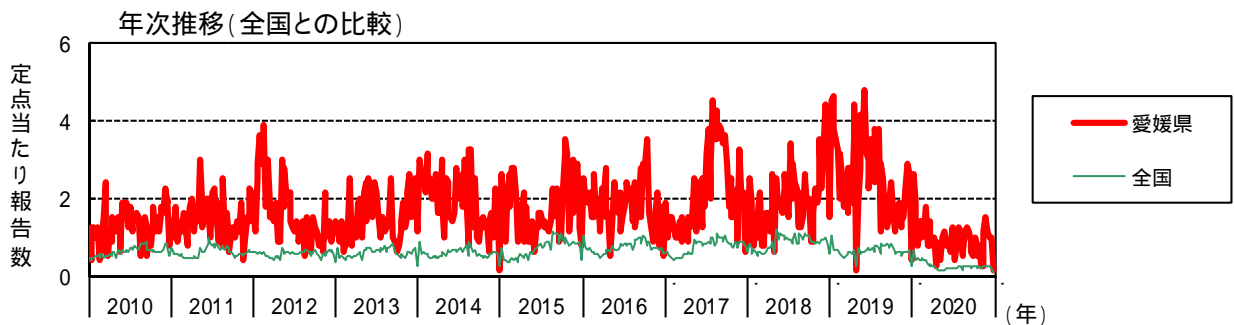
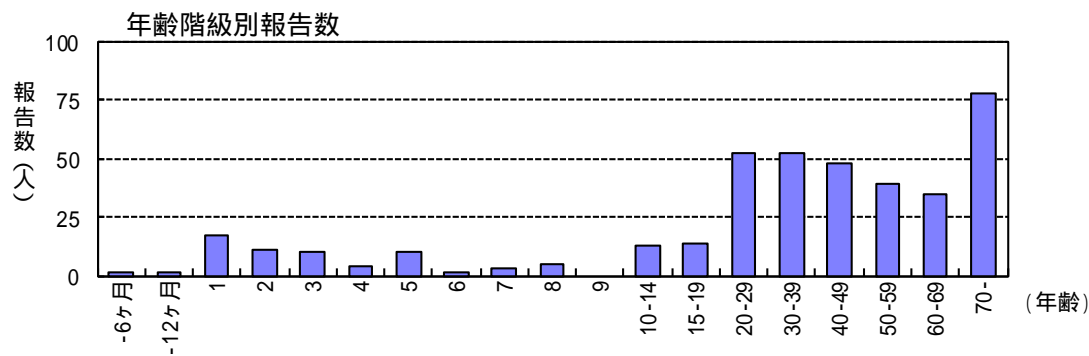
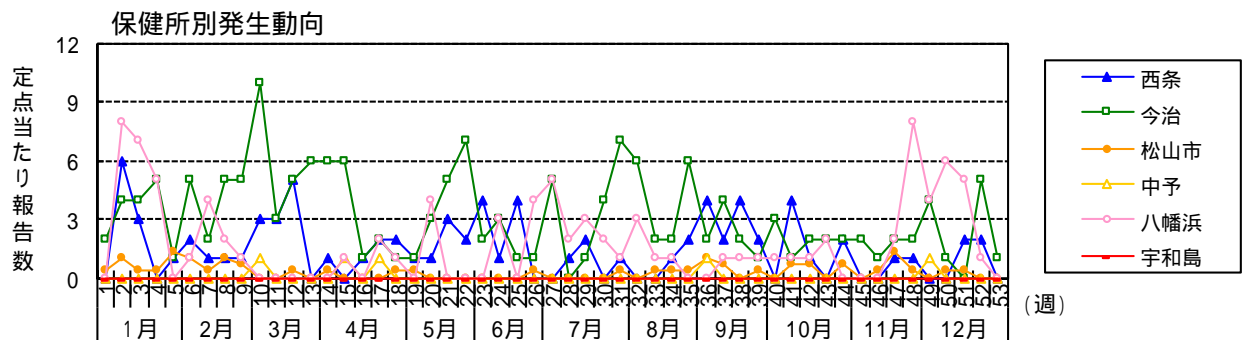
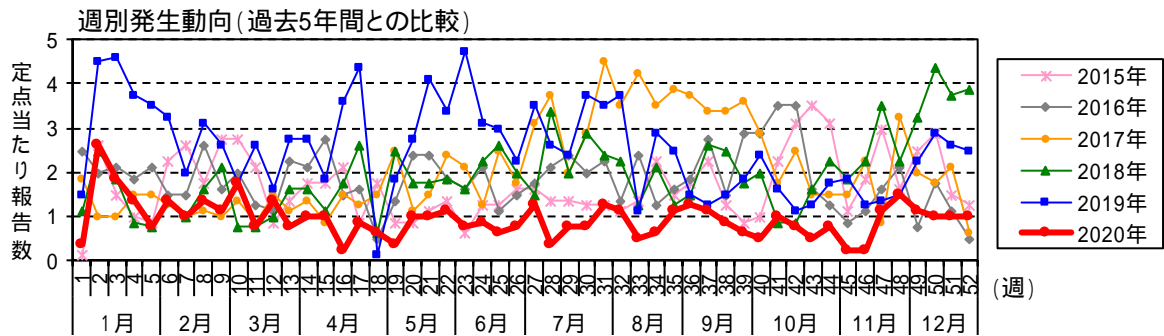


急性出血性結膜炎

月	週	患者報告数																			
		2020年 保健所別					愛媛県					全国									
		西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018					
1	1																		0.01	0.01	0.01
1	2																		0.01	0.01	0.01
1	3																		0.01	0.01	0.01
1	4																		0.01	0.01	0.01
1	5																		0.01	0.01	0.02
2	6																		0.02	0.01	0.01
2	7																		0.01	0.01	0.01
2	8																		0.01	0.01	0.01
2	9																		0.01	0.01	0.01
3	10																		0.01	0.01	0.02
3	11																		0.01	0.01	0.01
3	12																		0.01	0.01	0.01
3	13																		0.01	0.01	0.03
4	14																		0.01	0.01	0.02
4	15																		0.01	0.01	0.03
4	16																		0.01	0.01	0.04
4	17																		0.01	0.01	0.04
4	18																		0.02	0.04	0.02
5	19																		0.01	0.03	0.02
5	20																		0.01	0.03	0.03
5	21																		0.01	0.03	0.03
5	22																		0.01	0.01	0.02
6	23			1															0.13	0.02	0.02
6	24																		0.02	0.02	0.02
6	25																		0.01	0.01	0.03
6	26																		0.01	0.01	0.02
7	27			1															0.13	0.01	0.02
7	28			2															0.25	0.01	0.02
7	29																		0.01	0.01	0.01
7	30																		0.01	0.01	0.02
7	31																		0.01	0.02	0.01
8	32																		0.01	0.00	0.00
8	33																		0.00	0.00	0.00
8	34																		0.01	0.01	0.01
8	35																		0.01	0.01	0.01
9	36																		0.01	0.01	0.01
9	37																		0.01	0.01	0.01
9	38			1															0.01	0.01	0.01
9	39																		0.13	0.01	0.01
10	40																		0.01	0.00	0.00
10	41																		0.01	0.01	0.01
10	42																		0.01	0.01	0.01
10	43																		0.01	0.01	0.01
10	44																		0.01	0.01	0.01
11	45																		0.13	0.01	0.01
11	46																		0.01	0.01	0.00
11	47																		0.01	0.01	0.01
11	48																		0.01	0.01	0.01
12	49																		0.01	0.02	0.02
12	50																		0.01	0.01	0.01
12	51																		0.01	0.01	0.01
12	52																		0.01	0.01	0.01
12	53																		0.02	0.02	0.02
合計				5							5								0.63	0.13	0.25
											1.67								0.27	0.49	0.80

流行性角結膜炎

2020年の患者報告数は394人(定点当たり49.25人/年)で、前年(患者報告数1,057人、定点当たり132.13人/年)の0.4倍に減少し、1999年以降最も少ない発生規模であった。例年8~9月に患者数の増加がみられるが、本年は第2週(1月上旬)に定点当たり2.63人/週と最高値を示し、年間を通じて大きく変動せず推移した。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所が突出して多く、定点当たり報告数は166.00人/年だった。次いで八幡浜保健所95.00人/年、西条保健所80.00人/年、松山市保健所16.00人/年、中予保健所5.00人/年の順で、宇和島保健所からの報告はなかった。年齢別の患者報告数は、70歳以上が78人(19.8%)と多く、次いで20~29歳、30~39歳が各52人(13.2%)と20歳以上の成人が304人(77.2%)を占めた。



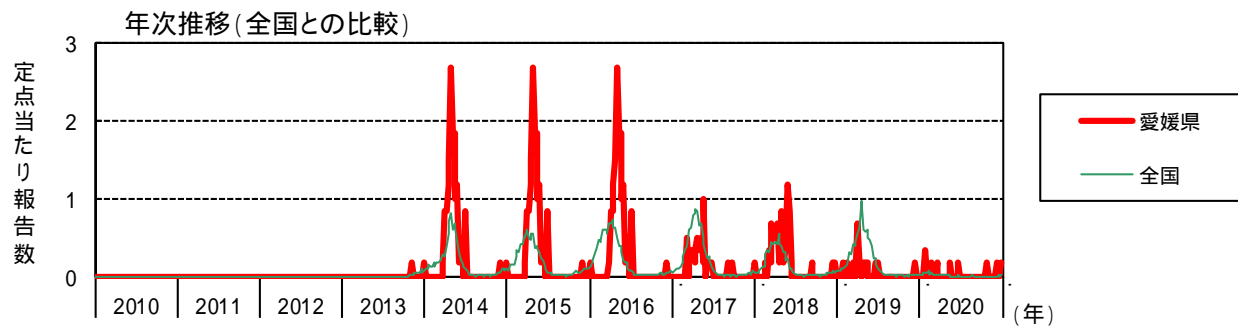
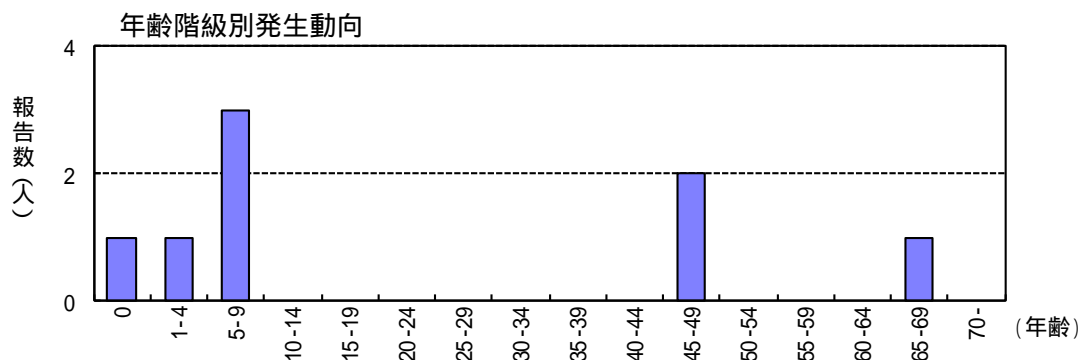
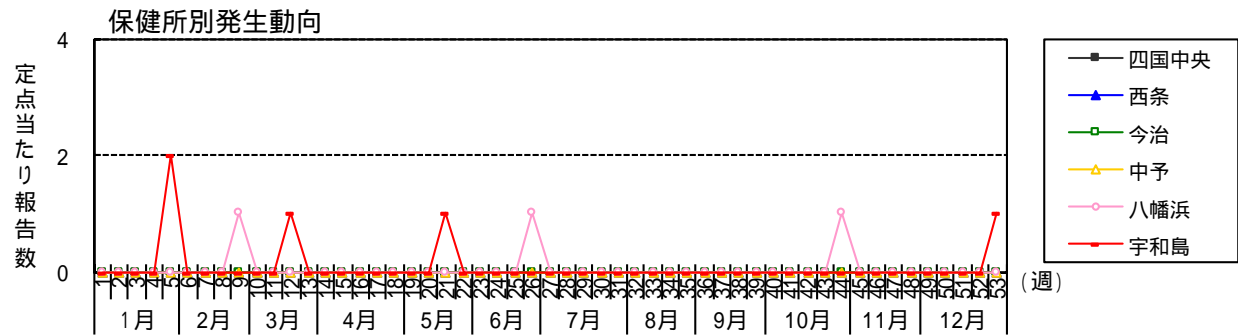
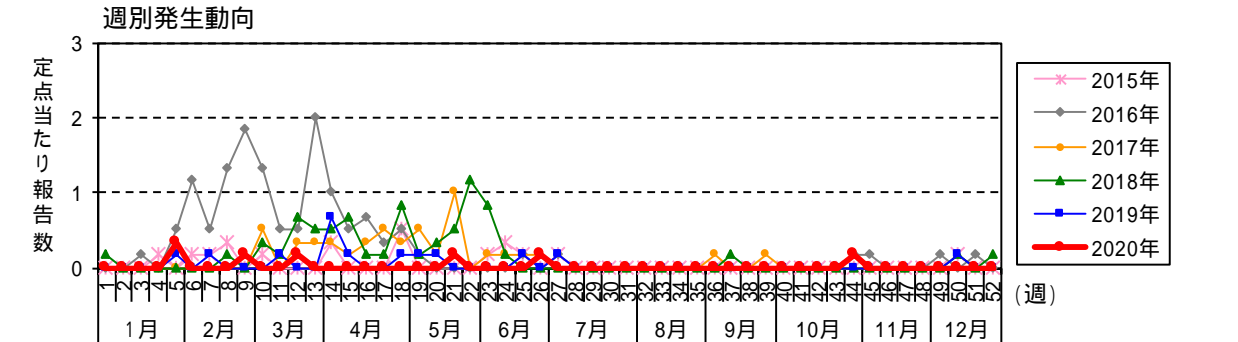
流行性角結膜炎

月週	患者報告数										定点当たり報告数				
	2020年 保健所別					愛媛県					全国				
	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1							3	12	9	158	361	426	0.38	1.50	1.13
2	6	4	3	1	8		21	36	20	464	718	569	2.63	4.50	2.50
3	3	4	1		7		15	37	15	294	455	508	1.88	4.63	1.88
4		5	1		5		11	30	7	276	472	398	1.38	3.75	0.88
5	1	1	4		5		6	28	6	301	466	450	0.75	3.50	0.75
6	2	5	3		1		11	26	11	289	445	410	1.38	3.25	1.38
7	1	2	8		4		8	16	8	284	376	361	1.00	2.00	1.00
8	1	5	3		2		11	25	13	307	374	420	1.38	3.13	1.63
9	1	5	2		1		9	21	17	296	342	415	1.13	2.63	2.13
10	3	10		1			14	14	6	297	307	370	1.75	1.75	0.75
11	3	3					6	21	6	189	341	377	0.75	2.63	0.75
12	5	5	1				11	13	8	183	370	371	1.38	1.63	1.00
13		6					6	22	13	220	417	439	0.75	2.75	1.63
14	1	6	1				8	22	13	180	432	506	1.00	2.75	1.63
15	15	6		1			8	15	15	162	381	501	1.00	1.88	1.13
16	1	1					2	29	14	132	447	550	0.25	3.63	1.75
17	2	2		1			7	35	21	121	441	635	0.88	4.38	2.63
18	2	1	1		1		6	14	5	83	146	367	0.63	0.13	0.63
19	1	1	1				3	15	20	76	489	821	0.38	1.88	2.50
20	1	3			4		8	22	14	97	418	767	1.00	2.75	1.75
21	3	5					8	33	14	99	399	666	1.00	4.13	1.75
22	2	7					9	27	15	99	423	772	1.13	3.38	1.88
23	4	2					6	38	13	115	438	720	0.75	4.75	1.63
24	1	3			3		7	25	18	112	469	711	0.88	3.13	2.25
25	4	1					5	24	21	112	479	651	0.63	3.00	2.63
26		1	1		4		6	18	16	135	472	672	0.75	2.25	2.00
27		5			5		10	28	12	137	446	646	1.25	3.50	1.71
28	1				2		3	21	27	131	498	645	0.38	2.63	3.86
29	2	1			3		6	19	16	133	430	560	0.75	2.38	3.86
30		4			2		6	30	23	111	519	658	0.75	3.75	3.29
31	1	7	1		1		10	28	19	168	539	768	1.25	3.50	2.38
32		6			3		9	30	18	152	531	598	1.13	3.75	2.25
33		2	1		1		4	9	10	96	364	574	0.50	1.13	1.25
34	1	2	1		1		5	23	17	173	587	757	0.63	2.88	2.13
35	2	6					9	20	10	173	549	705	1.13	2.50	1.25
36	4	2	3				10	12	12	178	544	655	1.25	1.50	1.50
37	2	4	2		1		9	10	21	152	565	745	1.13	1.25	2.63
38	4	2			1		7	12	20	163	520	716	0.88	1.50	2.50
39	2	1	1		1		5	15	14	113	507	712	0.63	1.88	1.75
40		3			1		4	19	16	175	560	721	0.50	2.38	2.00
41	4	4	2		1		8	13	7	166	484	605	1.00	1.63	0.88
42	1	2	2		1		6	9	7	169	435	612	0.75	1.13	0.88
43	4	2			2		4	10	13	145	394	600	0.50	1.25	1.63
44	2	2	2				6	14	18	163	432	563	0.75	1.75	2.25
45		2					2	15	15	127	418	605	0.25	1.88	1.88
46	1	1	1				2	10	18	179	418	556	0.25	1.25	2.25
47	1	2	4		2		9	11	28	172	350	569	1.13	1.38	3.50
48	1	2	1		8		12	12	18	152	410	650	1.50	1.50	2.25
49		4		1			9	18	26	171	416	659	1.13	2.25	0.94
50		1	1		6		8	23	35	171	413	661	1.00	2.88	4.38
51	2	1	1		5		8	21	30	132	449	679	1.00	2.63	3.75
52	2	5			1		8	20	31	136	421	559	1.00	2.50	3.88
53		1					1			62			0.13		
合計	80	166	48	5	95		394	1,057	813	9,081	23,077	30,631	49.25	132.13	103.02
													13.09	33.25	44.01

(5) 基幹定点対象疾患(週報)

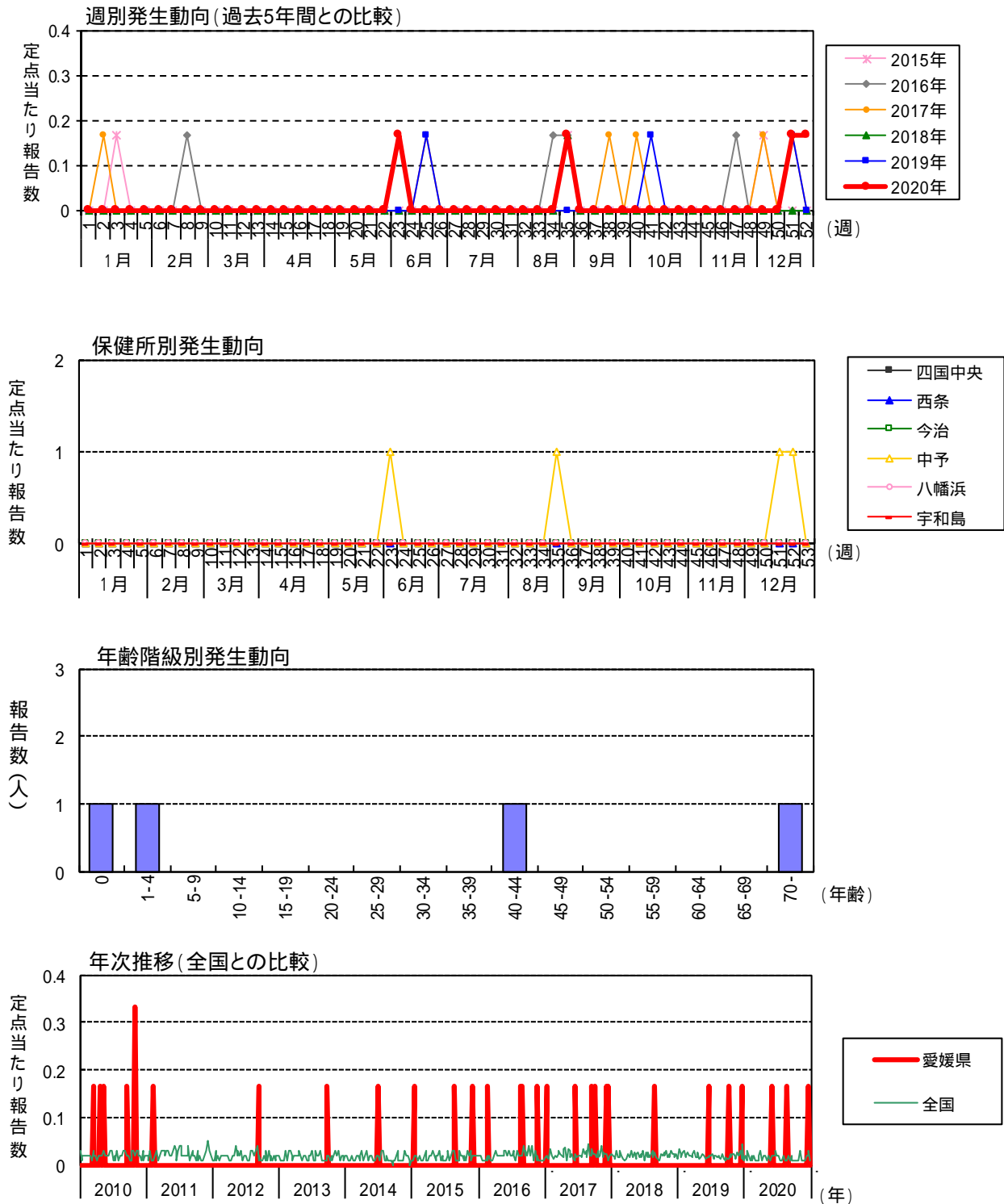
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(ロタウイルス胃腸炎)

2020年の患者報告数は8人(定点当たり1.33人/年)で、前年(患者報告数14人、定点当たり2.33人/年)の0.6倍に減少した。主に1月下旬から6月下旬にかけて発生がみられた。地域別の患者報告数は、宇和島保健所5人、八幡浜保健所3人であった。年齢別での患者報告数は、1~9歳が5人と全体の62.5%を占めた。



細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)

2020年の患者報告数は4人(定点当たり0.67人/年)で、前年(患者報告数3人、定点当たり0.50人/年)の1.3倍に増加した。すべて中予保健所からの報告で、年齢別の患者報告数は、1歳未満、1~4歳、40~44歳、70歳以上が各1人だった。病原体は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌2人、黄色ブドウ球菌、その他のブドウ球菌が各1人であった。



細菌性髄膜炎

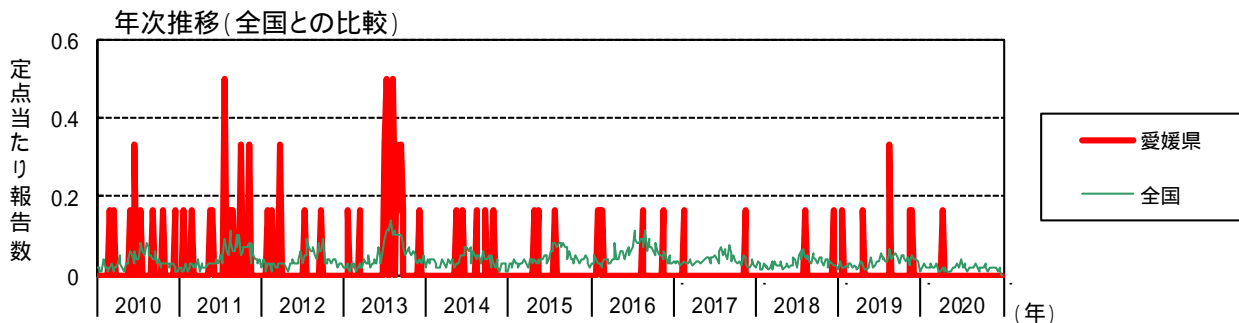
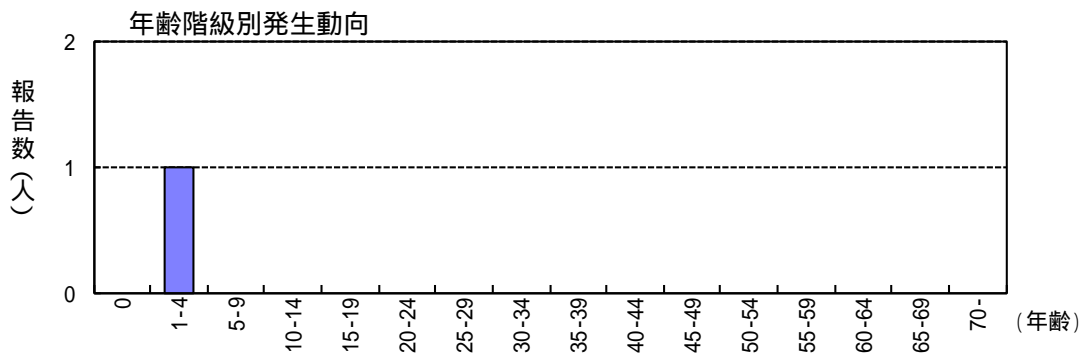
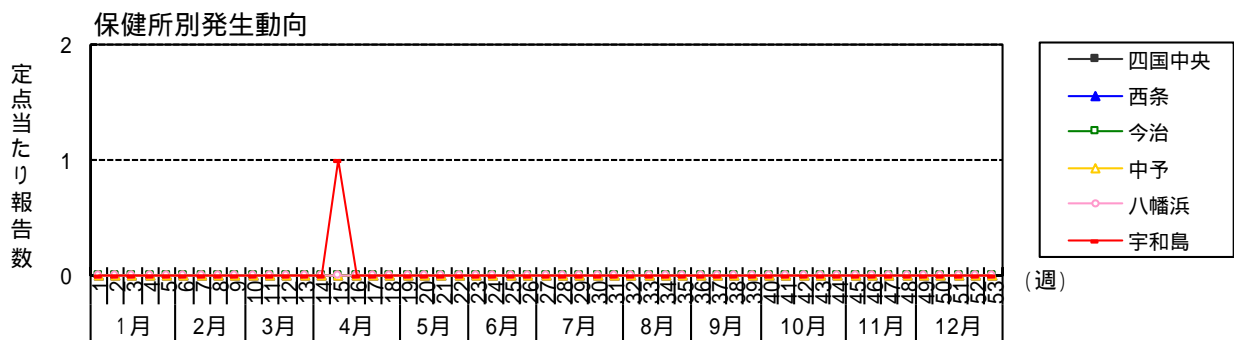
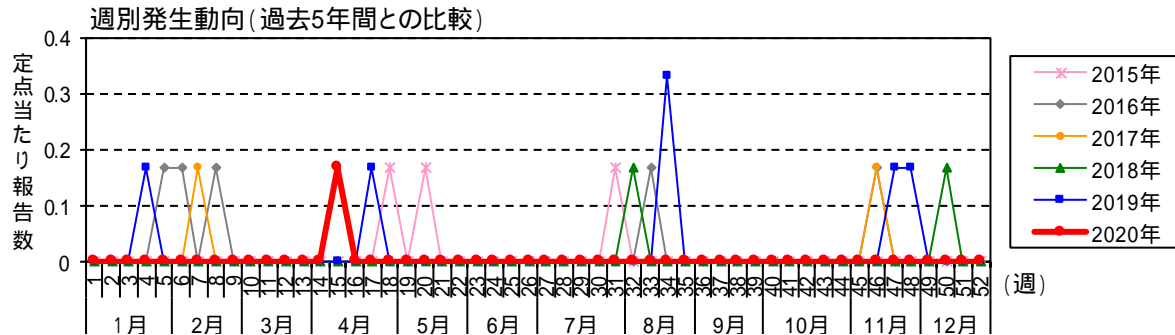
月週	患者報告数										定点当たり報告数						
	2020年					愛媛県					全国						
	四国中央	西条	今治	中予	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	
41																	
42																	
43																	
44																	
45																	
46																	
47																	
48																	
49																	
50																	
51																	
52																	
53																	
合計																	

ロタウイルス胃腸炎

月週	患者報告数										定点当たり報告数			
	2020年					愛媛県					全国			
	四国中央	西条	今治	中予	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														
51														
52														
53														
合計														

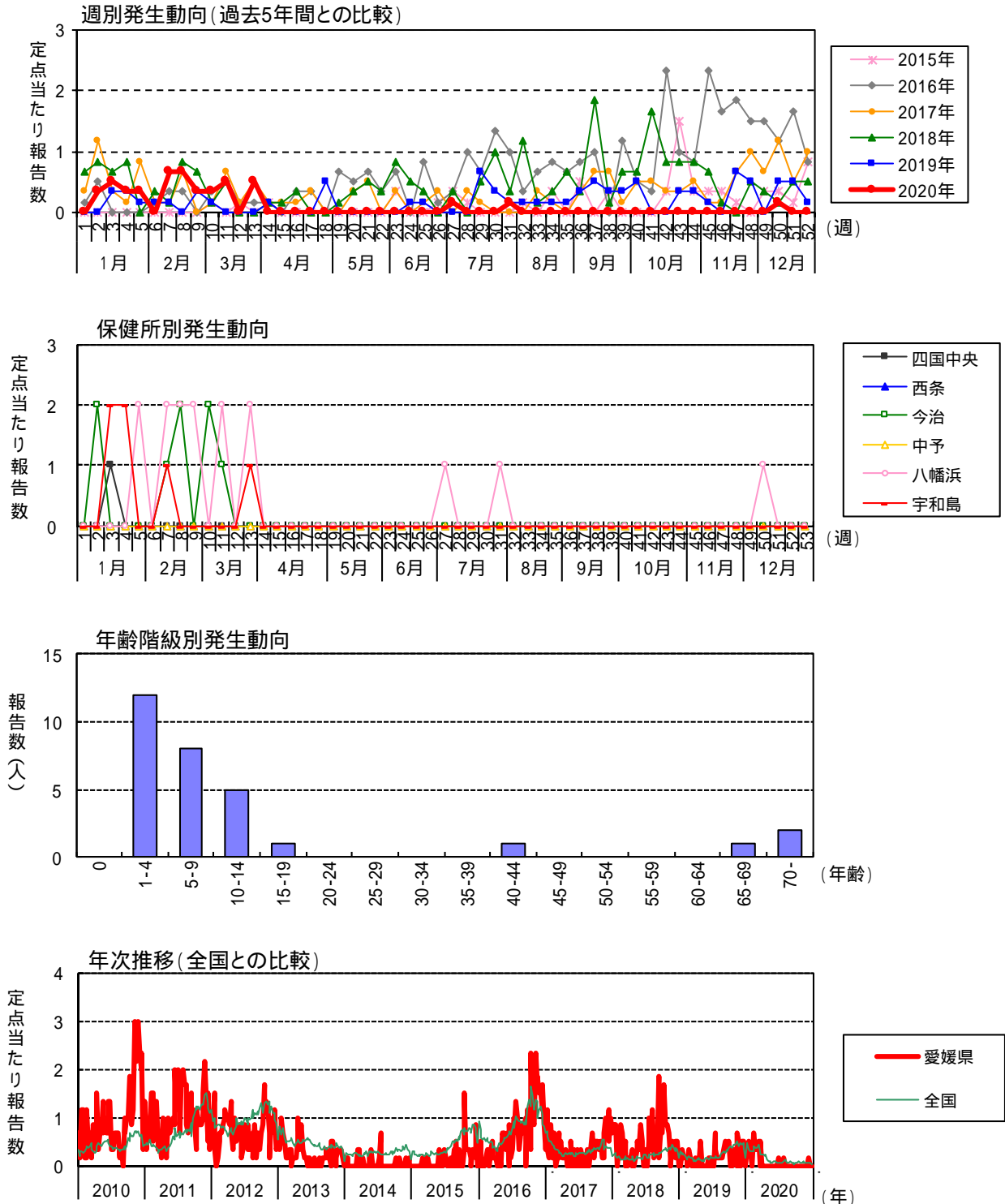
無菌性髄膜炎

2020年の患者報告数は1人(定点当たり0.17人/年)で、前年(患者報告数6人、定点当たり1.00人/年)の0.2倍に減少した。発生は4月に宇和島保健所でみられた。患者は1~4歳で、病原体は不明であった。



### マイコプラズマ肺炎

2020年の患者報告数は30人(定点当たり5.00人/年)で、前年(患者報告数58人、定点当たり9.67人/年)の0.5倍に減少した。主に1月上旬から3月下旬にかけて患者数が増加した。地域別の患者報告数は、八幡浜保健所が15人と最も多く、次いで今治保健所8人、宇和島保健所6人、四国中央保健所1人であった。年齢別の患者報告数は、1~4歳が12人(40.0%)と多く、14歳以下が25人と83.3%を占めた。

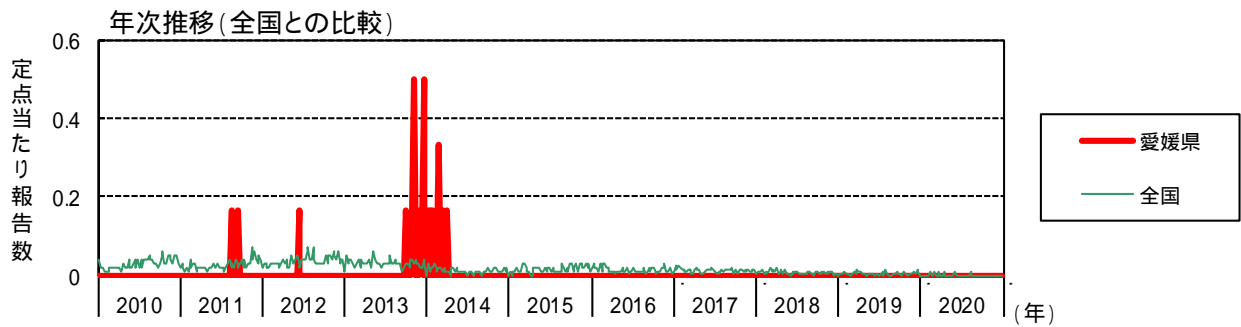
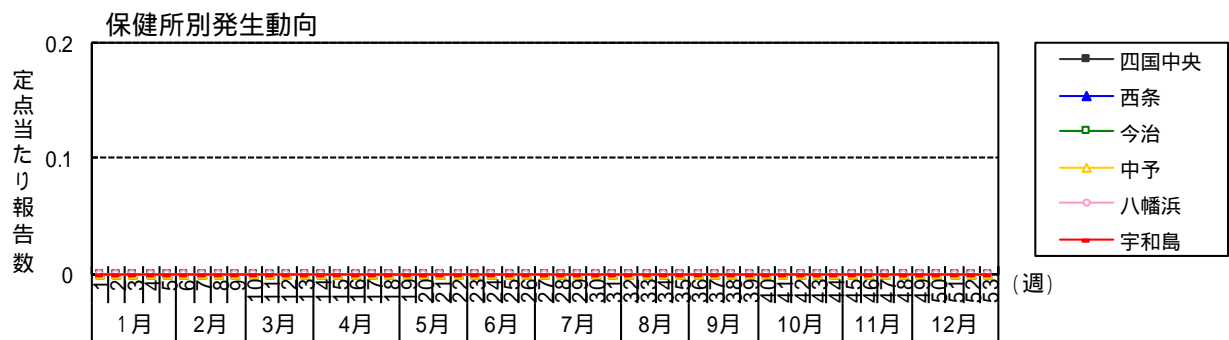
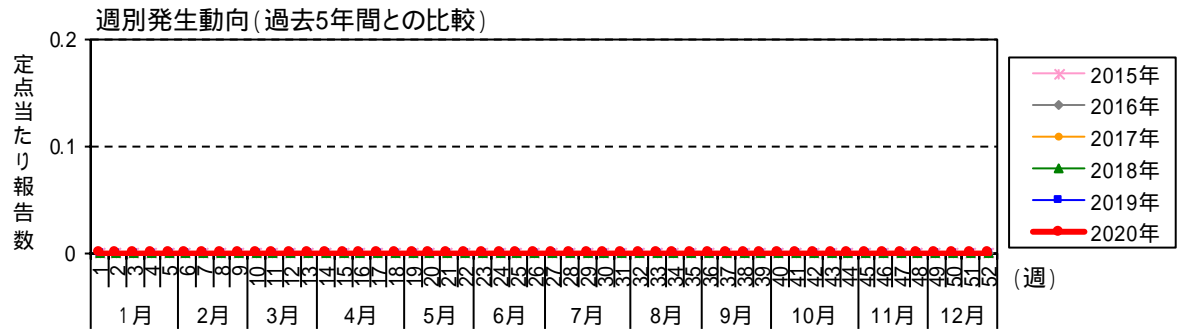






クラミジア肺炎(オウム病を除く)

2020年の患者報告は前年同様なかった。1999年の感染症法施行以降、2004年に4人、2013年に10人、2014年に7人の報告があった以外は、年間0~2人と少数の報告で推移している。



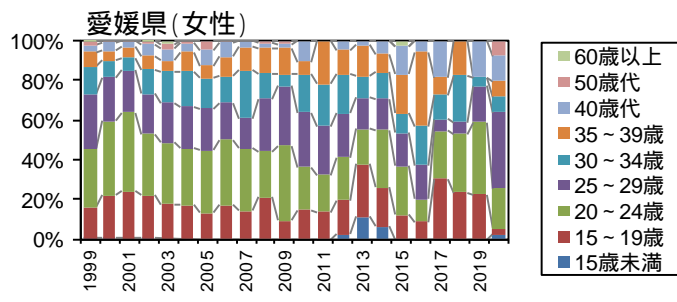
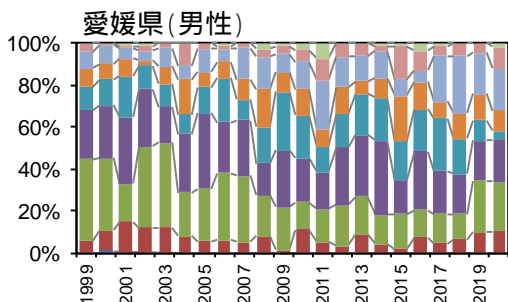
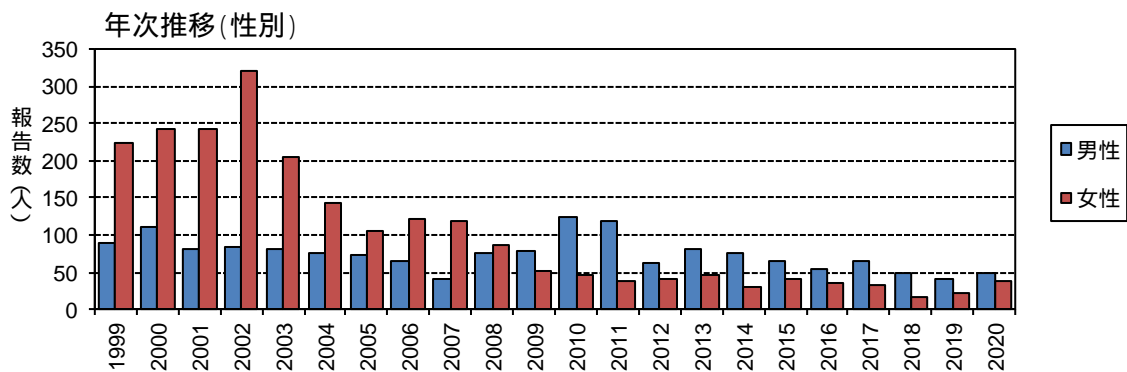
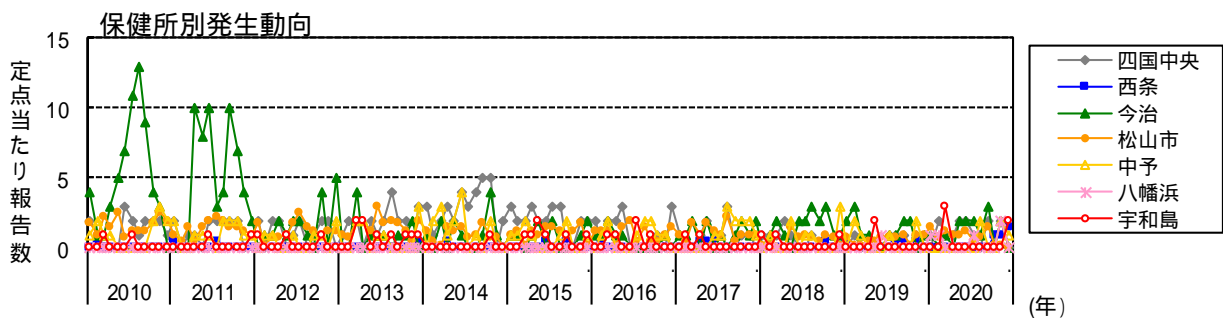
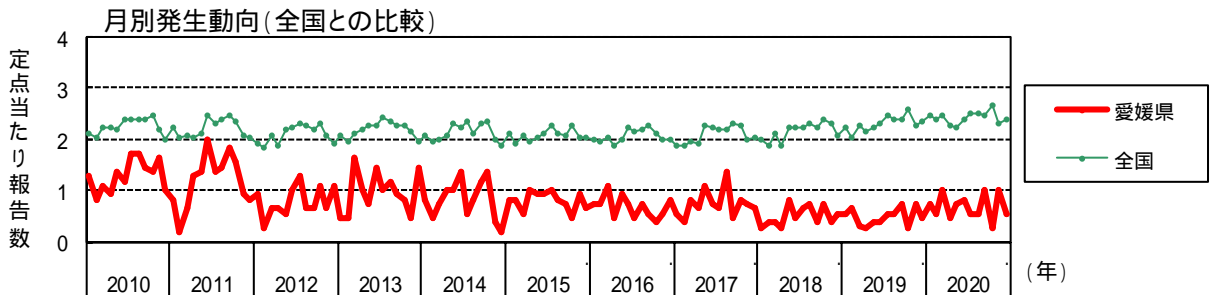
## クラミジア肺炎(オウム病は除く)

月週	患者報告数					定点当たり報告数							
	2020年 保健所別		愛媛県		全国	愛媛県		全国		全国			
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	
1							1	2	2			0.00	
2								4	4			0.01	
3							2	2	5			0.01	
4							2	2	4			0.01	
5							4	4	5		0.01	0.01	
6								2	1			0.00	
7							3	2	4		0.01	0.01	
8							4	1	2		0.01	0.00	
9							1	4	4			0.01	
10							3	1	9		0.01	0.02	
11							1	3	3			0.01	
12							2	5	5		0.01	0.01	
13							6	6	3		0.01	0.01	
14							2	4	7		0.01	0.01	
15							1	3	2		0.01	0.00	
16							3	1	3		0.01	0.01	
17							1	4	5		0.01	0.01	
18							1	1	2			0.00	
19							1	2	6			0.01	
20							2	1	2			0.00	
21							1	1	2			0.00	
22							2	2	2			0.00	
23							4	2			0.01		
24							1	3	3			0.01	
25							1	1	1			0.00	
26							1	4				0.01	
27							1	5				0.01	
28							1	1	1			0.00	
29							1	4	1		0.01	0.00	
30							1	1	2			0.00	
31							1	5	1		0.01	0.00	
32							1	2	1			0.00	
33							3	1	3		0.01	0.00	
34								3	3			0.01	
35							1	4				0.01	
36							1	1	1			0.00	
37								2	2			0.00	
38								4				0.01	
39								1	5			0.01	
40							1	1	3			0.01	
41								2	2			0.00	
42								3	3			0.01	
43								2	2			0.01	
44								1	3			0.01	
45							1	1	1			0.00	
46							1	2	4			0.01	
47								1	1			0.00	
48								1	3			0.01	
49								3	3			0.01	
50								2				0.00	
51							1	1	1			0.00	
52								3	1			0.01	
53								—	—			—	
合計							54	94	144		0.11	0.20	0.30

(6)STD 定点対象疾患(月報)

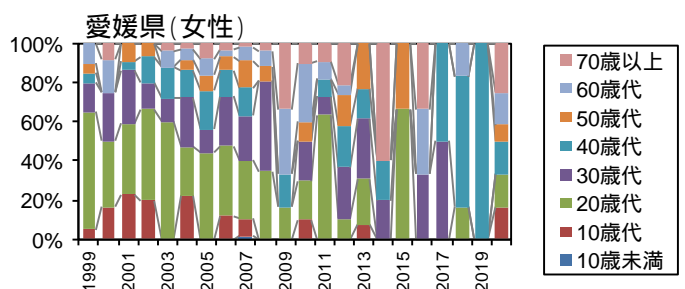
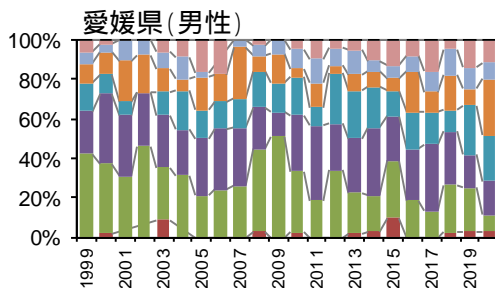
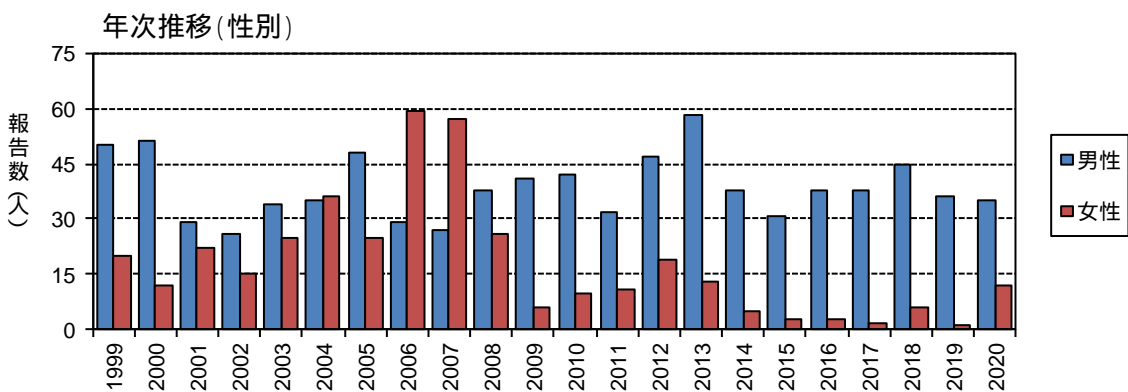
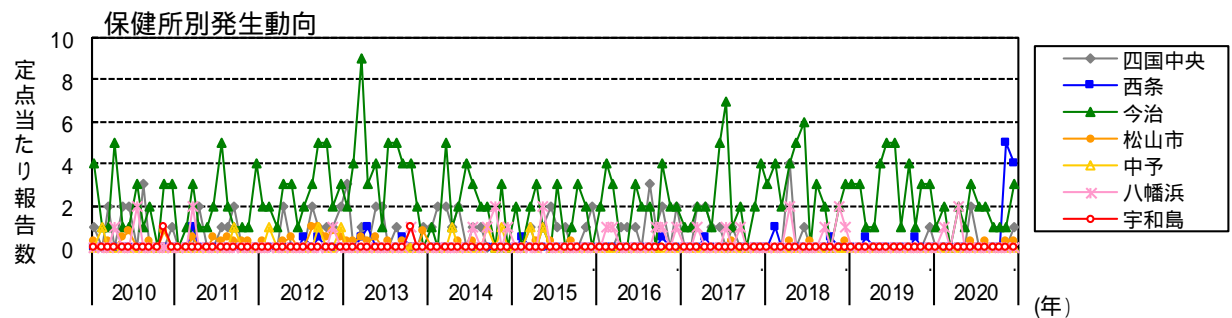
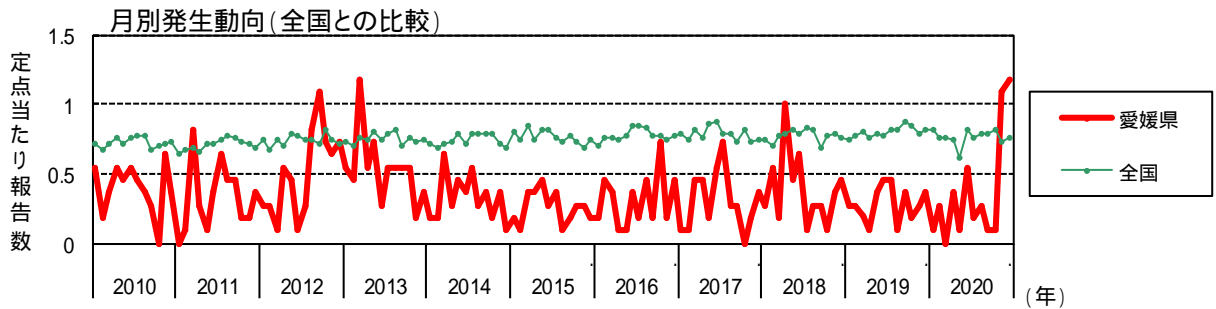
性器クラミジア感染症

2020年の患者報告数は89人(定点当たり8.09人/年)で、前年(患者報告数63人、定点当たり5.75人/年)の1.4倍に増加した。性別は男性50人(56.2%)、女性39人(43.8%)であり、前年(男性41人、女性22人)と比べ、男性女性ともに報告数が増加した。2009年以降、男性の患者数が女性の患者数を上回った状況が継続している。年齢別では、男性は20歳代が22人(44.0%)と最も多く、次いで40歳代10人(20.0%)からの報告が多かった。女性では20歳代が23人(59.0%)と最も多く、次いで30歳代6人(15.4%)からの報告が多かった。女性では前年と比較し20歳未満が占める割合が減少し、20歳代後半が約4割を占めた。



性器ヘルペスウイルス感染症

2020年の患者報告数は47人(定点当たり4.27人/年)で、前年(患者報告数37人、定点当たり3.38人/年)の1.3倍に増加した。県内の患者報告数は、2006年の88人(定点当たり8.00人/年)をピークに増減を繰り返している。性別は男性35人(74.5%)、女性12人(25.5%)で、前年(男性36人、女性1人)と比較して女性が大幅に増加した。年齢別の患者報告数は、男性女性ともに40歳以降の患者が多く、男性では71.4%(25人)、女性では66.7%(8人)を占めた。



性器クラミジア感染症

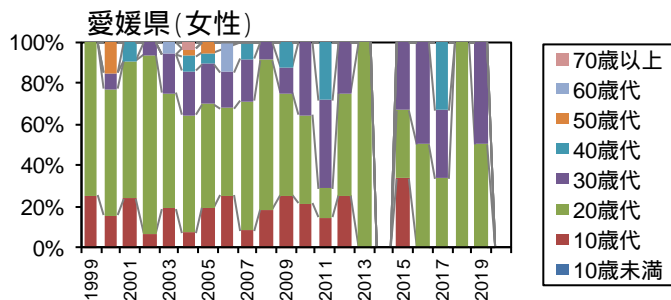
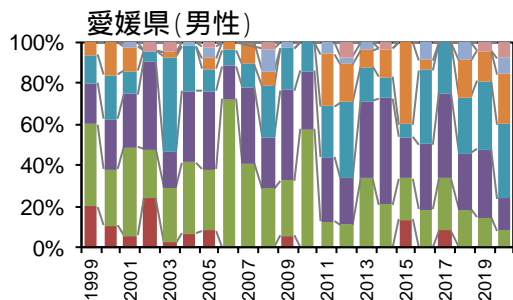
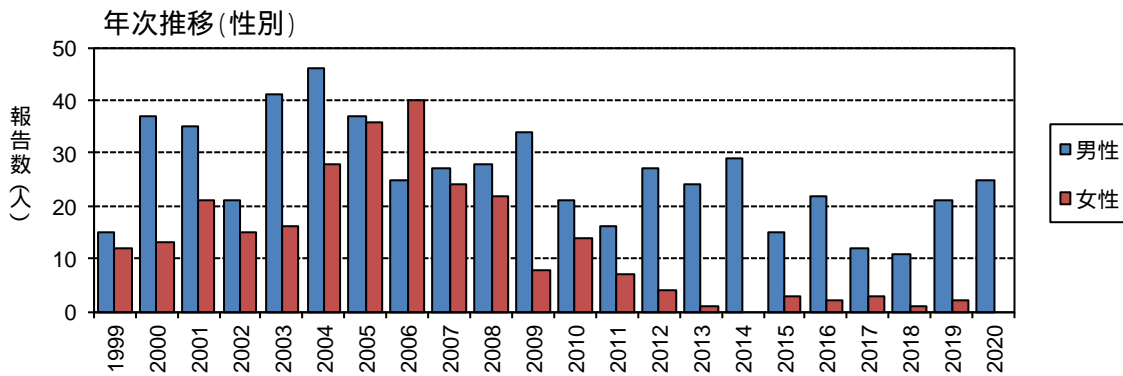
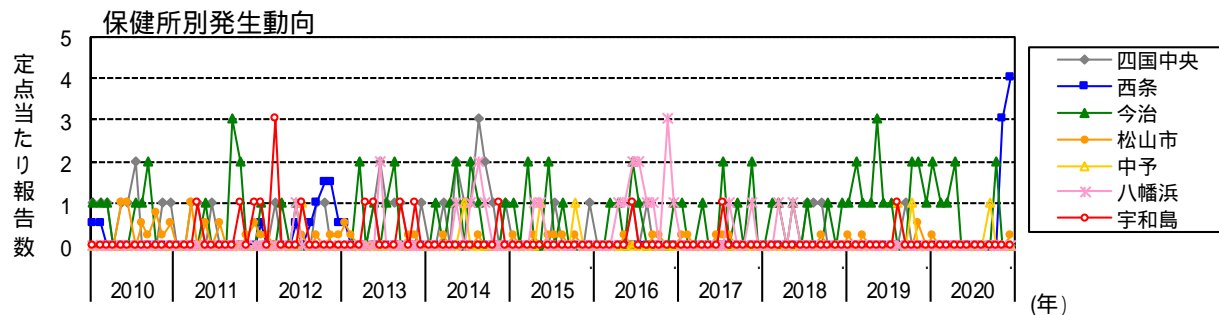
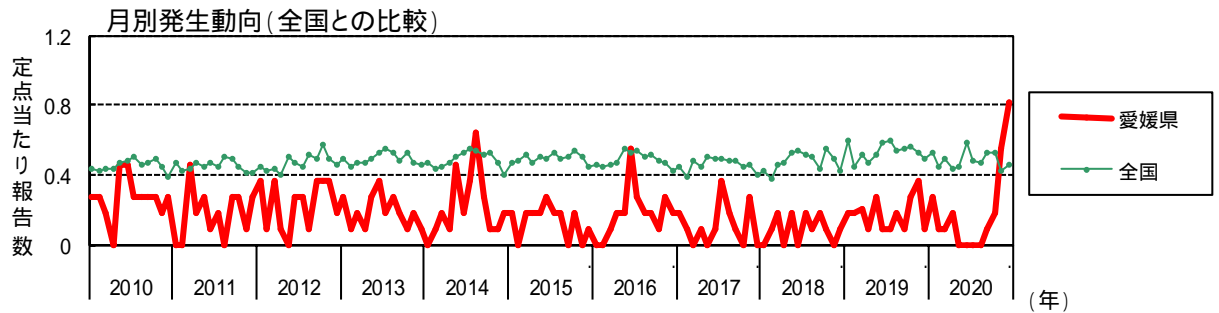
月	患者報告数										定点当たり報告数										
	2020年 保健所別					愛媛県					全国										
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018					
1			1	6		1	8	6	3	2,420	2,184	1,974	1.00	1.50	1.00	0.73	0.55	0.27	2.46	2.22	2.01
2	2		3	3		1	6	7	4	2,326	2,016	1,845	2.00	0.75	1.00	0.55	0.64	0.36	2.37	2.04	1.88
3	1	1	5			3	10	3	4	2,390	2,230	2,060	1.00	1.00	3.00	0.91	0.30	0.36	2.45	2.27	2.10
4	1		4				5	3	3	2,210	2,130	1,853	1.00	1.00		0.45	0.27	0.27	2.25	2.17	1.88
5	2	2	4				8	4	9	2,176	2,201	2,203	2.00	1.00		0.73	0.36	0.82	2.22	2.23	2.24
6	2	2	5				9	4	5	2,326	2,276	2,215	2.00	1.25		0.82	0.36	0.45	2.37	2.32	2.24
7	1	2	2			1	6	6	7	2,450	2,428	2,185	1.00	0.50	1.00	0.55	0.55	0.64	2.50	2.47	2.21
8		1	3		2		6	6	8	2,453	2,352	2,276		1.00		0.55	0.55	0.73	2.49	2.39	2.31
9	2		3	6			11	8	4	2,428	2,357	2,179	2.00	3.00		1.00	0.73	0.36	2.48	2.40	2.21
10			1				3	3	8	2,631	2,520	2,331		0.25		0.27	0.27	0.73	2.68	2.57	2.37
11	2	2	1		2	2	11	8	4	2,248	2,231	2,294	2.00	1.00	2.00	1.00	0.73	0.36	2.29	2.27	2.32
12		3			1		6	5	6	2,323	2,296	2,052	1.50		2.00	0.55	0.45	0.55	2.37	2.34	2.09
合計	13	7	14	40	5	5	89	63	65	28,381	27,221	25,467	13.00	3.50	5.00	8.09	5.75	5.91	28.93	27.69	25.88

性器ヘルペスウイルス感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数										
	2020年 保健所別					愛媛県					全国										
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018					
1			1				1	3	3	800	729	732	1.00	1.00		0.09	0.27	0.27	0.81	0.74	0.75
2			2			1	3	3	6	749	757	686	2.00		1.00	0.27	0.27	0.55	0.76	0.77	0.70
3								2	2	743	784	761					0.20	0.18	0.76	0.80	0.77
4			2			2	4	1	11	742	742	778	2.00		2.00	0.36	0.09	1.00	0.75	0.76	0.79
5			1				1	4	5	605	781	801	1.00			0.09	0.36	0.45	0.62	0.79	0.81
6	2		3	1			6	5	7	802	761	780	3.00	0.25		0.55	0.45	0.64	0.82	0.77	0.79
7			2				2	5	1	745	809	826	2.00			0.18	0.45	0.09	0.76	0.82	0.83
8			2	1			3	1	3	781	803	803	2.00	0.25		0.27	0.09	0.27	0.79	0.82	0.82
9			1				1	4	3	766	854	684	1.00			0.09	0.36	0.27	0.78	0.87	0.69
10			1				1	2	1	807	835	761	1.00			0.09	0.18	0.09	0.82	0.85	0.77
11		10	1	1			12	3	4	713	763	771		0.25		1.09	0.27	0.36	0.73	0.78	0.78
12	1	8	3	1			13	4	5	747	795	746	1.00	4.00		1.18	0.36	0.45	0.76	0.81	0.76
合計	3	18	19	4	4	3	47	37	51	9,000	9,413	9,129	3.00	9.00	3.00	4.27	3.38	4.64	9.17	9.58	9.28

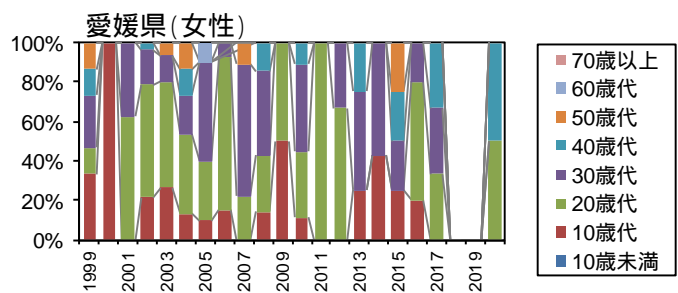
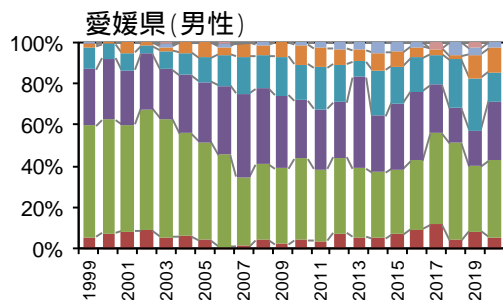
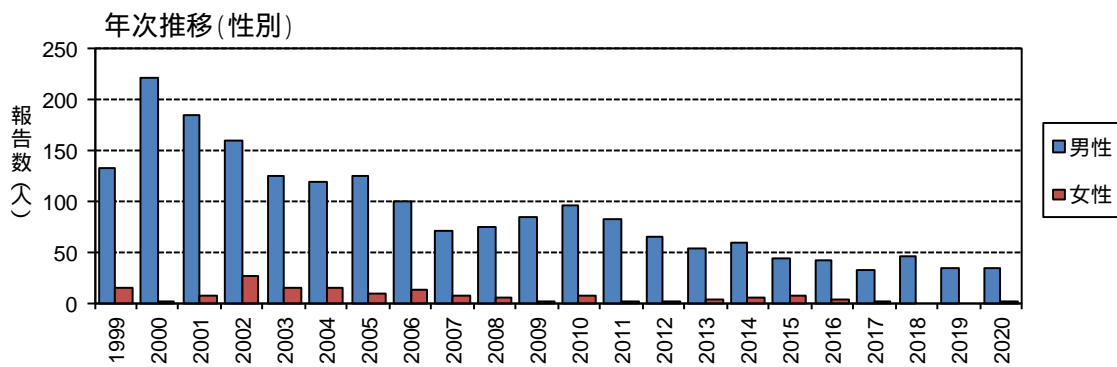
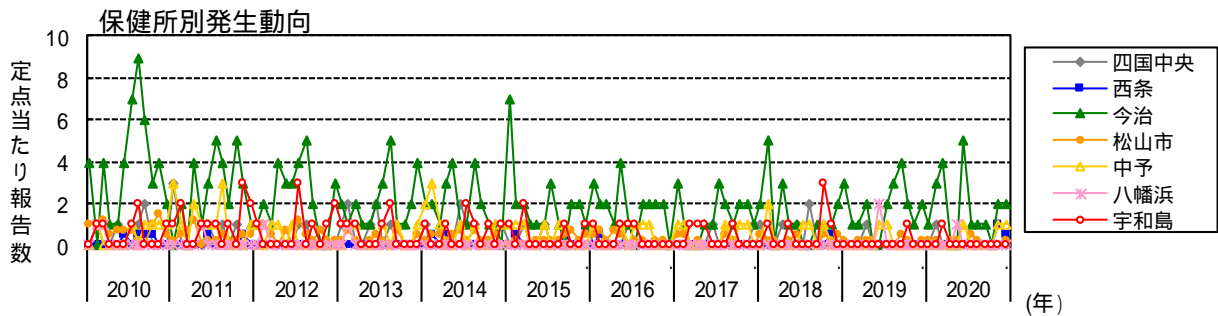
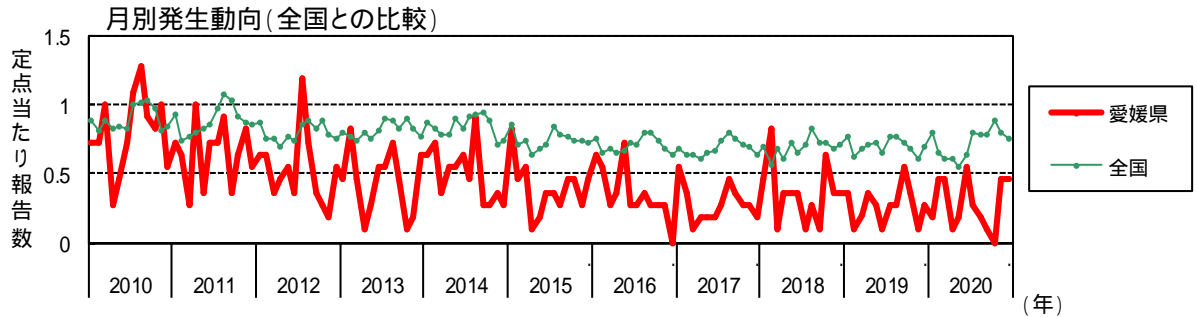
### 尖圭コンジローマ

2020年の患者報告数は25人(定点当たり2.27人/年)で、前年(患者報告数23人、定点当たり2.11人/年)と同程度であった。県内の患者報告数は、2004年の74人(定点当たり6.73人/年)をピークに減少傾向が続いていたが、2012年以降増減を繰り返している。性別は男性25人で、女性の報告はなかった。年齢別の患者報告数は、40歳代が9人(36.0%)、50歳代が6人(24.0%)、30歳代が4人(16.0%)で30~50歳代が全体の76.0%を占めた。



淋菌感染症

2020年の患者報告数は37人(定点当たり3.36人/年)で、前年(患者報告数35人、定点当たり3.20人/年)と同程度であった。県内の患者報告数は、2000年の224人(定点当たり20.36人/年)をピークに減少傾向が続き、2007年以降は定点当たり10人/年以下で推移している。性別は男性35人(94.6%)、女性2人(5.4%)であった。男性の年齢別の患者報告数は、20歳代が13人(37.1%)と最も多く、30歳代10人(28.6%)と続き、20~40歳代が全体の80.0%を占めた。女性は20歳代、40歳代各1人の報告があった。





尖圭コンジローマ

月	患者報告数										定点当たり報告数								
	2020年 保健所別					愛媛県					全国								
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018			
1			2	1			3	2	2	417				0.27	0.18		0.52	0.59	0.42
2			1				1	2	1	375				0.09	0.18	0.09	0.44	0.44	0.38
3			1				1	2	2	448				0.09	0.20	0.18	0.49	0.51	0.46
4			2				2	1		466				0.18	0.09		0.43	0.47	0.47
5								3	2	515					0.27	0.18	0.44	0.51	0.52
6								1		531					0.09		0.58	0.58	0.54
7								1	2	506					0.09	0.18	0.48	0.60	0.51
8					1			2	1	490					0.18	0.09	0.47	0.54	0.50
9							1	1	2	429			1.00	0.09	0.09	0.18	0.53	0.55	0.43
10			2				2	3	1	540				0.18	0.27	0.09	0.53	0.56	0.55
11		6					6	4		481	3.00			0.55	0.36		0.42	0.53	0.49
12		8		1			9	1	1	411	4.00			0.82	0.09	0.09	0.46	0.49	0.42
合計		14	8	2	1		25	23	12	5,609	7.00	8.00	1.00	2.27	2.11	1.09	5.80	6.37	5.70

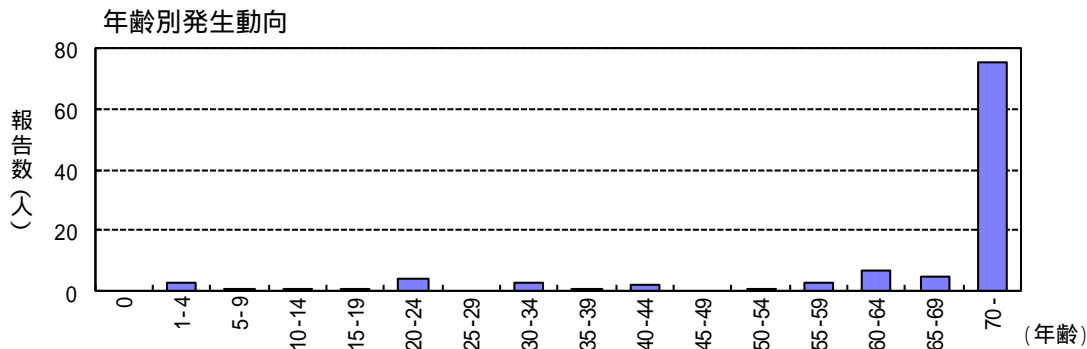
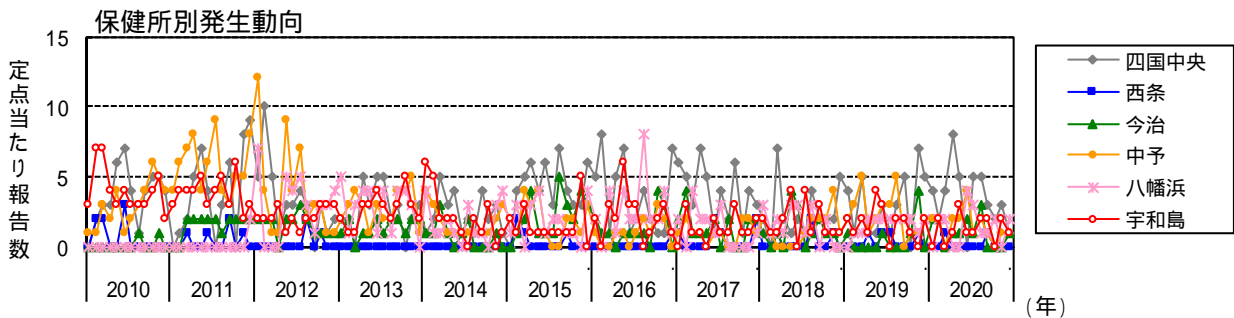
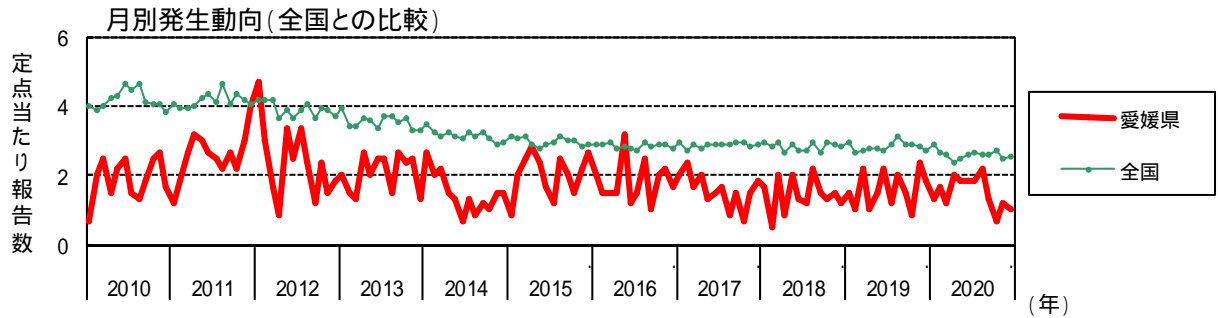
淋菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数								
	2020年 保健所別					愛媛県					全国								
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018			
1			1	1			2	4	5	680				0.18	0.36	0.45	0.80	0.76	0.69
2	1		3	1			5	1	9	549	1.00			0.45	0.09	0.82	0.65	0.62	0.56
3			4				5	2	1	659			1.00	0.45	0.20	0.09	0.61	0.67	0.67
4				1			1	4	4	603				0.09	0.36	0.36	0.60	0.70	0.61
5				1		1	2	1	4	710				0.18	0.09	0.36	0.55	0.72	0.72
6			5		1		6	3	4	643			1.00	0.55	0.27	0.36	0.64	0.65	0.65
7			1	2			3	3	1	705				0.27	0.27	0.09	0.79	0.77	0.71
8			1	1			2	3	3	805				0.18	0.27	0.27	0.78	0.77	0.82
9			1				1	6	1	710				0.09	0.55	0.09	0.78	0.72	0.72
10								4	7	708					0.36	0.64	0.88	0.68	0.72
11		2	2		1		5	1	4	666	1.00			0.45	0.09	0.36	0.80	0.60	0.67
12		1	2	1	1		5	3	4	687	0.50	2.00	1.00	0.45	0.27	0.36	0.75	0.69	0.70
合計	1	3	20	8	3	1	37	35	47	8,125	1.00	1.50	3.00	3.36	3.20	4.27	8.64	8.35	8.26

(7) 基幹定点対象疾患(月報)

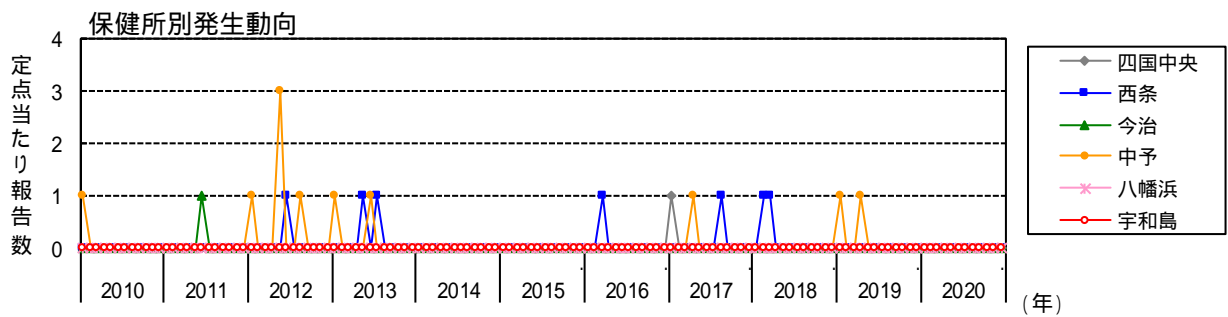
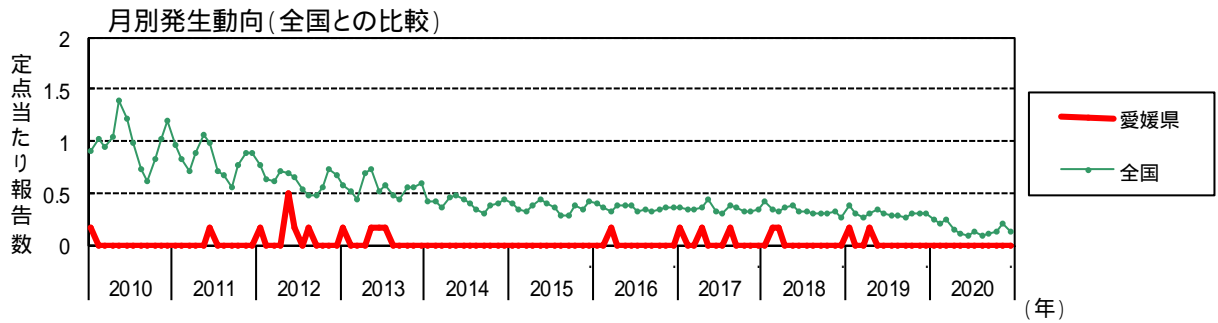
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2020年の患者報告数は107人(定点当たり17.83人/年)で、前年(患者報告数114人、定点当たり19.00人/年)の0.9倍に減少し、例年(過去10年平均定点当たり22.57人/年)に比べ小規模な発生であった。性別は男性65人、女性42人で男性が60.7%を占めた。高齢者に多くみられ、特に70歳以上が75人と全体の70.1%を占めた。



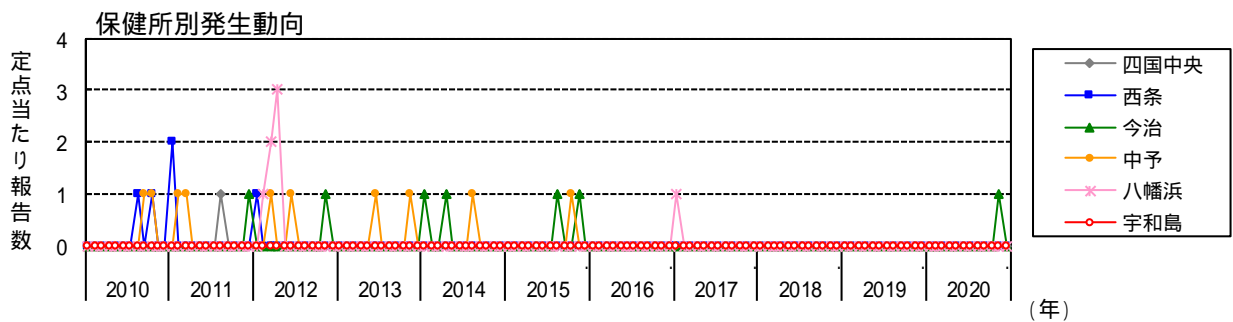
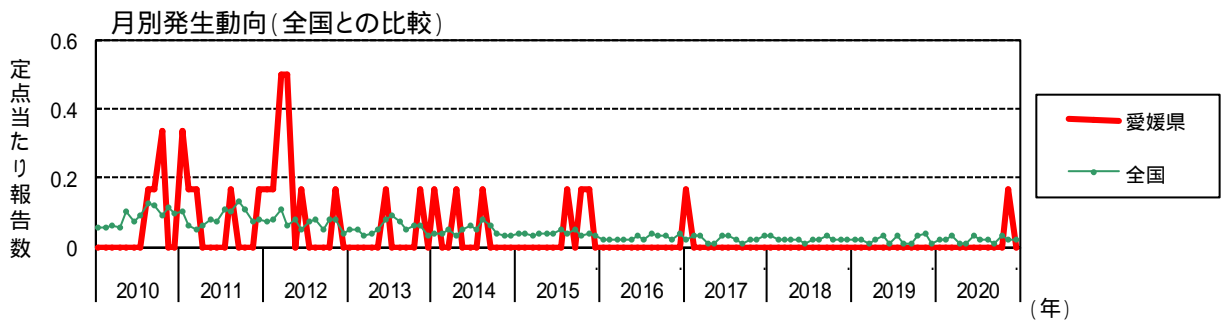
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2020年に県内での患者報告はなかった。県内の患者報告数は、2006年の14人(定点当たり2.33人/年)以降減少し、年間6人以下の少数報告で推移している。



薬剤耐性緑膿菌感染症

2020年の患者報告数は1人(定点当たり0.17人/年)で、年齢は70歳以上であった。県内の患者報告数は、2003年の15人以降、年間10人以下の少数報告で推移している。



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数													
	2020年 保健所別						愛媛県			全国			2020年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1	4		2	2			8	9	10	1,371	1,418	1,399	4.00		2.00	2.00			1.33	1.50	1.67	2.86	2.94	2.92
2	2		2	2	2		10	6	3	1,272	1,271	1,349	2.00		2.00	2.00	2.00	2.00	1.67	1.00	0.50	2.66	2.64	2.82
3	4	1			2		7	13	12	1,229	1,306	1,413	4.00	1.00			2.00		1.17	2.17	2.00	2.57	2.72	2.94
4	8		1	2		1	12	6	5	1,131	1,340	1,274	8.00		1.00	2.00		1.00	2.00	1.00	0.83	2.36	2.79	2.64
5	5		1	2		3	11	9	12	1,193	1,316	1,386	5.00		1.00	2.00		3.00	1.83	1.50	2.00	2.49	2.74	2.88
6			2	4	4	1	11	13	8	1,259	1,287	1,315			2.00	4.00	4.00	1.00	1.83	2.17	1.33	2.62	2.68	2.73
7	5		1	1	3	1	11	7	7	1,282	1,396	1,299	5.00		1.00	1.00	3.00	1.00	1.83	1.17	1.17	2.67	2.91	2.70
8	5		3	2	1	2	13	12	13	1,237	1,493	1,433	5.00		3.00	2.00	1.00	2.00	2.17	2.00	2.17	2.58	3.11	2.97
9	3	1		1	1	2	8	9	9	1,242	1,374	1,286	3.00	1.00		1.00	1.00	2.00	1.33	1.50	1.50	2.59	2.86	2.67
10	2				2		4	5	8	1,305	1,393	1,417	2.00				2.00		0.67	0.83	1.33	2.72	2.90	2.93
11	3			1		2	6	14	9	1,197	1,347	1,378	3.00			1.00		2.00	1.00	2.33	1.50	2.49	2.81	2.86
12	1		1	1	2	1	6	11	7	1,222	1,300	1,362	1.00		1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.83	1.17	2.55	2.71	2.83
合計	42	2	13	18	17	15	107	114	103	14,940	16,241	16,311	42.00	2.00	13.00	18.00	17.00	15.00	17.83	19.00	17.17	31.19	33.84	33.91

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数													
	2020年 保健所別						愛媛県			全国			2020年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1								1		122	185	200								0.17		0.25	0.38	0.42
2									1	102	148	164									0.17	0.21	0.31	0.34
3									1	115	127	153									0.17	0.24	0.26	0.32
4								1		67	147	173								0.17	0.14	0.31	0.36	
5										53	165	176										0.11	0.34	0.37
6										45	151	153										0.09	0.31	0.32
7										62	132	158										0.13	0.28	0.33
8										40	136	146										0.08	0.28	0.30
9										46	127	145										0.10	0.26	0.30
10										63	150	146										0.13	0.31	0.30
11										100	144	152										0.21	0.30	0.32
12										64	142	129										0.13	0.30	0.27
合計								2	2	879	1,754	1,895								0.33	0.33	1.84	3.65	3.94

薬剤耐性緑膿菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数													
	2020年 保健所別						愛媛県			全国			2020年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1										11	11	13										0.02	0.02	0.03
2										9	11	9										0.02	0.02	0.02
3										13	7	11										0.03	0.01	0.02
4										6	10	11										0.01	0.02	0.02
5										6	12	10										0.01	0.03	0.02
6										15	7	6										0.03	0.01	0.01
7										8	14	8										0.02	0.03	0.02
8										9	7	9										0.02	0.01	0.02
9										7	7	13										0.01	0.01	0.03
10										12	15	11										0.03	0.03	0.02
11				1				1		11	19	9			1.00				0.17			0.02	0.04	0.02
12										9	7	11										0.02	0.01	0.02
合計				1				1		116	127	121			1.00				0.17			0.24	0.26	0.25

2020年(令和2年)感染症発生動向調査結果  
一病原体検査結果一



## 2020年(令和2年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -

## 1 細菌検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

## (1) 全数把握対象感染症

## 腸管出血性大腸菌感染症

県内で腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症患者及び無症状病原体保有者の届出があった場合には、分離された菌株について当所で確認検査を実施するとともに、国立感染症研究所に菌株を送付している。国立感染症研究所では、EHEC O26、O91、O103、O111、O121、O145、O157、O165 については multilocus variable-number tandem repeat analysis (MLVA) 法による型別を実施し、その他の EHEC についてはパルスフィールドゲル電気泳動(PFGE)法による型別を実施して、全国規模の同時多発的な集団発生“diffuse outbreak(散在的集団発生)”を監視している。当所では、分離株の生化学的性状、O抗原及びH抗原の血清型別、ベロ毒素(VT)の型別、薬剤感受性試験、PFGE 法に加え、EHEC O157、O26、O111 については MLVA 法を実施し、さらに EHEC O157 については迅速に検査可能である IS (Insertion Sequence)-Printing System (東洋紡)を実施している。薬剤感受性試験は、臨床・検査標準協会(CLSI)の抗菌薬ディスク感受性試験実施基準に基づき、アンピ

表1 愛媛県内における腸管出血性大腸菌感染症患者からの分離株(2020年)

事例番号	診断月日	保健所名	疫学情報	患者感染者数 (無症状者再掲)	血清型		VT型別	病原因子	耐性薬剤	MLVA型 <sup>1)</sup>	MLVA <sup>2)</sup> コンプレックス	ISコード <sup>3)</sup>	株数
					O	H							
1	2/14	松山市	散発	1 (1)	91	-	1	<i>eae, hlyA</i>	ABPC, NA, TC	20m8002			1
2	4/6	八幡浜	散発	1	121	19	2	<i>eae, hlyA</i>	なし	20m5001			1
3	5/22	西条	散発	1 (1)	103	2	1	<i>eae, hlyA</i>	なし	18m4005			1
4	6/12	松山市	散発	1 (1)	103	2	1	<i>eae, hlyA</i>	なし	18m4006			1
5	6/17	松山市	散発	1	186	2	1	<i>eae, hlyA</i>	SM, TC				1
6	6/17	松山市	散発	1	111	- (Hg8) <sup>4)</sup>	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	ABPC, KM, NA, SXT, CP, CFX, SM, TC	20m3009			1
7	6/18	八幡浜	散発	1 (1)	8	19	1	<i>eae, hlyA</i>	ABPC, SM				1
8	7/31	松山市	散発	1 (1)	145	-	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	ABPC, SM, TC	20m6004			1
9	9/2-9/6	今治	家庭内	2 (1)	157	7	2	<i>eae, hlyA</i>	SXT, CP, SM, TC	20m0185	20c019	305457- 211242	2
10	9/3-9/15	松山市	家庭内、 施設内	4	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	CP, SM, TC	17m0160		317577- 211757	4
11	9/29	松山市	散発	1	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	SXT, CP, SM, TC	17m0160		317577- 211757	1
12	10/12	松山市	散発	1	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	SXT, CP, SM, TC	17m0160		317577- 211757	1
13	10/28	松山市	散発	1	26	11	1	<i>eae, hlyA</i>	FOM	20m2140			1
計				17 (6)									17

1) MLVA: ゲノム上に散在するリピート配列のリピート数の違いを基に菌株を型別する方法。国立感染症研究所によって付与された MLVA 型 "20mXXXX" [- 20, 2020 (分離年), - m, MLVA, - XXXX, 番号] と表記。

2) MLVA コンプレックス: SLV (Single locus variant: 一遺伝子座でリピート数が異なる, PFGE における 2~3 バンド違いと同様の意味) の関係にある MLVA 型 "20cYYY" [- 20, 2020 (分離年), - c, complex, - YYY, 番号] と表記。

3) IS コード: IS (Insertion sequence: 大腸菌ゲノム内部を移動する配列) と 4 種の病原因子の有無を Multiplex PCR で検出することによりタイピングを行う方法。結果をコード化することにより菌株間の比較が可能。

4) H-genotyping PCR による判別。国立感染症研究所で実施。

シリン(ABPC)、セフトキシム(CTX)、ゲンタマイシン(GM)、カナマイシン(KM)、イミペネム(IPA)、ノルフロキサシン(NFLX)、シプロフロキサシン(CPFX)、ナリジクス酸(NA)、ST 合剤(SXT)、メロペネム(MEPM)、セフトジジム(CAZ)、ホスホマイシン(FOM)、クロラムフェニコール(CP)、セフォキシチン(CFX)、アミカシン(AMK)、ストレプトマイシン(SM)、テトラサイクリン(TC)、コリスチン(CL)の18薬剤に対する耐性の有無を判定している。

県内で届出のあったEHEC患者及び無症状病原体保有者17名から分離されたEHECについて解析を行った(表1)。分離株の血清型別及びVT型別を併せた分類では、O157:H7 VT1&2が6株、O157:H7 VT2、O103:H2 VT1が各2株、O8:H19 VT1、O26:H11 VT1、O91:H- VT1、O111:H-(Hg8) VT1&2、O121:H19 VT2、O145:H- VT1&2、O186:H2 VT1が各1株であった。

事例1(無症状病原体保有者1名、O91:H- VT1)、事例3(無症状病原体保有者1名、O103:H2 VT1)、事例4(無症状病原体保有者1名、O103:H2 VT1)、事例7(無症状病原体保有者1名、O8:H19 VT1)及び事例8(無症状病原体保有者1名、O145:H- VT1&2)の5事例は、それぞれ職場等の健康診断(検便検査)で確認された。このうち、事例3は福岡市、愛知県、堺市、長崎県、大分県、横浜市、佐賀県及び群馬県で分離された株とMLVA型が一致したが、疫学的な関連は見いだせなかった。

事例5(患者1名、O186:H2 VT1)は、横須賀市、長野市、新潟県、新潟市、愛知県及び広島県分離株とPFGE型が一致したが、疫学的な関連は見いだせなかった。

事例6(患者1名、O111:H-(Hg8) VT1&2)は、新潟市、福山市、岡山県及び広島市分離株とMLVA型が一致したが、疫学的な関連は見いだせなかった。

事例9(患者1名、無症状病原体保有者1名、O157:H7 VT2)は、MLVA型(20m0185)が広島県及び埼玉県分離株と一致し、MLVAコンプレックス型(20c019)が2020年6~11月の期間に、主に西日本及び関東地域で広く分離された株と同一であった。

事例10(患者4名、O157:H7 VT1&2)及び事例11(患者1名、O157:H7 VT1&2)、事例12(患者1名、O157:H7 VT1&2)は、松山市保健所管内で発生した事例で、3事例ともに、同一系列焼肉店での喫食者及び喫食者家族であった。分子疫学解析の結果、ISコード、PFGE型及びMLVA型が全て一致していたが、疫学調査の結果、食中毒事例ではないと判断されている。また、当該MLVA型(17m0160)は、2020年8~10月の期間に徳島県及び山口県で分離された株と同一であったが、疫学的な関連は見いだせなかった。

病原因子関連遺伝子は、全ての株が*eae*及び*hlyA*遺伝子を共に保有していた。

薬剤感受性試験の結果、ABPC、KM、NA、SXT、CP、CFX、SM、TCの8剤耐性が1株(1事例)、SXT、CP、SM、TCの4剤耐性が4株(3事例)、ABPC、NA、TCまたはABPC、SM、TCもしくはCP、SM、TCの3剤耐性が6株(3事例)、SM、TCまたはABPC、SMの2剤耐性が2株(2事例)、FOMの1剤耐性が1株(1事例)であった。

## 腸チフス

県内で腸チフスの届出があった場合は、分離された菌株について当所で確認検査を実施するとともに、「腸チフス防疫対策実施要綱」(昭和41年11月16日付け衛発788号厚生省公衆衛生局長通達「腸チフス対策の推進について」)に基づき、国立感染症研究所に菌株を送付している。国立感染症研究所ではファージ型別を実施している。

県内で届出のあった腸チフス患者1名はインドネシアへの渡航歴があり、分離されたチフス菌のファージ型はD2であった(表2)。

表2 愛媛県におけるチフス分離株(2020年)

診断月日	保健所名	菌型(血清型)	ファージ型別	渡航歴
3/13	中予	<i>Salmonella</i> Typhi	D2	インドネシア



## カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

県内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の届出があった場合は、平成29年3月28日付け健感発0328第4号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症等に係る試験検査の実施について」に基づき、当該菌株について詳細な分子疫学解析を実施している。

県内で届出のあったCRE感染症患者19名中、18株が搬入された。菌種の内訳は、*Klebsiella aerogenes*(旧名 *Enterobacter aerogenes*)8株、*Enterobacter cloacae* 3株、*Enterobacter asburiae* 2株、*Klebsiella pneumoniae* 1株、*Morganella morganii* 1株、*Cedecea neteri* 1株、*Escherichia coli* 1株、*Citrobacter freundii* 1株であった(表3)。PCR法によりカルバペネマーゼ遺伝子(NDM、KPC、IMP、VIM、OXA-48、GES)を解析した結果、搬入された18株はいずれのカルバペネマーゼ遺伝子も保有していなかった。

事例番号13及び14は、別の医療機関から届出されたCREであるが、管轄保健所の積極的疫学調査の結果、この2事例は同一の老人保健施設利用者であることが判明した。そこで、施設内感染の可能性を疑い、PFGE解析を実施したところ、全く別のバンドパターンを示し、施設内感染を否定する結果であった。

## 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

県内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出があった場合には、当所で当該菌株についてLancefieldの分類により群別を行い、A群溶血性レンサ球菌についてはT血清型別を実施するとともに、全ての菌株は国立感染症研究所に送付している。国立感染症研究所では、A群溶血性レンサ球菌についてはM血清型別及びemm遺伝子型並びに発熱毒素遺伝子の検査を、B群溶血性レンサ球菌については血清型別を、C群・G群溶血性レンサ球菌についてはemm遺伝子型別を実施し、全ての菌株について、アンピシリン(ABPC)、ペニシリン

表3 愛媛県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症患者からの分離株(2020年)

事例番号	診断月日	保健所	検出検体	検出菌種	βラクタマーゼ遺伝子
1	1/19	松山市	胆汁	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	検出せず
2	2/20	今治	咽頭ぬぐい液	<i>Enterobacter cloacae</i>	検出せず
3	4/3	松山市	開放性膿	<i>Enterobacter asburiae</i>	検出せず
4	7/2	宇和島	尿	<i>Morganella morganii</i>	検出せず
5	7/10	松山市	血液	<i>Klebsiella aerogenes</i> <sup>1)</sup>	検出せず
6	7/31	松山市	喀痰	<i>Klebsiella aerogenes</i> <sup>1)</sup>	検出せず
7	8/6	四国中央	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i> <sup>1)</sup>	検出せず
8	8/7	宇和島	胆汁	<i>Cedecea neteri</i>	検出せず
9	8/11	宇和島	便	<i>Enterobacter asburiae</i>	検出せず
10	8/21	松山市	血液	<i>Escherichia coli</i>	検出せず
11	8/22	松山市	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i> <sup>1)</sup>	検出せず
12	8/22	松山市	血液	<i>Klebsiella aerogenes</i> <sup>1)</sup>	検出せず
13	8/29	四国中央	会陰部分泌物	<i>Enterobacter cloacae</i>	検出せず
14	8/31	四国中央	尿	<i>Enterobacter cloacae</i>	検出せず
15	11/20	宇和島	喀痰	<i>Citrobacter freundii</i>	検出せず
16	12/3	松山市	膿	<i>Klebsiella aerogenes</i> <sup>1)</sup>	検出せず
17	12/10	宇和島	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	検出せず
18	12/17	今治	胆汁	<i>Klebsiella aerogenes</i> <sup>1)</sup>	検出せず

1) 旧名：*Enterobacter aerogenes*

表4 愛媛県における劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者からの分離株(2020年)

診断 月日	保健所名	菌種	Lancefield群別		M蛋白		発熱毒素遺伝子	耐性薬剤 <sup>1)</sup>
			血清型	T蛋白 血清型別	血清型別	emm 遺伝子型別		
2/12	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	T1	M1	emm1.0	speA, speB, speF	なし
3/6	宇和島	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群 型					EM, CLDM, MINO耐性
4/19	松山市	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	A群	型別不能		stG485.0		なし
6/19	中予	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	型別不能	型別不能	emm58.0	speA, speB, speF	MINO耐性
7/13	松山市	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群 型					EM, MINO耐性, EM誘導CLDM耐性
8/12	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	TB3264	型別不能	emm89.0	speB, speC, speF	CPFX低感受性
8/17	宇和島	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群			stG6792.3		なし
11/14	松山市	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群			stG245.0		EM, CLDM, MINO耐性(emm遺伝子保有)

1) ドライプレート(栄研化学)を用い, CLSI M100-S23 に準拠し, 判定を実施。ただし, CEZはCTX, CPFXはLVFX, MINOはTCの基準に従う。

ン G(PCG)、セファゾリン(CEZ)、セフォタキシム(CTX)、メロペネム(MEPM)、イミペネム(IMP)、パニペネム(PAPM)、エリスロマイシン(EM)、クリンダマイシン(CLDM)、リネゾリド(LZD)、シプロフロキサシン(CPFX)、ミノサイクリン(MINO)の計12剤について薬剤感受性試験を実施している。

県内で届出のあった劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者8名中8株が搬入された。Lancefield分類による群別の結果、A群溶血性レンサ球菌4株、B群溶血性レンサ球菌2株、G群溶血性レンサ球菌2株であった(表4)。

A群溶血性レンサ球菌4株のT血清型別は、T1、TB3264が各1株、T型別不能が2株であった。M血清型別は、M1が1株、M型別不能が2株であった。emm遺伝子型別はemm1.0、emm58.0、emm89.0、stG485.0が各1株であった。発熱毒素遺伝子はspeA、speB、speF遺伝子保有株が2株、speB、speC、speF遺伝子保有株が1株であった。B群溶血性レンサ球菌2株の血清型別は、II型、III型が各1株であった。G群溶血性レンサ球菌2株のemm遺伝子型別は、stG245.0、stG6792.3が各1株であった。

薬剤感受性試験では、A群溶血性レンサ球菌4株中1株に、B群溶血性レンサ球菌2株中2株に、G群溶血性レンサ球菌2株中1株に、耐性薬剤が確認された。また、A群溶血性レンサ球菌の4株中1株に薬剤低感受性が確認された。

## (2) 定点把握対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた指定届出機関のうち、病原体定点等の医療機関において、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎等患者から採取された検体について細菌学的検査を実施している。

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭ぬぐい液を羊血液寒天培地で分離を行い、β溶血を認めた集落について同定検査及びLancefieldの分類による群別試験を実施した。A群溶血性レンサ球菌と同定された菌株については、T血清型別を実施した。

病原体定点においてA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者から採取された咽頭ぬぐい液7件中7件(100%)からA群溶血性レンサ球菌が分離された。T血清型別は、T1が4株(57%)、TB3264が2株(29%)、T型別不能が1株(14%)であった(表5)。

表5 愛媛県における定点把握対象感染症患者からの病原細菌検出状況(2020年)

疾患名	検出病原菌	血清型別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
A群溶血性球菌	<i>S. pyogenes</i> (A群)	T1	1	2						1					4	
		TB3264				1								1	2	
		型別不能								1						1
		計	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	7
		検査数	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	7
感染性胃腸炎	病原大腸菌	サルモネラ属菌												1	1	
		カンピロバクター属菌														
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		検査数	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4

### 感染性胃腸炎

検査対象病原体は下痢原性大腸菌、サルモネラ属菌及びカンピロバクター属菌とし、通常3種類の選択分離培地上に発育した集落を釣菌し、生化学的性状試験及び血清学的試験等により同定している。

大腸菌は11種類(*ae*, *astA*, *aggR*, *bfpA*, *invE*, *elt*, *esth*, *ipaH*, EAF, CVD432, *stx*)の病原因子関連遺伝子の有無をPCR法で確認し、腸管出血性大腸菌(EHEC)、腸管侵入性大腸菌(EIEC)、腸管毒素原性大腸菌(ETEC)、腸管病原性大腸菌(EPEC)及び腸管凝集付着性大腸菌(EAaggEC)に分類し、市販免疫血清で血清型別を実施している。

カンピロバクター属菌は、*Campylobacter spp.*, *C. jejuni*, *C. coli*, *C. lari*, *C. upsaliensis*, *C. fetus*を対象としたMultiplex-PCRを実施し、*C. jejuni*についてはPennerの耐熱性抗原による血清型別試験を実施している。

感染性胃腸炎患者糞便検体4件について病原体検索を行なった結果、1件からサルモネラ属菌1株が検出され、血清型は*Salmonella* Infantisであった(表5)。

### 細菌性髄膜炎

病原体定点から搬入された細菌性髄膜炎患者由来菌株3株(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)2株、C群溶血性レンサ球菌1株)について解析を実施した。

MRSAとして搬入された株は、セフォキシチンディスクを用いたディスク拡散法による同定検査を実施後、PCR法を用いてメチシリン耐性遺伝子*mecA*の有無を確認した結果、搬入された2株は共にMRSAと確認された。C群溶血性レンサ球菌として搬入された株は、血液寒天培地上でγ溶血を示し、カタラーゼ試験は陽性であったが、その他の同定試験(グラム染色、Lancefieldの分類による群別試験)の結果、レンサ球菌を否定する結果となった。そこで、16S rRNA領域(1600bp)の塩基配列を決定したところ、当該菌株は*Staphylococcus caprae*と100%一致した。

## 2 ウイルス検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

### (1) 全数把握対象感染症

全数把握対象感染症が発生した場合には、当所で遺伝子検査等によるウイルス検査を実施するとともに、必要に応じて国立感染症研究所へ検体を送付し、確認検査を依頼している。本年の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)遺伝子増幅検査依頼検体を除く、県保健所及び松山市からの依頼により受け付けた検体は、血液(血清)が11検体、ふん便・直腸ぬぐい液が2検体、咽頭ぬぐい液が4検体、尿が4検体、髄液が1検体であった。また、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)遺伝子増幅検査依頼により受け付けた検体は8061検体(鼻咽頭ぬぐい液、咽頭ぬぐい液、唾液、髄液)であった。

#### ① 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

疑い患者7例の血液(血清)について検査した結果、2例からSFTSウイルスが検出された。

#### ② E型肝炎

疑い患者1例のふん便について検査した結果、E型肝炎ウイルスは検出されなかった。

#### ③ 風しん

疑い患者1例の検体(材料として咽頭ぬぐい液、血液、尿)について検査した結果、風疹ウイルスは検出されなかった。

#### ④ 麻しん

疑い患者2例の検体(材料として咽頭ぬぐい液、血液、尿)について検査した結果、麻疹ウイルスは検出されなかった。

#### ⑤ 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)

疑い患者1例の検体(材料として咽頭ぬぐい液、血液、尿、髄液、ふん便)について検査した結果、ウイルスは検出されなかった。

#### ⑥ 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染症

8061検体(鼻咽頭ぬぐい液、咽頭ぬぐい液、唾液、髄液)について遺伝子増幅検査を実施した。図1に当所で実施した新型コロナウイルス遺伝子検査数と県内の陽性者数の週別推移を示した。

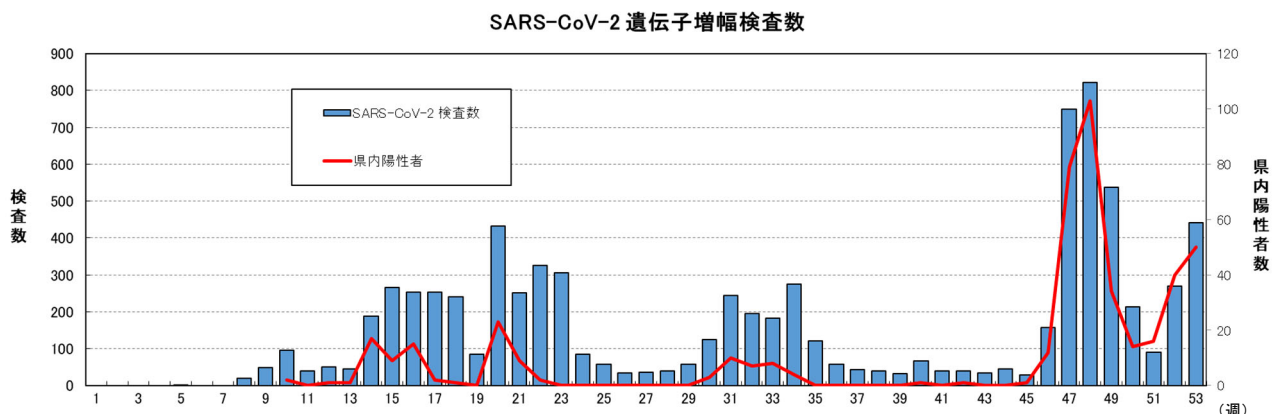


図1 SARS-CoV-2 週別検査数と県内陽性者数の推移(2020年)

### (2) 定点把握対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた患者定点として選定された医療機関のうち、病原体定点はインフルエンザ定点(指定提出機関)8(内科4、小児科4)、小児科定点8、基幹定点6、眼科定点2の機関が設定されている(2020.4.1現在)。病原体検査対象疾患のうちウイルス性疾患は、インフルエンザ定点の

インフルエンザ、小児科定点の咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、眼科定点の流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、基幹定点の無菌性髄膜炎である。これらの医療機関から、病原体検査要領に基づいて採取された検体について、ウイルス学的検査を実施した。検査材料:臨床材料は、2020年1月から12月の間に採取された。当所に搬入された呼吸器感染症等患者検体(咽頭ぬぐい液、結膜ぬぐい液等)は、試験に供するまで-80℃で冷凍保存した。また、感染性胃腸炎患者検体(糞便、吐物等)は、試験に供するまで-30℃で冷凍保存した。検査方法:呼吸器感染症等患者検体からのウイルス分離にはFL、RD-18s、Vero細胞を常用し、インフルエンザ流行期はMDCK細胞を併用した。また、必要に応じてPCR法、リアルタイムPCR法、免疫クロマト(IC)法を実施した。感染性胃腸炎起因ウイルス検索には、電子顕微鏡法(EM)、PCR法、リアルタイムPCR法及びIC法を用いた。

表1 定点医療機関からの臨床診断名別検体受付状況(2020年)

① 病原体定点種類別検体数

2020年に病原体定点から受け付けた検体数は87検体であった。病原体定点種類別・臨床診断名別の受け付け状況を表1に示した。

インフルエンザ定点等からのインフルエンザの検体数は52検体で、その内訳はインフルエンザ定点から40検体、小児科定点から12検体であり、76.9%がインフルエンザ定点からの検体であった。小児科定点からの検体数(インフルエンザ検体数を除く)17検体で、対象疾患別では感染性胃腸炎が最も多く7検体、次いでヘルパンギーナが5検体、手足口病が4検体、咽頭結膜熱が1検体であった。眼科定点からの検体数は5検体で、すべて流行性角結膜炎であった。基幹定点からの検体数は13検体で、すべて無菌性髄膜炎であった。

2016年4月1日の改正感染症法施行以降、定点医療機関や地域ごとの検体数は概ね平準化されたものの、インフルエンザ以外の疾患については十分な検体数には至っていない。一年間に流行する疾患の動向をより正確に把握し、県民へ情報提供するために、一定数の検体確保に努める必要がある。また本年は新型コロナウイルス流行により、定点医療機関からの検体数が全体的に少なかった。

保健所名	種別	インフルエンザ	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	合計
四国中央	インフルエンザ*	10							10
	小児科				1				1
	基幹								0
西条	インフルエンザ*	4							4
	小児科	12							12
	基幹								0
今治	インフルエンザ*	2							2
	小児科			5	1	1			7
	眼科						4		4
中予	インフルエンザ*	3							3
	小児科								0
	基幹								0
八幡浜	インフルエンザ*	4							4
	小児科								0
	基幹								0
宇和島	インフルエンザ*	4							4
	小児科								0
	基幹							13	13
松山市	インフルエンザ*	13							13
	小児科		1	2	2	4			9
	眼科						1		1
合計		52	1	7	4	5	5	13	87

② 呼吸器感染症等患者検体からの検出

呼吸器感染症等患者検体からのウイルス検出状況について、月別検出状況を表2に、臨床診断名別検出状況を表3に示した。80検体についてウイルス検査を実施した結果、54検体からウイルスが検出された(検出率67.5%)。

表2 呼吸器感染症等患者検体からの月別ウイルス検出状況(2020年)

ウイルス型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ	AH1pdm09	28	11	1										40
	AH3	1												1
	B(Victoria系統)	3	1											4
コクサッキー	CV-A4									1			2	3
	CV-A10									1	1	1		3
	CV-A16	2												2
ライノ	Rhino							1						1
合計		34	12	1	0	0	0	0	1	2	1	1	2	54
検体数		39	16	2	3	3	6	2	1	2	1	3	2	80

表3 臨床診断名別ウイルス検出状況(2020年)

ウイルス型		インフルエンザ	咽頭結膜熱	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	合計
インフルエンザ	AH1pdm09	40						40
	AH3	1						1
	B(Victoria系統)	4						4
コクサッキー	CV-A4				3			3
	CV-A10			1	2			3
	CV-A16			2				2
ライノ	Rhino		1					1
合計		45	1	3	5	0	0	54

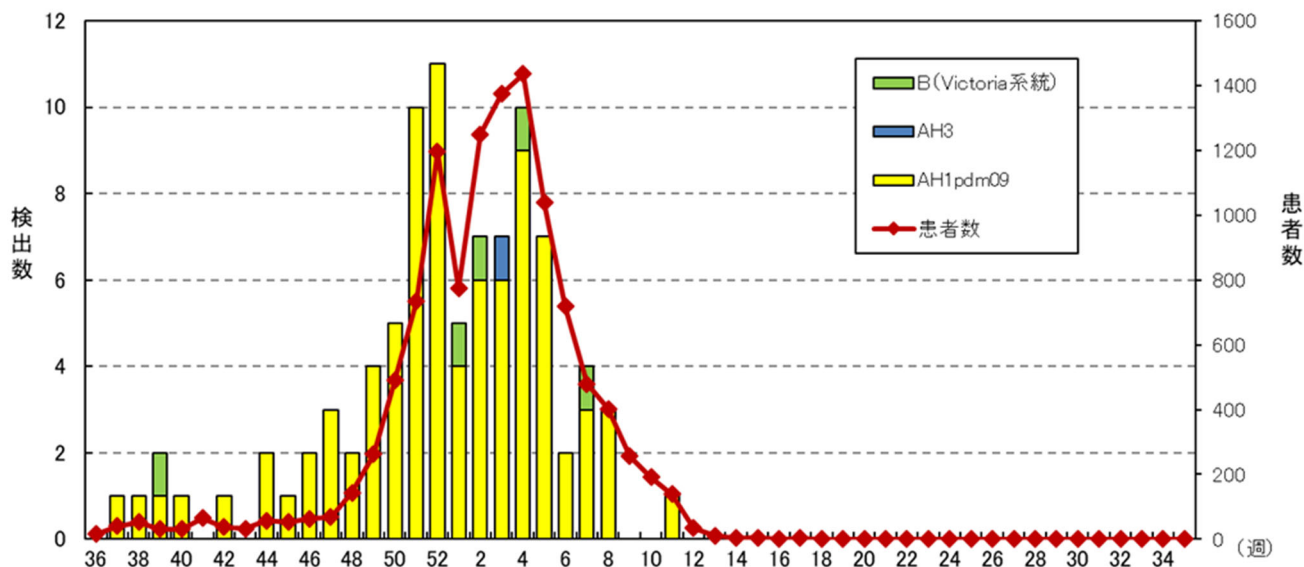


図2 週別患者発生数とインフルエンザウイルスの検出数の推移(2019/2020シーズン)

## ○ ウイルス別検出状況

### インフルエンザウイルス

インフルエンザウイルスは、1月から3月にインフルエンザ患者検体から46件検出され、4月以降は検出されなかった。内訳は、AH1pdm09が40件、AH3が1件、B(Victoria系統)が4件であり、B(山形系統)は検出されなかった。

図1に2019/2020シーズン(2019年9月～2020年8月)における、週別のインフルエンザウイルス検出状況を示した。本シーズンは2019年9月下旬から2020年3月上旬(2019年37週から2020年11週)に計92件が検出され、今シーズンはAH1pdm09が主に流行し86件検出された。AH3は2020年3週に1件のみ検出され、B(Victoria系統)は2019年39週に1件、2020年1月上旬から2月上旬(2020年1週から7週)にかけて4件の計5件が検出された。また、B(山形系統)は検出されなかった。

### エンテロウイルス

エンテロウイルスは、1月と9月～12月に手足口病とヘルパンギーナ検体から計8件検出された。

ウイルス型別では、コクサッキーウイルス(CV)-A4とCV-A10がそれぞれ3件、次いでCV-A16が2件検出された。臨床診断別では、ヘルパンギーナ患者検体から5件、手足口病患者検体から3件であった。

ヘルパンギーナ患者検体からはCV-A4が3件、CV-A10が2件検出された。

手足口病患者検体からはCV-A10が1件、CV-A16が2件検出された。例年5月頃より見られる手足口病の流行は、新型コロナウイルス流行の影響により本年は見られなかった。

また、咽頭結膜炎患者検体からライノウイルスが1件検出された。流行性角結膜炎患者検体と無菌性髄膜炎患者検体からエンテロウイルスは検出されなかった。

### アデノウイルス

本年の呼吸器感染症等患者検体からは、アデノウイルスは検出されなかった。

表 4 臨床材料別ウイルス検出状況 (2020 年)

臨床材料別		咽頭ぬぐい液	鼻腔ぬぐい液 (鼻汁)	結膜ぬぐい液	ふん便	髄液	合計
検体数		31	36	5	5	3	80
検出数		22	32	0	0	0	54
検出率 (%)		71.0	88.9	0	0	0	67.5
インフルエンザ	AH1pdm09	12	28				40
	AH3		1				1
	B(Victoria系統)	1	3				4
コクサッキー	CV-A4	3					3
	CV-A10	3					3
	CV-A16	2					2
ライノ	Rhino	1					1

### ○ 臨床材料別ウイルス検出状況

呼吸器感染症等患者検体からの臨床材料別のウイルス検出状況を表 4 に示した。検体数は計 80 検体で、その内訳は、咽頭ぬぐい液 31 検体、鼻腔ぬぐい液(鼻汁)36 検体、結膜ぬぐい液 5 検体、ふん便 5 検体、髄液が 3 検体であった。ウイルス検出率は鼻腔ぬぐい液(鼻汁)が 88.9%、咽頭ぬぐい液 71.0%であった。結膜ぬぐい液、ふん便、髄液からはウイルスは検出されなかった。

### ○ 年齢別ウイルス検出状況

インフルエンザウイルス、エンテロウイルス等の年齢別検出数を、それぞれ表 5、表 6 に示した。

#### インフルエンザウイルス

AH1pdm09 は 15～19 歳を除く全ての年齢区分、AH3 は 5～9 歳、B(Victoria 系統)は 10～14 歳、15～19 歳、30～39 歳の年齢区分において検出された。いずれの型も検出年齢に明らかな傾向はみられなかったが、AH1pdm09 は 40 歳以上の年齢区分で比較的多く検出された。また、B(山形系統)は検出されなかった。



表 5 インフルエンザウイルスの年齢別検出数 (2020 年)

年齢区分	AH1pdm09	AH3	B (Victoria系統)
0 ~ 4	7		
5 ~ 9	8	1	
10 ~ 14	2		1
15 ~ 19			1
20 ~ 29	1		
30 ~ 39	3		2
≥ 40	19		
合 計	40	1	4

## エンテロウイルス等

2020 年のエンテロウイルスは 1~6 歳の年齢区分にかけて検出され、1 歳未満と 7 歳以上の年齢区分では検出されなかった。CV-A4 は、1~2 歳の年齢区分で 3 件検出された。CV-A10 は 1~2 歳、3~4 歳、5~6 歳の年齢区分で各 1 件ずつ検出された。また、CV-A16 は 1~2 歳と 5~6 歳の年齢区分の手足口病患者検体から検出された。ライノウイルスは 1~2 歳の咽頭結膜熱患者検体から 1 件検出された。

表 6 エンテロウイルス等の年齢別検出数 (2020 年)

年齢区分	コクサッキー			Rhino
	CV-A4	CV-A10	CV-A16	
< 1				
1 ~ 2	3	1	1	1
3 ~ 4		1		
5 ~ 6		1	1	
7 ~ 9				
10 ~ 19				
≥ 20				
合 計	3	3	2	1

### ③ 感染性胃腸炎患者検体からの検出

感染性胃腸炎患者検体からの月別ウイルス検出状況を表 7 に示した。

#### ○ 感染性胃腸炎患者検体からのウイルス検出状況

2020 年に病原体定点から受け付けた感染性胃腸炎患者検体は 7 検体で、このうち 5 検体からウイルスが検出された(検出率 71.4%)。検出されたウイルスは、ノロウイルス GII (NoV GII) が 2 件(40.0%)、アストロウイルス 2 件(40.0%)、アデノウイルスが 1 件(20.0%)であった。ノロウイルス GI は検出されなかった。

月別のウイルス検出数は 1~3 月に計 5 件の検出があったが、それ以降の検出はなかった。NoV GII は 1 月と 2 月にそれぞれ 1 件、アストロウイルスは 3 月に 2 件検出された。また、アデノウイルスは 3 月に 1 件検出された。ウイルスの重複感染が確認された事例はなかった。

#### ○ 胃腸炎起因ウイルス年齢別分布

胃腸炎起因ウイルスは 1 歳から 6 歳までの年齢層で 4 件検出され、10 歳以上の年齢層でも 1 件検出された。1 歳未満と 7 歳~9 歳の年齢層では胃腸炎起因ウイルスは検出されなかった。

表 7 感染性胃腸炎患者からの月別ウイルス検出状況 (2020 年)

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
NoV GII	1	1											2
Astro			2										2
Adeno			1										1
合計	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
検体数	2	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7

## 2020年(令和2年)結核登録者情報



## 2020年(令和2年) 結核登録者情報

## 1 概況

2020年の結核新登録患者数は122人であり、前年(112人)と比較して増加した。結核罹患率(人口10万対率)は9.1で、一般に結核低まん延の指標とされる「罹患率人口10万あたり10以下」を下回った。新登録患者における高齢者(70歳以上)の割合は73.8%であり、全国(62.6%)よりも高齢者の占める割合が高い。県内の年齢階級別罹患率の推移をみると、ここ数年ほとんどの年代で減少傾向が続いているが、30歳代、60歳代、70歳代では前年よりも増加した。保健所別の罹患率は八幡浜保健所、宇和島保健所で高く、前年との比較では四国中央保健所、今治保健所、松山市保健所、中予保健所、宇和島保健所で増加し、西条保健所、八幡浜保健所では減少した。排菌により感染拡大の危険が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は2018年から減少傾向であったが、2020年は増加に転じ、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率(4.0)は全国値(3.7)を上回った。新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合は依然として高く、65.1%と過去最高となった。患者が発病してから初診までに2ヶ月以上経過している割合(受診の遅れ)は、本年は28.0%で前年(13.7%)と比較して増加した。また、初診から診断までに1ヶ月以上経過している割合(診断の遅れ)は、本年は8.5%と前年(10.2%)と比較して減少した。2020年末現在、結核登録患者数は242人(結核登録率18.1)、活動性結核患者数は84人(有病率6.3)であり、前年と比較して結核登録患者数は減少したが、活動性結核患者数は増加した。

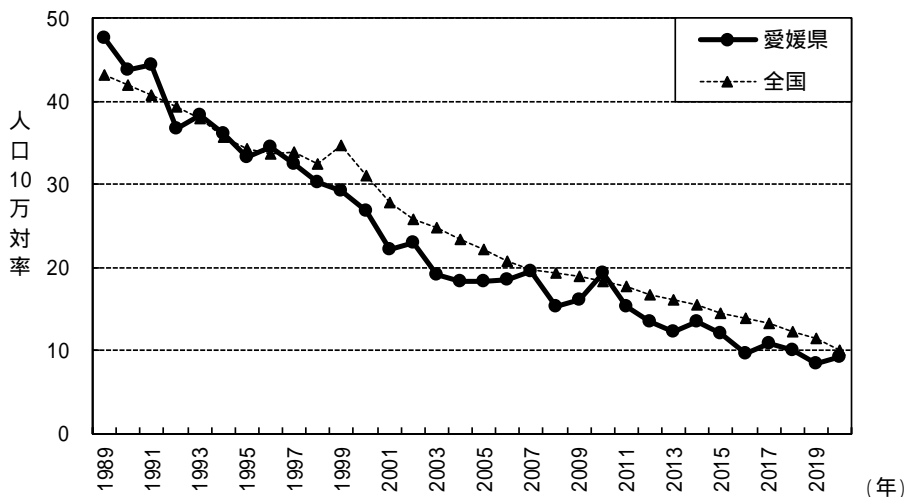
## 2 新登録患者の状況

## (1) 患者数及び罹患率の動向

県内で2020年に新たに結核患者として登録された患者数(新登録患者数)は122人で、前年の112人から10人増加した。2020年の結核罹患率(人口10万人あたりの新登録患者数)は9.1で、前年(同8.4)に比べ0.7増加した。県内の罹患率は、2010年に19.3と全国値を上回ったが、それ以降はすべて全国値を下回っている。2017年以降2年連続で減少し2019年は8.4と過去最低となったが、本年は増加に転じた。

全国の結核罹患率は、結核緊急事態宣言が出された1999年以降減少傾向が続いており、2007年以降減少傾向に鈍化がみられてはいるものの、毎年着実に減少している。都道府県別の罹患率は、低い順に宮城(5.7)、山梨(5.9)、岩手、鳥取(6.1)と続き、本県は21位(9.1)であり、前年(12位、8.4)よりも順位が下がった。

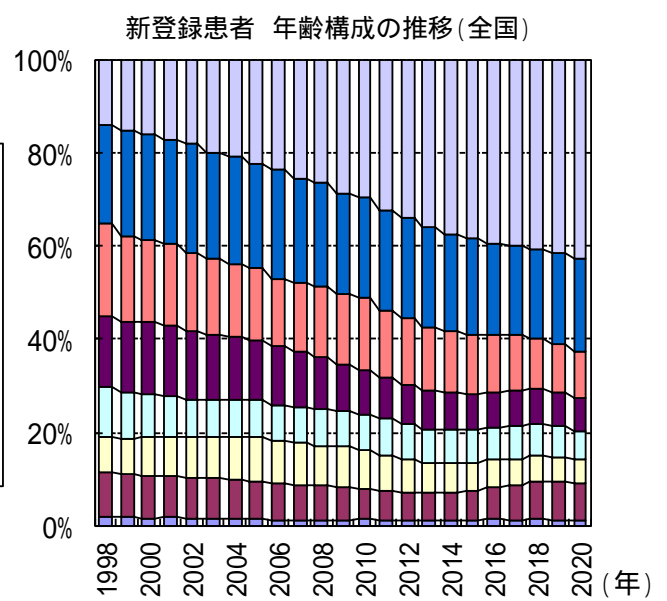
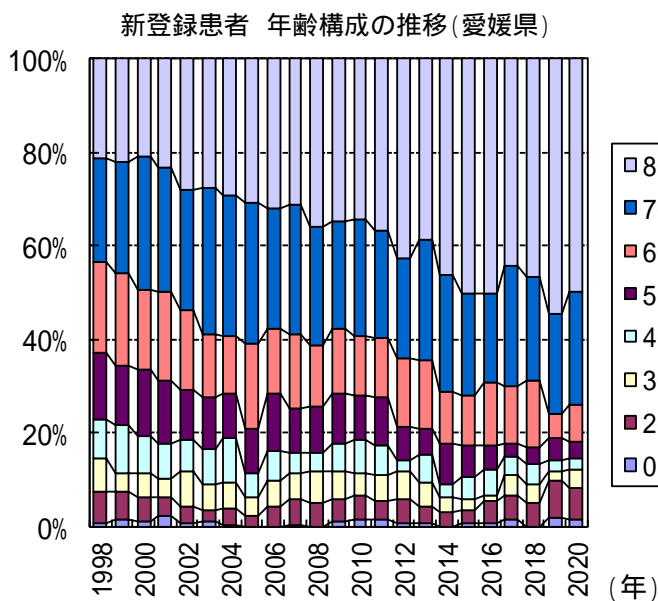
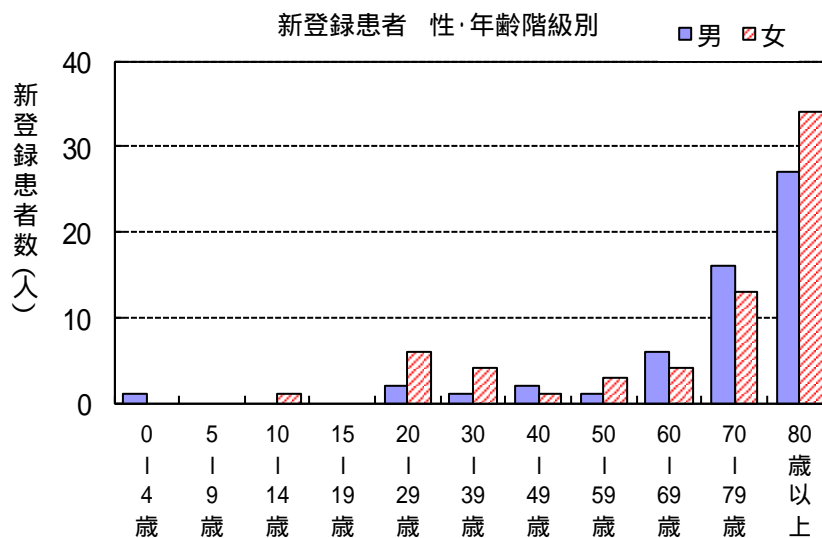
結核罹患率の推移



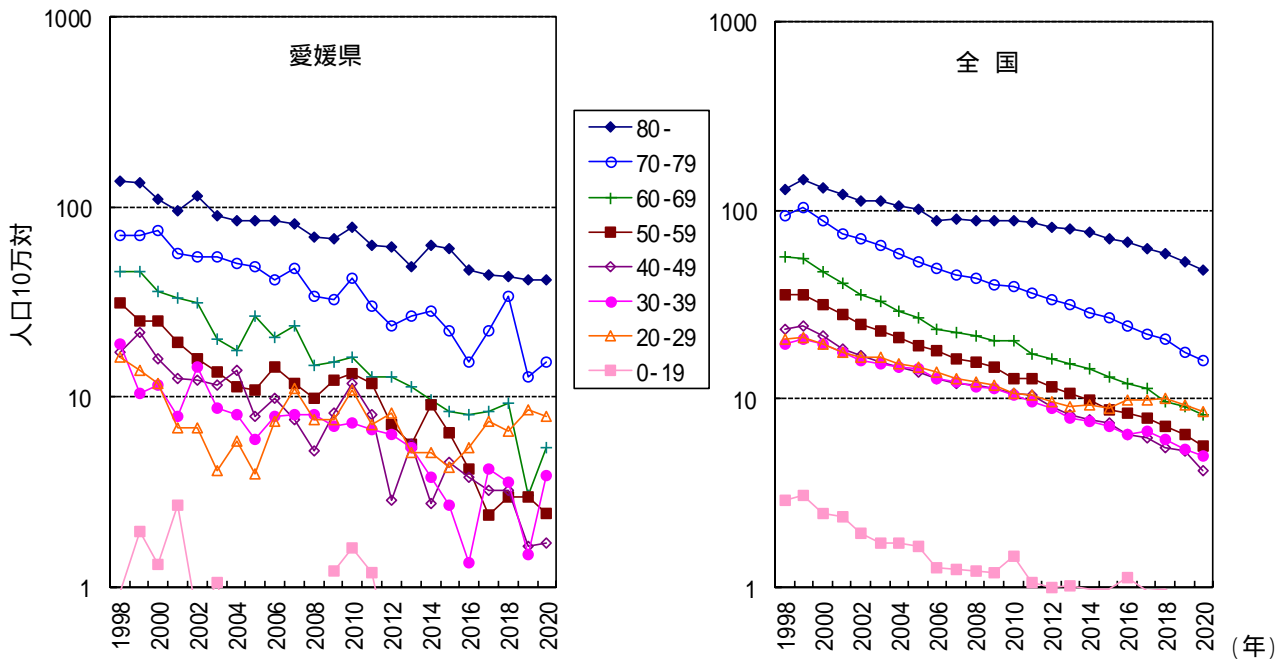
(2) 性・年齢階級別

2020年の新登録患者数の性別は、男性56人、女性66人で、女性が男性の1.2倍であった。前年(男性50人、女62人)に比べ、男性は6人、女性は4人増加した。

年齢構成は70歳以上が90人(前年比5人増)で、新登録患者の73.8%を占めており、全国(62.6%)と比較して高齢者の占める割合が高い傾向がみられる。年齢階級別の罹患率を比較すると、全国では20歳~60歳代の罹患率は4.13~8.58といずれも6前後で大きな差はないが、70歳以上では年齢が高くなるにつれて罹患率が高くなっている。県内では30歳代~50歳代の罹患率は1.70~3.87であるが、これらの年代と比較して20歳代(7.99)、60歳代(5.42)は罹患率が高くなっている。70歳以上では全国と同様、年齢とともに罹患率が高くなる傾向を示している。県内の年齢階級別罹患率の推移をみると、ここ数年ほとんどの年代で概ね減少傾向が続いていたが、30歳代、60歳代、70歳代では前年よりも増加した。



新登録患者 年齢階級別罹患率の推移

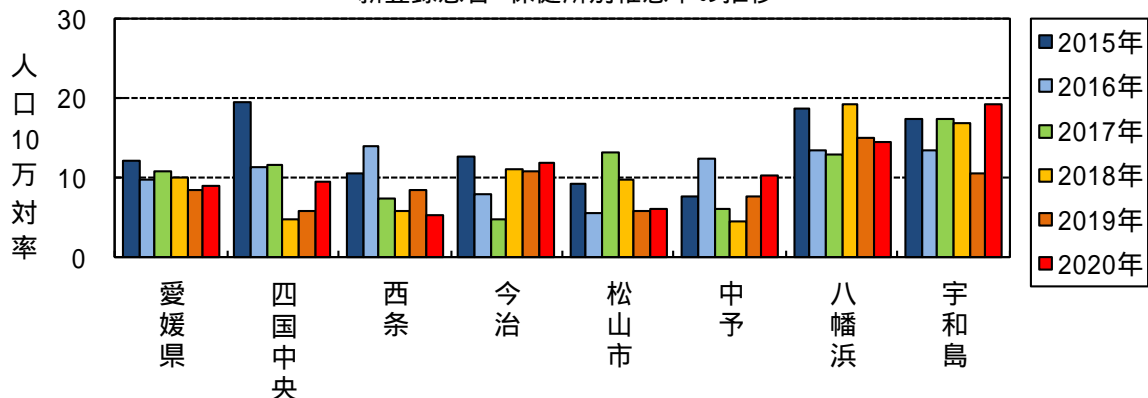


(3) 保健所別

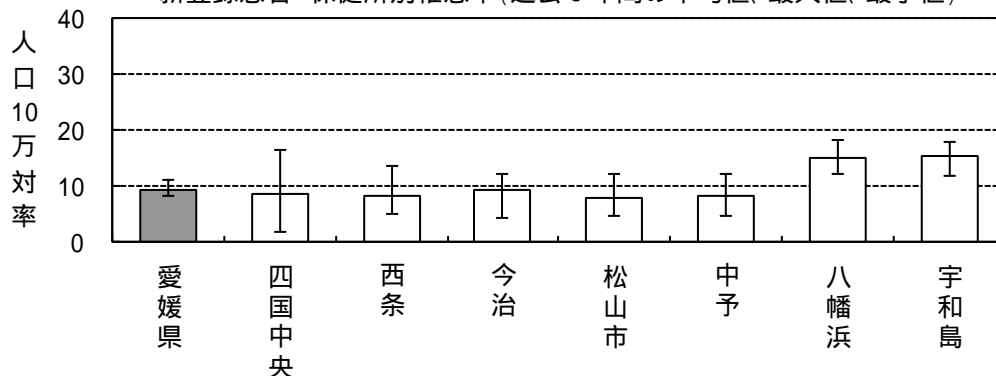
2020年の保健所別の罹患率を比較すると、高い順に、宇和島保健所 19.3 (対前年比 8.8 増)、八幡浜保健所 14.4 (同 0.6 減)、今治保健所 12.0 (同 1.3 増)、中予保健所 10.3 (同 2.5 増)、四国中央保健所 9.7 (同 3.7 増)、松山市保健所 6.1 (同 0.2 増)、西条保健所 5.4 (同 3.2 減)であった。前年との比較では、四国中央保健所、今治保健所、松山市保健所、中予保健所、宇和島保健所の5保健所が増加し、西条保健所、八幡浜保健所が減少した。

保健所別の過去5年間(2016~2020年)の罹患率の平均は、宇和島保健所の15.4を最高に、八幡浜保健所15.0、今治保健所9.3、四国中央保健所8.7、西条保健所及び中予保健所8.3、松山市保健所8.1の順に続き、南予で比較的高い傾向であった。

新登録患者 保健所別罹患率の推移



新登録患者 保健所別罹患率(過去5年間の平均値、最大値、最小値)



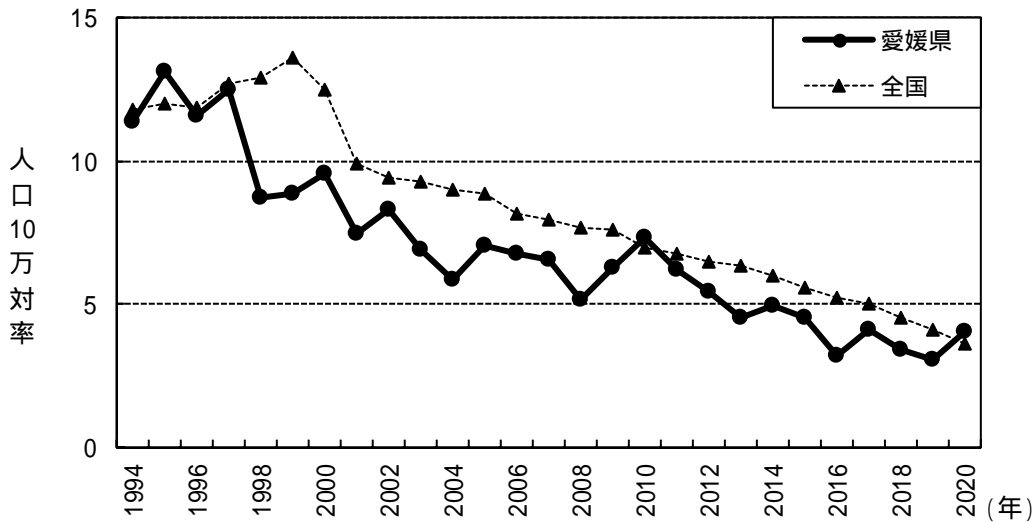
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向

新登録患者のうち、排菌により感染拡大の危険が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は54人で、前年の41人から13人増加した。罹患率は4.0で、前年の3.1から0.9増加した。喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移をみると、2010年から減少傾向で2019年に過去最低となったが、本年は増加に転じた。一方、全国の喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は3.7で、前年の4.1より0.4低下し、1999年をピークに減少傾向が続いている。

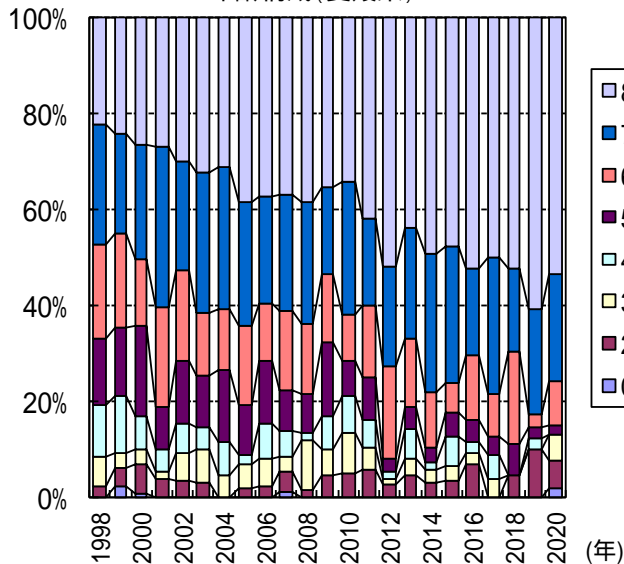
新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合は依然として高く、本年は65.1%（前年47.7%）と過去最高となった。

喀痰塗抹陽性肺結核患者の年齢構成は、全国的には高齢者の割合が増加する傾向にある。本県における70歳以上の高齢者の割合は増加傾向にあり、1998年では全体の47.3%であったが2019年には82.9%と過去最高となった。本年は75.9%と前年に比べ減少し、過去5年間（2015～2019年）の平均（75.5%）と同程度であった。高齢者の排菌患者は症状が出にくく、診断の遅れにより感染が拡大する可能性があるため、早期発見、早期治療が重要である。

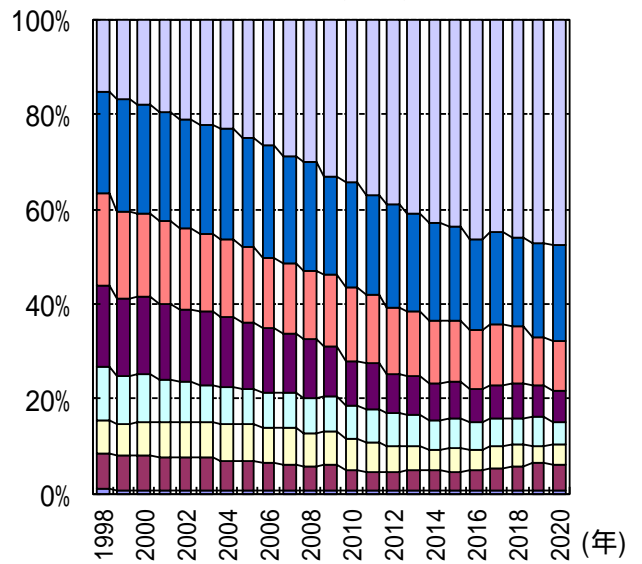
喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の推移



新登録塗抹陽性肺結核患者  
年齢構成(愛媛県)



新登録塗抹陽性肺結核患者  
年齢構成(全国)

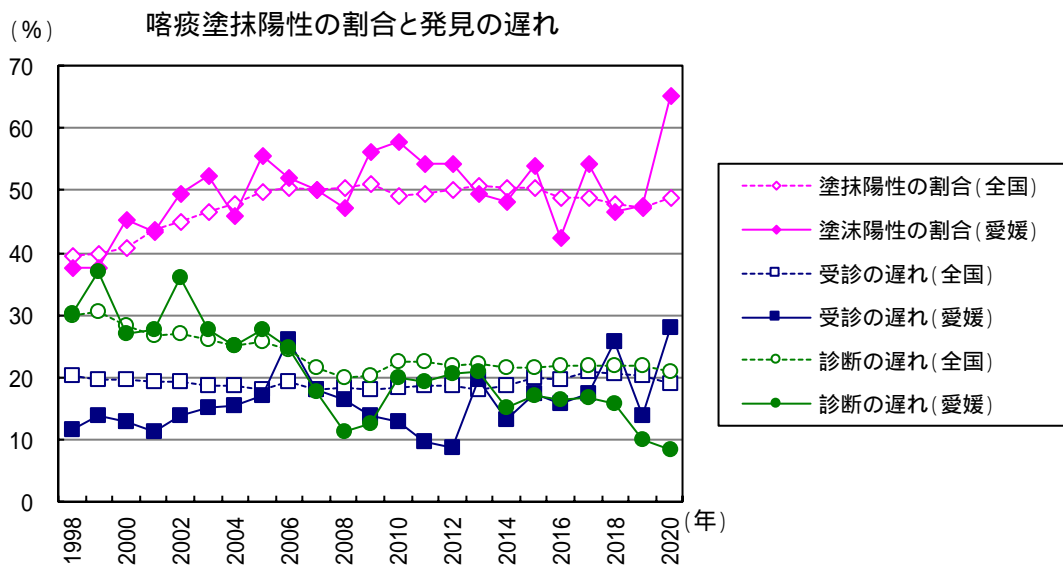




## (5) 発見の遅れ

新登録有症状肺結核患者において、発病から初診までに要する期間が2ヶ月以上の割合を「受診の遅れ」の指標とした場合、全国では18～20%でほぼ横ばいで推移している。本県では、2006年から2012年にかけて減少傾向にあったが、その後増減を繰り返し本年は28.0%と前年の13.7%から増加した。

一方、初診から診断(登録)までに要する期間が1ヶ月以上の割合を「診断の遅れ」の指標とした場合、全国では2007年以降20～22%でほぼ横ばいで推移している。本県では、2008年、2009年は12%程度に低下し、2010年から2013年は20%前後と全国と同じレベルで推移した。2014年以降はほぼ横ばいで推移していたが、2019年に減少に転じ本年も8.5%と前年に引き続き減少した。



塗抹陽性の割合：新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合

受診の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、発病～初診の期間が2ヶ月以上の場合

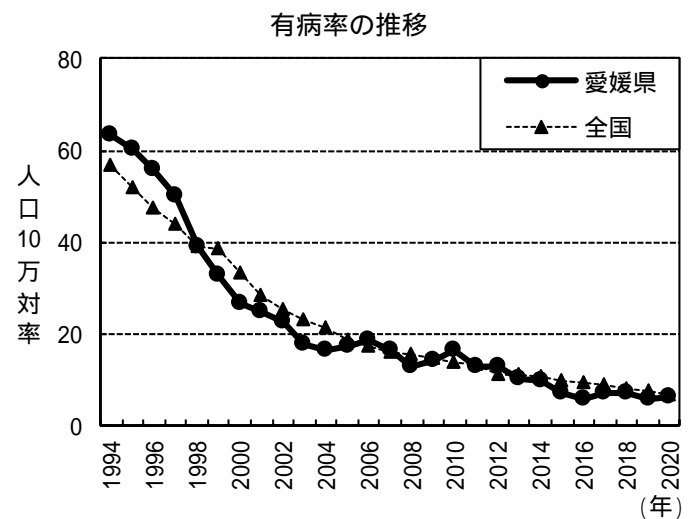
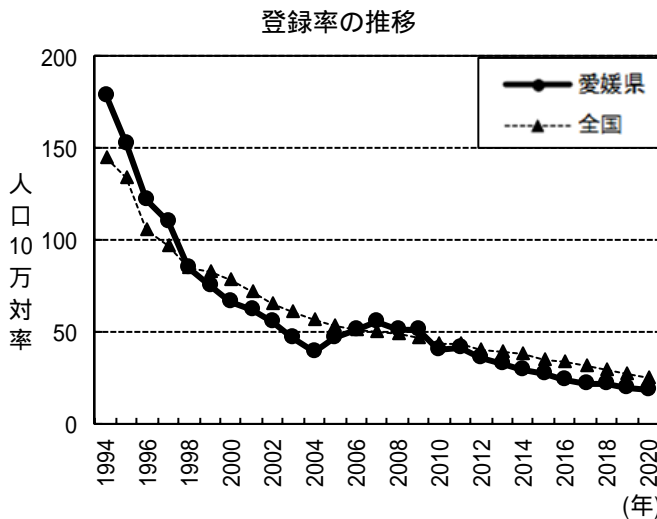
診断の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、初診～診断(登録)の期間が1ヶ月以上の割合

### 3 年末現在結核登録者の状況

2020 年末の愛媛県における結核登録患者数は 242 人で、前年の 268 人より 26 人減少した。結核登録率(人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者)は 18.1 で、前年の 20.0 から 1.9 減少した。全国の登録率は 25.0 であり、前年の 27.4 から 2.4 減少した。

年末現在の活動性結核患者数(年末時点で結核の治療を受けている、あるいは治療の必要がある患者数)は 84 人で、前年の 77 人より 7 人増加した。有病率(人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数)は 6.3 で、前年の 5.8 から 0.5 増加した。全国の有病率は 6.8 で、前年の 7.7 より 0.9 減少している。

県内の登録率の年次推移をみると、2004 年までは順調に減少していたが、2005 年から 2007 年にかけて増加し、2006 年には全国値を上回った。2008 年以降は再び減少傾向を示し、本年は過去最低となった。県内の有病率は、2004 年まで順調に減少した後、2005 年から 2012 年にかけてはほぼ横ばいで推移していた。2013 年以降は再び減少し、2016 年に過去最低となったが、2017 年からは再び増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移している。



登録率：人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者数  
 有病率：人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数

表 4-1 2020 年 新登録患者数 - 保健所別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その 他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他		
総 数	初 回 治 療		再 治 療	結 核 菌 陽 性	結 核 菌 陰 性			結 核 菌 陽 性	
愛媛県 総数	122	83	54	51	3	24	5	39	27
四国中央	8	6	2	2		4		2	
西 条	12	7	6	6		1		5	6
今 治	19	13	11	11		2		6	2
松 山 市	31	19	12	12		5	2	12	7
中 予	13	9	6	4	2	2	1	4	1
八 幡 浜	19	13	8	7	1	4	1	6	8
宇 和 島	20	16	9	9		6	1	4	3

\*潜在性結核感染症:結核の無症状病原体保有者のうち医療を必要とするもの

表 4-2 2020 年 新登録患者数 - 性、年齢階級別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その 他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他		
総 数	初 回 治 療		再 治 療	結 核 菌 陽 性	結 核 菌 陰 性			結 核 菌 陽 性	
愛媛県 総数	122	83	54	51	3	24	5	39	27
男	56	44	26	24	2	13	5	12	15
女	66	39	28	27	1	11		27	12
0-4歳	1	1					1		6
男	1	1					1		4
女									2
5-9歳									
男									
女									
10-14歳	1	1	1		1				
男	1	1	1		1				
女									
15-19歳									
男									
女									
20-29歳	8	5	3	3		2		3	2
男	2	2	1	1		1			2
女	6	3	2	2		1		3	
30-39歳	5	4	3	3		1		1	2
男	1	1	1	1					1
女	4	3	2	2		1		1	1
40-49歳	3	1					1	2	3
男	2	1					1	1	1
女	1							1	2
50-59歳	4	2	1	1		1		2	3
男	1							1	1
女	3	2	1	1		1		1	2
60-69歳	10	9	5	3	2	3	1	1	9
男	6	6	4	2	2	1	1		4
女	4	3	1	1		2		1	5
70-79歳	29	19	12	12		6	1	10	2
男	16	13	8	8		4	1	3	2
女	13	6	4	4		2		7	
80歳以上	61	41	29	29		11	1	20	
男	27	20	12	12		7	1	7	
女	34	21	17	17		4		13	

表 4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2020年		2019年		2018年		2017年		2016年		2015年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	122	9.1	112	8.4	135	10.0	147	10.8	133	9.7	167	12.1
四国中央	8	9.7	5	6.0	4	4.7	10	11.6	10	11.5	17	19.4
西条	12	5.4	19	8.6	13	5.8	17	7.5	32	14.1	24	10.5
今治	19	12.0	17	10.7	18	11.2	8	4.9	13	7.9	21	12.7
松山市	31	6.1	30	5.9	50	9.8	67	13.1	28	5.5	48	9.3
中予	13	10.3	10	7.8	6	4.7	8	6.2	16	12.3	10	7.6
八幡浜	19	14.4	20	15.0	26	19.1	18	13.0	19	13.4	27	18.7
宇和島	20	19.3	11	10.5	18	16.8	19	17.3	15	13.4	20	17.5

表 4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2020年		2019年		2018年		2017年		2016年		2015年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4	1	0.8										
5-9												
10-14	1	0.8										
15-19			2	1.8			2	1.4	1	0.8	1	0.6
20-29	8	6.6	9	8.0	7	5.2	8	5.4	6	4.5	5	3.0
30-39	5	4.1	2	1.8	5	3.7	6	4.1	2	1.5	4	2.4
40-49	3	2.5	3	2.7	6	4.4	6	4.1	7	5.3	8	4.8
50-59	4	3.3	5	4.5	5	3.7	4	2.7	7	5.3	11	6.6
60-69	10	8.2	6	5.4	19	14.1	18	12.2	18	13.5	18	10.8
70-79	29	23.8	24	21.4	30	22.2	38	25.9	25	18.8	36	21.6
80-	61	50.0	61	54.5	63	46.7	65	44.2	67	50.4	84	50.3

表 4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2020年		2019年		2018年		2017年		2016年		2015年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	54	4.0	41	3.1	46	3.4	56	4.1	44	3.2	63	4.5
四国中央	2	2.4	1	1.2			1	1.2	2	2.3	7	8.0
西条	6	2.7	8	3.6	3	1.3	9	4.0	11	4.9	14	6.1
今治	11	7.0	7	4.4	9	5.6	1	0.6	4	2.4	10	6.1
松山市	12	2.3	12	2.4	18	2.8	29	5.7	9	1.8	12	2.3
中予	6	4.7	2	1.6	3	2.3	3	2.3	6	4.6	5	3.8
八幡浜	8	6.1	8	6.0	6	4.4	6	4.3	4	2.8	5	3.5
宇和島	9	8.7	3	2.9	7	6.5	7	6.4	8	7.2	10	8.8

表 4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2020年		2019年		2018年		2017年		2016年		2015年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4												
5-9												
10-14	1	1.9										
15-19												
20-29	3	5.6	4	9.8	2	4.3			3	6.8	2	3.2
30-39	3	5.6					2	3.6	1	2.3	2	3.2
40-49			1	2.4			3	5.4	1	2.3	4	6.3
50-59	1	1.9	1	2.4	3	6.5	2	3.6	2	4.5	3	4.8
60-69	5	9.3	1	2.4	9	19.6	5	8.9	6	13.6	4	6.3
70-79	12	22.2	9	22.0	8	17.4	16	28.6	8	18.2	18	28.6
80-	29	53.7	25	61.0	24	52.2	28	50.0	23	52.3	30	47.6

表 4-7 2020 年 新登録患者数 - 結核病類、性、年齢階級別

	新登録患者総数	肺結核		肺外結核						
		肺結核	気管支結核	粟粒結核	結核性胸膜炎	他のリンパ節結核	腸結核	腎・尿路結核	耳の結核	結核性心膜炎
愛媛県 総数	122	88	2	12	17	8	6	1	1	1
男	56	45	1	3	10	1				1
女	66	43	1	9	7	7	6	1	1	
0-4歳	1	1								
男	1	1								
女										
5-9歳										
男										
女										
10-14歳	1	1								
男										
女	1	1								
15-19歳										
男										
女										
20-29歳	8	6		1		2				
男	2	2								
女	6	4		1		2				
30-39歳	5	4			1					
男	1	1								
女	4	3			1					
40-49歳	3	1			2		1			
男	2	1			1					
女	1				1		1			
50-59歳	4	2		1			1		1	
男	1			1						
女	3	2					1		1	
60-69歳	10	9					2			
男	6	6								
女	4	3					2			
70-79歳	29	20		3	2	3	2	1		1
男	16	14		2	2					1
女	13	6		1		3	2	1		
80歳以上	61	44	2	7	12	3				
男	27	20	1		7	1				
女	34	24	1	7	5	2				

表 4-8 2020年 新登録肺結核患者数 - 職業、菌情報、保健所別

	総 数		接客業等		看護師・保健師		医師		その他の医療職	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	54	29			1				1	2
四国中央	2	4								
西 条	6	1								
今 治	11	2								1
松 山 市	12	7			1				1	1
中 予	6	3								
八 幡 浜	8	5								
宇 和 島	9	7								

	教員・保母		小中学生等児童		高校生以上の 生徒学生等		その他 常用勤労者		その他 臨時雇・日雇	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数			1				5	2		
四国中央										
西 条							1	1		
今 治							2			
松 山 市							1			
中 予			1				1			
八 幡 浜										
宇 和 島								1		

	その他 自営業・自由業		家事従事者		乳幼児		無職・その他		不明	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	2	2	1			1	43	21		1
四国中央							2	4		
西 条							5			
今 治	1		1				7	1		
松 山 市							9	6		
中 予	1	2					3	1		
八 幡 浜						1	8	3		
宇 和 島							9	6		1

表 4-9 2020 年 新登録患者数 - 発見方法別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	咯 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他		
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	122	83	54	51	3	24	5	39	27
健康診断	12	12	6	6		4	2		16
個別健康診断	1	1				1			1
定期健康診断	8	8	5	5		2	1		
学校健診									
住民健診	1	1				1			
職場健診	6	6	4	4		1	1		
施設健診	1	1	1	1					
接触者健康診断	3	3	1	1		1	1		15
家族健診	3	3	1	1		1	1		7
その他									8
その他の集団検診									
医療機関	109	70	48	45	3	19	3	39	10
受診	57	38	32	30	2	5	1	19	5
他疾患入院中	30	17	9	9		8		13	1
他疾患通院中	22	15	7	6	1	6	2	7	4
その他									1
不明									
登録中の健康診断	1	1				1			

表 4-10 2020 年 新登録有症状肺結核患者数 - 発見の遅れの期間別

	肺 結 核 活 動 性					
	総 数	咯 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他
		総 数	初 回 治 療	再 治 療		
発病～初診の期間						
総数	61	46	43	3	15	
2週未満	21	15	14	1	6	
2週以上1月未満	10	9	8	1	1	
1月以上2月未満	5	3	3		2	
2月以上3月未満	7	7	6	1		
3月以上6月未満	5	5	5			
6月以上	2	2	2			
不明・該当せず	11	5	5		6	
初診～診断の期間						
総数	61	46	43	3	15	
2週未満	48	40	38	2	8	
2週以上1月未満	6	4	4		2	
1月以上2月未満	4	1		1	3	
2月以上3月未満	1				1	
3月以上6月未満						
6月以上						
不明・該当せず	2	1	1		1	
発病～診断の期間						
総数	61	46	43	3	15	
2週未満	15	12	11	1	3	
2週以上1月未満	10	9	9		1	
1月以上2月未満	9	5	5		4	
2月以上3月未満	9	8	6	2	1	
3月以上6月未満	5	5	5			
6月以上	2	2	2			
不明・該当せず	11	5	5		6	

表 4-11 2020年 新登録患者数 - 化療内容、保健所別(その1)

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		再治療	その他の 結核菌 陽性	菌陰性 ・ その他		
		総 数	初 回 治 療						
愛媛県									
総数	122	83	54	51	3	24	5	39	27
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	84	56	38	35	3	15	3	28	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上	1	1					1		
他INH、RFP含む3剤以上	36	26	16	16		9	1	10	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									26
その他単独									1
不明・化療なし	1							1	
四国中央									
総数	8	6	2	2		4		2	
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	6	5	1	1		4		1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	2	1	1	1				1	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									
その他単独									
不明・化療なし									
西条									
総数	12	7	6	6		1		5	6
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	7	4	3	3		1		3	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	5	3	3	3				2	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									5
その他単独									1
不明・化療なし									
今治									
総数	19	13	11	11		2		6	2
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	16	11	10	10		1		5	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	2	2	1	1		1			
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									2
その他単独									
不明・化療なし	1							1	

INH: イソニアジド、RFP: リファンピシン、PZA: ピラジナミド、EB: エタンブール、SM: ストレプトマイシン



表 4-11 2020年 新登録患者数 - 化療内容、保健所別(その2)

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰	塗 抹	陽 性	その 他 の 結 核	菌 陰 性 ・ その 他		
		総 数	初 治	回 療	再 治 療	結 核 陽	菌 陰 性 ・ その 他		
松山市									
総数	31	19	12	12		5	2	12	7
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	20	12	9	9		1	2	8	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	11	7	3	3		4		4	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									7
その他単独									
不明・化療なし									
中予									
総数	13	9	6	4	2	2	1	4	1
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	9	5	4	2	2	1		4	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	4	4	2	2		1	1		
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									1
その他単独									
不明・化療なし									
八幡浜									
総数	19	13	8	7	1	4	1	6	8
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	9	6	4	3	1	2		3	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上	1	1					1		
他INH、RFP含む3剤以上	9	6	4	4		2		3	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									8
その他単独									
不明・化療なし									
宇和島									
総数	20	16	9	9		6	1	4	3
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	17	13	7	7		5	1	4	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	3	3	2	2		1			
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									3
その他単独									
不明・化療なし									

INH: イソニアジド、RFP: リファンピシン、PZA: ピラジナミド、EB: エタンブトール、SM: ストレプトマイシン

表 4-12 2020 年 年末現在登録者数 - 保健所別

	総数	活 動 性 結 核								不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
		総数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 核 活動性			治療中	観察中
			総数	登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性			登 録 時 其 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 其 他					
				総数	初 回 療	再 治 療							
愛媛県 総数	242	84	62	39	37	2	17	6	22	140	18	18	20
四国中央	13	5	4	1	1		2	1	1	8			1
西 条	29	8	5	4	4		1		3	6	15	4	1
今 治	41	13	10	9	9		1		3	28			1
松 山 市	72	26	18	11	11		5	2	8	46		5	11
中 予	18	7	6	3	2	1	2	1	1	8	3	1	1
八 幡 浜	39	12	8	4	3	1	3	1	4	27		6	2
宇 和 島	30	13	11	7	7		3	1	2	17		2	3

表 4-13 2020 年 年末現在登録者数 - 性、年齢階級別

	総数	活 動 性 結 核								不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症		
		総数	総数	肺 結 核 活 動 性				登 録 時 其 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 其 他			肺 外 核 活動性	治療中	観察中
				喀 痰 塗 抹 陽 性										
				総数	初 回 療	再 治 療								
愛媛県 総数	242	84	62	39	37	2	17	6	22	140	18	18	20	
男	120	40	33	20	19	1	8	5	7	71	9	10	8	
女	122	44	29	19	18	1	9	1	15	69	9	8	12	
0-4歳	1	1	1					1				5	1	
男	1	1	1					1				4		
女												1	1	
5-9歳														
男														
女														
10-14歳	1	1	1	1		1								
男	1	1	1	1		1								
女														
15-19歳	2									2				
男	1									1				
女	1									1				
20-29歳	13	5	4	2	2		2		1	8		2		
男	5	2	2	1	1		1			3		2		
女	8	3	2	1	1		1		1	5				
30-39歳	8	3	3	2	2		1			5		1		
男	3	1	1	1	1					2		1		
女	5	2	2	1	1		1			3				
40-49歳	10	2	1					1	1	8		2	2	
男	4	1	1					1		3		1		
女	6	1							1	5		1	2	
50-59歳	15	3	1				1		2	11	1	1	4	
男	8	1							1	7			2	
女	7	2	1				1		1	4	1	1	2	
60-69歳	20	9	8	4	3	1	3	1	1	11		7	6	
男	10	4	4	3	2	1	1			6		2	2	
女	10	5	4	1	1		2	1	1	5		5	4	
70-79歳	58	22	15	10	10		3	2	7	33	3		5	
男	37	14	11	7	7		2	2	3	20	3		4	
女	21	8	4	3	3		1		4	13			1	
80歳以上	114	38	28	20	20		7	1	10	62	14		2	
男	51	16	13	8	8		4	1	3	29	6			
女	63	22	15	12	12		3		7	33	8		2	

## 参 考 资 料



## 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱

## 第一 目的

本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号。以下「法」という。)に基づき、感染症の患者発生状況に関する情報(以下「患者情報」という。)、疑似症発生状況に関する情報(以下「疑似症情報」という。)及び感染症の病原体に関する情報(以下「病原体情報」という。)を迅速かつ的確に収集、分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ的確な感染症対策の確立に資することを目的とする。

## 第二 対象感染症

事業の対象とする感染症は次のとおりとする。

## 一 全数把握の対象

## 1 一類感染症

- (1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱  
(5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

## 2 二類感染症

- (8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)  
(12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) (13) 鳥インフルエンザ(H5N1) (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)

## 3 三類感染症

- (15) コレラ (16) 細菌性赤痢 (17) 腸管出血性大腸菌感染症 (18) 腸チフス  
(19) パラチフス

## 4 四類感染症

- (20) E型肝炎 (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) (22) A型肝炎  
(23) エキノコックス症 (24) 黄熱 (25) オウム病 (26) オムスク出血熱 (27) 回帰熱  
(28) キャサヌル森林病 (29) Q熱 (30) 狂犬病 (31) コクシジオイデス症 (32) サル痘  
(33) ジカウイルス感染症 (34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SF-TSウイルスであるものに限る。) (35) 腎症候性出血熱 (36) 西部ウマ脳炎  
(37) ダニ媒介脳炎 (38) 炭疽 (39) チクングニア熱 (40) つつが虫病 (41) デング熱  
(42) 東部ウマ脳炎 (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)  
(44) ニパウイルス感染症 (45) 日本紅斑熱 (46) 日本脳炎 (47) ハンタウイルス肺症候群  
(48) Bウイルス病 (49) 鼻疽 (50) ブルセラ症 (51) ベネズエラウマ脳炎  
(52) ヘンドラウイルス感染症 (53) 発しんチフス (54) ボツリヌス症 (55) マラリア  
(56) 野兎病 (57) ライム病 (58) リッサウイルス感染症 (59) リフトバレー熱  
(60) 類鼻疽 (61) レジオネラ症 (62) レプトスピラ症 (63) ロッキー山紅斑熱

## 5 五類感染症

- (64) アメーバ赤痢 (65) ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)  
(66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (67) 急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)  
(68) 急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)  
(69) クリプトスポリジウム症 (70) クロイツフェルト・ヤコブ病 (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症  
(72) 後天性免疫不全症候群 (73) ジアルジア症 (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症  
(75) 侵襲性髄膜炎菌感染症 (76) 侵襲性肺炎球菌感染症 (77) 水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)  
(78) 先天性風しん症候群 (79) 梅毒 (80) 播種性クリプトコックス症 (81) 破傷風 (82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
(83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84) 百日咳 (85) 風しん (86) 麻しん  
(87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

## 6 新型インフルエンザ等感染症

- (112) 新型インフルエンザ (113) 再興型インフルエンザ

## 7 指定感染症

- (114) 新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)) であることに限る。)

## 二 定点把握の対象

### 1 五類感染症

- (88) R S ウイルス感染症 (89) 咽頭結膜熱 (90) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (91) 感染性胃腸炎 (92) 水痘 (93) 手足口病 (94) 伝染性紅斑 (95) 突発性発しん (96) ヘルパンギーナ (97) 流行性耳下腺炎  
(98) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)  
(99) 急性出血性結膜炎 (100) 流行性角結膜炎 (101) 性器クラミジア感染症 (102) 性器ヘルペスウイルス感染症 (103) 尖圭コンジローマ (104) 淋菌感染症 (105) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)  
(106) 細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)  
(107) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (108) マイコプラズマ肺炎 (109) 無菌性髄膜炎  
(110) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (111) 薬剤耐性緑膿菌感染症

### 2 疑似症

(115) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

## 三 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象二類感染症

- (13) 鳥インフルエンザ (H5N1)

## 第三 実施主体

実施主体は県とし、愛媛県医師会等関係機関の協力を得て事業を実施する。

#### 第四 実施体制の整備

##### 一 愛媛県感染症情報センター

愛媛県感染症情報センター（以下「感染症情報センター」という。）を、愛媛県立衛生環境研究所（以下「衛生環境研究所」という。）に設置する。感染症情報センターは、県及び松山市（以下、「県等」という。）から報告された患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集、分析し、その結果を全国情報等と併せて速やかに関係機関等へ提供・公開する。

##### 二 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

1 県は、定点把握対象の感染症について、患者情報及び疑似症情報を収集するため、法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点を選定する。

2 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点を選定する。

なお、法施行規則第7条の2に規定する五類感染症については、法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。

##### 三 愛媛県感染症対策推進協議会

本事業に関する事項については、愛媛県感染症対策推進協議会において協議することとし、愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱第8条の規定に基づく解析評価担当委員（以下「解析評価委員」という。）が解析評価を行う。

##### 四 検査施設

本事業に係る検体等の検査については、衛生環境研究所又は保健所の検査施設（以下「衛生環境研究所等」という。）において実施する。衛生環境研究所等は、別に定める病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査業務管理要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努める。

また、県等は、県等域内における検査が適切に実施されるよう施設間の役割を調整するとともに、衛生環境研究所は、松山市において実施できない項目について検査事務を受託する等、検査実施体制の整備を図る。

#### 第五 事業の実施

##### 一 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症（第二の(114)を除く。）

###### 1 医師

医師は、一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」（以下「届出基準等通知」という。）に基づき診断した場合は、届出基準等通知別記様式により、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

###### 2 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を

受けた場合にあっては、検体等については、別記様式1の検査票を添付して提供する。

### 3 保健所

(1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力する。

(2) 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対し、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼等する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

(3) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

### 4 衛生環境研究所等

(1) 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式1により保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報について、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

(2) 衛生環境研究所等において検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(3) 患者が一類感染症と診断されている場合、県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

### 5 感染症情報センター

感染症情報センターは、患者情報について、保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

## 二 (114) 新型コロナウイルス感染症

### 1 医師

(114) 新型コロナウイルス感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合は、別に定める基準に基づき、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（以下「HER-SYS」という。）への入力により行うことを基本とするが、HER-SYSの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

### 2 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等について、別記様式1の検査票を添付して提供する。

### 3 保健所

(1) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、診断した医師の医療機関にHER-SYSの入力環境がない場合には、当該届出内容をHER-SYSに入力するものとする。



また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

(2) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所へ検査を依頼するものとする。

#### 4 衛生環境研究所

(1) 衛生環境研究所は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体等を検査し、その結果について、保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、詳細な病原体情報等については、別記様式1により保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センターに報告する。

(2) 衛生環境研究所において検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(3) 衛生環境研究所は、都道府県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

#### 5 感染症情報センター

(1) 感染症情報センターは、県内の患者情報について、保健所等によって HER-SYS に入力された情報について、確認を行う。

### 三 全数把握対象の五類感染症 ((75)、(85)及び(86)を除く。)

#### 1 医師

医師は、第二の一の5に掲げる全数把握対象の五類感染症 ((75)、(85)及び(86)を除く。)を届出基準等通知に基づき診断した場合は、届出基準等通知別記様式を用いて診断後7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。

#### 2 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、保健所に協力し、別記様式1の検査票を添付して提供する。

#### 3 保健所

(1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力する。

(2) 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関等に対し、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

(3) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

#### 4 衛生環境研究所等

(1) 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、

別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式1により保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報について、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

- (2) 衛生環境研究所等において検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。
- (3) 県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

5 感染症情報センター

感染症情報センターは、患者情報について、保健所からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

四 定点把握対象の五類感染症

1 定点の選定

(1) 患者定点

県は、第二の二の1に掲げる定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、対象感染症に応じ、次に掲げる医療機関のうちから可能な限り無作為に患者定点を選定する。患者定点数は、別に定める基準（国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱。以下「算定基準」という。）を準用し算定する。

対象感染症	医療機関
ア 第二の(88)から(97)までに掲げるもの (小児科定点)	小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）
イ 第二の(98)に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。） (インフルエンザ定点及び基幹定点) なお、基幹定点における届出基準は、インフルエンザ定点と異なり、入院患者に限定されることに留意する。	上記アで選定した小児科に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）
ウ 第二の(99)及び(100)に掲げるもの (眼科定点)	眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）
エ 第二の(101)から(104)までに掲げるもの (性感染症定点(STD定点))	産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和23年政令第326号）第3条の2第1項第1号ハ及びニ（2）の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）
オ 第二の(90)のうち病原体がロタウイルスであるもの及び(105)から(111)までに掲げるもの (基幹定点)	原則患者を300人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）

(2) 疑似症定点

県は、第二の二の2に掲げる定点把握対象の疑似症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、対象感染症に応じ、次に掲げる医療機関のうちから疑似症定点を選定する。定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案しつつ、できるだけ県の疑似症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

対象感染症	医療機関
第二の(115)に掲げるもの	集中治療その他これに準ずるものを提供することができる病院又は診療所のうち疑似症に係る指定届出機関として適当と認めるもの。 また、以下のアからウの順に優先順位をつけ、上記の基準を踏まえて選定する。 ア 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料(1~4)、小児特定集中治療室管理料及びハイケアユニット入院医療管理料(1~2)の届出をしている医療機関 イ 法に基づく感染症指定医療機関 ウ マスギャザリング(一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団)において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関

### (3) 病原体定点

県は、病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点として選定された医療機関の中から、次の基準により病原体定点を選定する。

病原体定点	算定基準	対象感染症
ア 小児科病原体定点	(1)のアにより選定された小児科定点の概ね10%	第二の(88)から(97)までに掲げるもの
イ インフルエンザ病原体定点(法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として指定)	(1)のイにより選定されたインフルエンザ定点の概ね10%(小児科定点から10%以上及び内科定点から10%以上とし、それぞれ3定点と2定点を下回らないように選定)	第二の(98)に掲げるもの
ウ 眼科病原体定点	(1)のウにより選定された眼科定点の概ね10%	第二の(99)及び(100)に掲げるもの
エ 基幹病原体定点	(1)のオにより選定された基幹定点の全て	第二の(91)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(106)及び(109)に掲げるもの

## 2 調査単位等

- (1) 患者情報のうち、前記1の(1)のア、イ、ウ及びオ(第二の(107)、(110)及び(111)に関する患者情報を除く。)により選定された患者定点にあつては1週間(月曜日から日曜日)を調査単位とし、前記1の(1)のエ及びオ(第二の(107)、(110)及び(111)に関する患者情報のみ)により選定された患者定点にあつては各月を調査単位とする。
- (2) 疑似症情報については、速やかな情報提供を図る趣旨から、直ちに疑似症発生状況の把握を行う。
- (3) 病原体情報のうち、前記1の(3)のイにより選定されたインフルエンザ病原体定点にあつては、第二の(98)に掲げるインフルエンザの流行期(1の(1)のイにより選定され

たインフルエンザ定点当たりの患者発生数が県単位で1を超えた時点から1を下回るまでの間)には1週間(月曜日から日曜日)を調査単位とし、非流行期(流行期以外の期間)には各月を調査単位とする。その他の病原体定点にあつては、各月を調査単位とする。

### 3 実施方法

#### (1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により患者発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に届出を行う。

イ 前記アの報告は、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に、郵送又はFAXその他地域の特性に応じた適切な方法により報告するものとする。

#### (2) 疑似症定点

ア 疑似症定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により疑似症発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に届出を行う。

イ 前記アの報告は、直ちに電話又はFAXその他地域の特性に応じた適切な方法により報告するものとする。

#### (3) 病原体定点

ア 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のための検体等采取する。

イ 病原体定点は、検体等について、別記様式1の検査票を添えて、保健所との連携を図りながら速やかに衛生環境研究所へ送付する。

ウ 1の(3)のアにより選定された小児科病原体定点においては、第二の(88)から(97)までの対象感染症のうち、患者発生状況等を踏まえ県等においてあらかじめ選定した複数の感染症について、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付する。

エ 1の(3)のイにより選定されたインフルエンザ病原体定点においては、第二の(98)に掲げるインフルエンザ(インフルエンザ様疾患を含む。)について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付する。

#### (4) 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあつては、検体等について、保健所に協力し、別記様式1の検査票を添えて提供する。

#### (5) 保健所

ア 保健所は、患者定点から得られた患者情報を、調査単位が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力する。

イ 保健所は、疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに汎用サーベイランスシステムに入力する。

ウ 対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、本庁健康増進課及び感染症情報センターへ報告する。

エ 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

オ 保健所は、医療機関等から検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

#### (6) 衛生環境研究所等

ア 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあつては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体を検査し、その結果を病原体情報として保健所を経由して病原体定点に通知するとともに、本庁健康増進課及び感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報については、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

イ 検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

ウ 県域を超えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から検体等の提出を求められた場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

#### (7) 感染症情報センター

感染症情報センターは、患者情報及び疑似症情報について、保健所から情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

### 五 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の実施方法

#### 1 保健所

鳥インフルエンザ(H5N1)に係る積極的疫学調査を実施した保健所は、別に定める国の基準に従い、直ちに疑い症例調査支援システムに調査内容を入力する。

なお、医療機関から提出される検体等には、疑い症例調査支援システムが発行する検査依頼票を添付する。

#### 2 衛生環境研究所

(1) 衛生環境研究所は、検査依頼票及び検体等が送付された場合にあつては、当該検体等を別に定める病原体検査業務管理要領に基づき検査し、その結果を直ちに保健所に通知する。通知を受けた保健所においては、その内容を直ちに疑い症例調査支援システムに入力する。

(2) 鳥インフルエンザ(H5N1)に係る積極的疫学調査の結果を厚生労働省に報告する場合にあつては、法施行規則第9条第2項に従い、検体等を国立感染症研究所に送付する。

### 第六 情報の分析、提供及び対応

#### 一 感染症情報センター

感染症情報センターは、収集した患者情報、疑似症情報、病原体情報並びに全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。

## 二 保健所

保健所は、感染症の発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関、その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

## 三 本庁健康増進課

本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。

なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

## 第七 その他

一 県は、効果的かつ円滑な感染症発生動向調査体制を構築するため、松山市と密接な連携を図る。

二 感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的に用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ本人等に同意をとることが望ましい。

なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の別に定める規定に従う。

三 情報の提供を行うときは、個人情報保護に十分留意する。

四 本事業に協力を得た医師、解析評価委員に対して予算の範囲内で謝金を支出する。

五 この要綱で定めるもののほか、感染症発生動向調査事業の実施に関し必要な事項は、別に定める。

### 附 則

1 この要綱は、平成13年1月1日から施行する。

2 愛媛県結核・感染症発生動向調査実施要綱(昭和62年1月1日)は、廃止する。

### 附 則

この実施要綱の改正は、平成14年11月1日から施行する。

### 附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年8月1日から施行する。

### 附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年11月5日から施行する。

### 附 則

この実施要綱の一部改正は、平成18年4月1日から施行する。

### 附 則

この実施要綱の一部改正は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成18年9月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成18年度に限り使用することができる。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成18年11月22日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成19年4月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成19年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成20年1月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成19年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成20年5月12日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成23年2月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

この実施要綱の一部改正は、平成23年9月5日から施行する。

ただし、第五の三の1の(1)の表中イの指定については、平成23年8月17日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年3月4日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年5月6日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年7月26日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年9月19日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年1月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年5月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成28年2月15日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年3月27日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年8月11日から施行する。



一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症検査票(病原体)

患者コード	性別 (男・女)	住所 市 町	定点医療機関の場合は、該当するものに○ ・インフルエンザ定点 ・小児科定点 ・眼科定点 ・性感染症定点 ・基幹定点
氏名	年齢 (歳 ヵ月)	住所	

[主治医等記載欄]

医療機関等名及び主治等医師名(記載者)			
検体送付日	年 月 日	分離株 (無・有・検査中)	
診断名			
発病日	年 月 日		
入院・外来の別	入院	外来	
検査材料	採取日	年 月 日	
	材料の種類 [該当するもの1つを○で囲んでください]	・ふん便(腸内容物、直腸ぬぐい液) ・髄液 ・尿 ・吐物 ・喀痰 ・気管吸引液 ・穿刺液(腹水、胸水、関節液、その他[ ]) ・咽頭ぬぐい液(うがい液、鼻汁) ・皮膚病巣(水疱内容、痂皮、創傷) ・結膜ぬぐい液(結膜擦過物、眼脂) ・陰部尿道頭管擦過物 / 分泌物 ・細胞診、生検、剖検材料(臓器) ・血液(全血、血清、血漿、抗凝固剤[ ]) ・その他( )	
臨床的事項	臨床症状・徴候等 [該当するものを全てを○で囲んでください] (基礎疾患を除く)	・無症状 ・胃腸炎(下痢、腹痛、嘔吐、嘔気、血便、膿球) ・頭痛 ・発熱(最高 °C) ・角膜炎、結膜炎、角結膜炎 ・熱性けいれん ・関節痛(関節炎)、筋肉痛 ・髄膜炎、意識障害、麻痺(部位 )、 ・口内炎 ・上気道炎(咽頭炎/痛、扁桃炎) 中枢神経系症状(脳炎、脳症、脊髄炎、 ・下気道炎(肺炎、気管支炎) その他[ ] ・水泡 ・発疹(丘疹、紅斑、バラ疹) ・循環器障害(心筋炎、心膜炎、心不全) ・出血傾向(全身性・局所:部位 ) ・ショック症状(低血圧、循環不全) ・リンパ節腫脹(部位 ) ・黄疸 ・肝機能障害 ・唾液腺腫脹(耳下腺炎、顎下腺炎) ・腎機能障害(HUS、血尿、乏尿、蛋白尿、多尿、腎不全) ・浮腫(部位 ) ・尿路生殖器症状(膀胱炎、尿道炎、外陰炎、頸管炎) ・その他の症状(上記以外の症状や臨床徴候)[ ]	
	基礎疾患		
転帰	経過観察中、軽快、治癒、後遺症有り、死亡(原因 )		
主治医等から地方衛生研究所への連絡事項(関連の臨床検査結果等)[ ]			
* インフルエンザ迅速キット使用(無・有 :メーカー・品名 [ ]、陰性・陽性[ ]型)・保留			
* 抗インフルエンザ薬投与(無・有 :薬剤名 [ ]、投与開始日 年 月 日 予防・治療投与) 投与終了日 年 月 日			

[保健所等記載欄](主治医記載可)

発生の状況	・散発 ・地域流行 ・家族内発生(無、有) ・集団発生(無、有) ・発生市町( ) 有の場合(保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、宿舍・寮、病院、老人ホーム(介護施設を含む)、福祉・養護施設、旅館・ホテル、飲食店、事業所、海外ツアー、国内ツアー、その他 [ ])		
最近の海外渡航歴	国名		
	期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
ワクチン接種歴	無、有、不明 [最終接種年月日 年 月 日] ワクチン名 (Lot No )		

[地方衛生研究所記載欄]

記載者名			
抗体検出方法結果	(蛍光、IP、ELIZA、CF、HI、PA、中和、イムノブロット、ゲル内沈降、凝集反応、その他 [ ])		
病原体検出	検出年月日	年 月 日	
	検出方法 [陽性となった方法を○で囲んでください]	・分離培養 (培養細胞 : 細胞名 [ ] 人工培地、発育鶏卵、動物、その他 [ ]) ・抗原検出 (蛍光、EIA、RPHA、LA、PA、IC [イムノクロマト]、その他 [ ]) ・遺伝子検出 1.非増幅 (ハイブリ、PAGE、その他 [ ]) 2.増幅 (PCR、リアルタイムハイブリ、PCR+シーケンス、LAMP、その他 [ ]) ・電顕 ・鏡検	
	検出病原体(群、型、亜型)		
その他特記事項			

注1) 患者の氏名及び住所欄については、感染症法第16条の3、第26条の3、第26条の4、第44条の7及び第50条に基づく一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ等感染症又は新感染症に係る検査の場合に記載をお願いします。  
 注2) 主治医記載欄については、検体送付日において記載できる範囲で記載をお願いします。  
 注3) ワクチン接種歴については、当該疾患に係るものにつき記載してください。  
 注4) 医療機関(民間検査所を含む)で病原体を分離した場合は、地方衛生研究所への分離株の送付をお願いします。

## 愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱

### (設置)

第1条 愛媛県における感染症の発生動向の把握、感染拡大防止対策等の一元化を図り、健康危機管理に即した迅速で実践的な体制を構築するとともに、予防接種業務の円滑な推進及び知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に資することを目的として、愛媛県感染症対策推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

### (任務)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 感染症発生の防止の施策に関する事項
- (2) 医療機関の確保、医療機関の連絡体制に関する事項
- (3) 感染症及び予防接種に関する知識の普及啓発に関する事項
- (4) 感染症患者の人権への配慮等に関する事項
- (5) 予防接種法(昭和23年法律第68号)に基づき、知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に関する事項
- (6) 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱(平成13年1月1日制定)に基づく感染症発生動向調査に関する事項

### (組織)

第3条 協議会は、委員16人以内で組織する。

### (委員)

第4条 協議会は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱し、又は任命する。

- (1) 社団法人愛媛県医師会の会員
- (2) 社団法人愛媛県獣医師会の会員
- (3) 感染症発生動向調査の専門家
- (4) 感染症対策の専門家
- (5) 第二種感染症指定医療機関の医師
- (6) 愛媛県予防接種センターの医師
- (7) 学識経験者
- (8) 感染症対策関係の行政担当者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任させることができる。

### (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は会長が指名した者をもって充てる。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

( 会 議 )

第 6 条 協議会は、会長が必要に応じ招集し、会長が議長となる。

( 部 会 )

第 7 条 協議会に、麻しん排除に向けた活動の推進を図ることを目的に、麻しん対策部会を置く。

- 2 部会に、部会長及び部会員を置き、委員及び医療、学校、行政その他関係者のうちから会長が指名する。
- 3 部会は、部会長が必要に応じて招集し、部会長が議長となる。

( 解析評価担当委員 )

第 8 条 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱(平成 13 年 1 月 1 日制定)に規定する感染症発生動向調査にかかる情報の解析評価を担当する解析評価担当委員をおく。

- 2 解析評価担当委員は、会長が協議会の委員のうちから指名する。

( 関係者の出席 )

第 9 条 会長が必要と認めた時は、協議会の会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

( 庶 務 )

第 10 条 協議会の庶務は、保健福祉部健康衛生局健康増進課において処理する。

( 雑 則 )

第 11 条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が、協議会に諮って定める。

附 則

この要領は、平成 15 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 16 年 1 月 13 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 20 年 7 月 30 日から施行する。

## 愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領

### 第一 趣旨

本要領は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年10月2日号外法律第114号）に基づき、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るために実施する愛媛県感染症発生動向調査事業において、病原体の検査情報の収集に関する必要な事項を定めるものとする。

### 第二 病原体検査の対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業において病原体検査の対象とする感染症は、次のとおりとする。

#### 一 全数把握の対象

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱（以下、要綱という。）第二の一に掲げる全数把握対象感染症とする。

#### 二 定点把握対象の五類感染症（病原体定点別）

要綱第二の二に掲げるもののうち、次の定点把握対象感染症とする。

##### 1 小児科病原体定点

(89)咽頭結膜熱 (90)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (91)感染性胃腸炎  
(93)手足口病 (96)ヘルパンギーナ (97)流行性耳下腺炎

##### 2 インフルエンザ病原体定点(内科病原体定点及び小児科病原体定点)

(98)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)

##### 3 眼科病原体定点

(99)急性出血性結膜炎 (100)流行性角結膜炎

##### 4 基幹病原体定点

(91)感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(106)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)  
(109)無菌性髄膜炎

### 第三 関係機関の役割

#### 一 検査実施機関

検査実施機関は、衛生環境研究所又は保健所とする。

ただし、衛生環境研究所で検査の実施が困難なものについては、国立感染症研究所又は検査可能な機関（以下、「国立感染症研究所等」という。）に、衛生環境研究所が協力を依頼する。

検査実施機関別の検査対象感染症は、別表1のとおりとする。

#### 二 医療機関・医師

第二の一に掲げる検査対象感染症の患者を診断あるいは感染疑いと判断した医師は、保健所から病原体検査のための検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）の提供の依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等について、別記様式1（要綱第五の一の2に定める様式をいう。以下同じ。）の検査票を添えて、速やかに保健所に提供

する。

### 三 病原体定点に選定された医療機関

- 1 第二の二に掲げる病原体定点の検査対象感染症の患者を診断した医師は、第四に示した検体数について、第五の別表2に掲げる検査材料を、別表3に従い採取する。採取された検体等は、別記様式1に掲げる検査票を添えて、速やかに保健所に提供する。
- 2 基幹病原体定点は、第二の二の4に掲げる検査対象感染症のほか、保健所から第二の二に掲げる検査対象感染症の検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、可能な範囲で検体等の提供に協力する。

### 四 保健所

- 1 保健所は、検査対象感染症の発生状況から、必要に応じて病原体検査のための検体等の提供を医療機関に依頼等する。
- 2 保健所は、医療機関における検体等の採取や搬送に協力し、第二の一に掲げる検査対象感染症のうち三類感染症の検体等の提供を受けた場合は、可能な範囲において検査を実施し、その結果を診断した医師に通知する。
- 3 保健所は、三類感染症の病原体を分離した場合又は第二の一に掲げる検査対象感染症の検体等の提供を受けた場合は、別記様式1の検査票を添えて、検体等を衛生環境研究所に搬送する。
- 4 保健所は、特定病原体を衛生環境研究所に搬送する場合は、省令第31条の36に規定された運搬基準を遵守すること。

### 五 衛生環境研究所

- 1 衛生環境研究所は、検体等と別記様式1の検査票が搬入された場合は、当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、本庁及び感染症情報センターに通知する。
- 2 衛生環境研究所において、検査の実施が困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所等に協力を依頼する。
- 3 衛生環境研究所は、病原体検査情報を、病原体検出情報システムに入力する。

## 第四 定点把握の五類感染症の病原体検査検体数

定点把握の五類感染症の病原体検査検体数は、要綱第五の三の3の(3)に示すとおりとする。

なお、眼科病原体定点及び基幹病原体定点については、検査対象感染症につき、概ね月4件の検体を採取することとし、基幹病原体定点については、検査対象感染症以外に必要なに応じて小児科病原体定点対象感染症の検体を採取する。

## 第五 検体採取

### 一 器材

検体採取に必要な器材、培地等は衛生環境研究所が準備し、必要に応じ保健所から関係医療機関に配布する。

### 二 検査材料

病原体検査のために採取すべき検査材料は、別表2のとおりとする。

## 第六 病原体検査検体の採取、保存、輸送等

### 一 細菌感染症

#### 1 採取方法

##### (1) 糞便

ア 抗生物質投与前の糞便の一部を滅菌綿棒で取り、輸送用培地(キャリーブリア培地等)の寒天部に深く差し込み密栓する。止むを得ない場合は、直腸スワブを採取し、前項と同様輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。

イ 検体採取後は、室温で保存し、速やかに検査に供する。遅くとも24時間以内に分離培養するのが望ましい。

##### (2) 鼻咽頭ぬぐい液

ア 滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、輸送用培地(キャリーブリア培地等)中に綿棒を深く差し込み、直ちにキャップを確実に閉める。

イ 検体採取後は、室温で保存し、24時間以内に分離培養するのが望ましい。

#### 2 保存及び輸送方法

(1) 検査材料は、容器から内容物が漏れないようにビニールテープ等で密栓する。所定の搬送用ボックスに入れ、できるだけ速やかに室温で搬送する。

(2) 検体は、冷凍での保存・搬送はしてはならない。

### 二 ウイルス感染症

#### 1 採取方法

##### (1) 糞便

ア できるだけ早期(急性期)に排泄直後の糞便を採取する。

イ ウイルス分離培養検査用は糞便2g(2ml)を採取するか、又は滅菌綿棒で少量(0.1-0.2g)をウイルス分離用保存液の中に取り、よく攪拌後綿棒を取り除いて密栓する。

ウ 下痢症ウイルス検査用は、母指頭大(約5g)以上の糞便あるいは嘔吐物を容器に採取し密栓する。

##### (2) 鼻咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿球部をよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

##### (3) 咽頭うがい液

滅菌生理食塩水8~10mlを用い咽頭の奥でよくうがいをさせ、清浄なコップ等に吐き出されたうがい液を5mlのウイルス分離用保存液又は滅菌プイヨン液に等量加え密栓する。

##### (4) 髄液

1~5mlを無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

##### (5) 水疱内溶液

水疱又は膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器等で局所を突き刺して内容液を吸引し、ウイルス分離用保存液に入れ密栓する。

##### (6) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒をウイルス分離用保存液中でよく振とうして擦過物を浮遊させた後、綿球部を管壁でよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

#### (7) 血液、血清

ウイルス分離用の血液は、抗凝固剤（クエン酸又は EDTA）入り採血管に 4 ～ 5 ml を採取し、室温でできるだけ速やかに検査機関に搬送する。

血清免疫学的診断用の場合は、凝固剤入り採血管に 3 ～ 5 ml を採血する。30 分程度静置後 3,000rpm で遠心分離し、血清を滅菌セラムチューブ等に採取し、搬送するまで冷凍庫（-25 以下）に保存する。

血清免疫学的診断には、急性期（発病 3 日以内）と回復期（発病後 2 ～ 3 週間後）のペア血清が必要なことが多い。

#### 2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 検体採取当日又は翌日に検査が可能な場合は、氷冷して保存・搬送する。
- (3) 2 日以上保存する場合は、密封しドライアイスアセトン又は液体窒素で急速凍結した後、-25 以下（できれば -70 以下が望ましい）で冷凍保存する。
- (4) 冷凍して搬送する場合は、断熱性の搬送用ボックスに入れ、ドライアイス又は寒剤（例：氷 75% + 食塩 25%）等を使用し、搬送中に融解しないようにする。
- (5) 保存又は搬送にドライアイスを使用する場合は、CO<sub>2</sub>ガスが容器に入り、pH が低下するのを防ぐため、検体容器をビニールテープでシールして密封する。

### 三 原虫感染症

#### 1 採取方法

- (1) 母指頭大（約 5 g）以上の糞便を、保存培地の入っていない採便容器に採取し密栓する。
- (2) 連日あるいは 1 日おきに複数回採取するのが望ましい。

#### 2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 保存、輸送は冷蔵(4 )で行う。
- (3) 長期間(3 日以上)の保存が避けられない場合は -25 以下で冷凍保存し、溶解しないよう氷冷して搬送する。

### 第七 その他

- 一 県は、県内の病原体に関する情報を統一的に収集し、分析し、及び公表する体制を構築するため、松山市と緊密な連携を図る。
- 二 この要領に定めるもののほか、病原体検査の実施に関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この要領は、平成 13 年 1 月 1 日から施行する。

#### 附 則

この要領の一部改正は、平成 15 年 11 月 5 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 30 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 30 年 5 月 1 日から施行する。



別表 1

## 検査実施機関別検査対象感染症

類型	疾 病	BSL	検 査 可 能 機 関			
			保健所	衛生環境 研究所	国立感染症 研究所	備 考
一類	エボラ出血熱	4			○	
	クリミア・コンゴ出血熱	4			○	
	痘そう	4			○	
	南米出血熱	4			○	
	ペスト	4			○	
	マールブルグ病	4			○	
	ラッサ熱	4			○	
二類	急性灰白髄炎	2		○	○	
	結核	3		○	(結研)	V N T R 検査
	ジフテリア	2		○	○	
	重症急性呼吸器症候群 ※1	3		○	○	
	中東呼吸器症候群 ※2	3		○	○	
	鳥インフルエンザ (H5N1)	3		○	○	
鳥インフルエンザ (H7N9)	3		○	○		
三類	コレラ	2	○	○		
	細菌性赤痢	2	○	○		
	腸管出血性大腸菌感染症	2	○	○		
	腸チフス	3	○	○		
	パラチフス	3	○	○		
四類	E型肝炎	2		○	○	
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	3		○	○	
	A型肝炎	2		○		
	エキノコックス症	2			○	
	黄熱	3			○	
	オウム病	2			○	
	オムスク出血熱	2			○	
	回帰熱	3			○	
	キャサヌル森林病	3			○	
	Q熱	3			○	
	狂犬病	3		○	○	
	コクシジオイデス症	3			○	
	サル痘	2			○	
	ジカウイルス感染症	2		○	○	
	重症熱性血小板減少症候群 ※3	3		○	○	
	腎症候性出血熱	3			○	
	西部ウマ脳炎	3			○	
	ダニ媒介脳炎	3			○	
	炭疽	3		○		
	チクングニア熱	3		○		
	つつが虫病	3			○	
	デング熱	2		○		
	東部ウマ脳炎	3			○	
	鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	3			○	
	ニパウイルス感染症	3			○	
	日本紅斑熱	3		○		
	日本脳炎	2		○		
	ハンタウイルス肺症候群	3			○	
	Bウイルス病	3			○	
	鼻疽	3			○	
	ブルセラ病	3			○	
	ベネズエラウマ脳炎	3			○	
	ヘンドラウイルス感染症	3			○	
	発しんチフス	3			○	
	ボツリヌス症	2		○		
	マラリア	2			○	
	野兔病	3			○	
	ライム病	3			○	
	リッサウイルス感染症	3			○	
	リフトバレー熱	3			○	
類鼻疽	2			○		
レジオネラ症	2		○			
レプトスピラ症	2			○		
ロッキー山紅斑熱	3			○		

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書(2020年)

類型	疾 病	BSL	検 査 可 能 機 関				
			保健所	衛生環境 研究所	国立感染症 研究所	備 考	
五類 全数	アメーバ赤痢	2			○		
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	2	○	○	○		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		○	○		
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	2		○	○		
	急性脳炎 ※4	-		○	○		
	クリプトスポリジウム症	2		○			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2			○		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		○			
	後天性免疫不全症候群	3	○	○	○		
	ジアルジア症	2		○			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			○		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2			○		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2			○		
	水痘（患者が入院を要すると認められる例に限る）	2				病原体検査対象外	
	先天性風しん症候群	2			○		
	梅毒	2	○				
	播種性クリプトコックス症	2			○		
	破傷風	2			○		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		○	○		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2		○	○		
	百日咳	2		○			
	風しん	2		○			
	麻しん	2		○			
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2		○	○		
	五類 定点	RSウイルス感染症	2		○		病原体検査対象外であるが対応可能
		咽頭結膜熱	2		○		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2		○			
感染症胃腸炎		2		○			
水痘		2				病原体検査対象外	
手足口病		2		○			
伝染性紅斑		2				病原体検査対象外であるが対応可能	
突発性発しん		2				病原体検査対象外	
ヘルパンギーナ		2		○			
流行性耳下腺炎		2		○			
インフルエンザ（鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ等感染症を除く）		2		○			
急性出血性結膜炎		2		○			
流行性角結膜炎		2		○			
性器クラミジア感染症		2				病原体検査対象外	
性器ヘルペスウイルス感染症		2				病原体検査対象外	
尖圭コンジローマ		2				病原体検査対象外	
淋菌感染症		2				病原体検査対象外	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		2				病原体検査対象外	
細菌性髄膜炎 ※5		2		○			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		2		○	○	病原体検査対象外	
マイコプラズマ肺炎		2				病原体検査対象外	
無菌性髄膜炎		2		○			
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2		○	○	病原体検査対象外	
薬剤耐性緑膿菌感染症		2		○	○	病原体検査対象外	
新型		新型インフルエンザ	3		○	○	衛研でH亜型、国立感染症研でN亜型検出
		再興型インフルエンザ	3		○	○	衛研でH亜型、国立感染症研でN亜型検出

※1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。  
 ※2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。  
 ※3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。  
 ※4 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。  
 ※5 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

別表 2

感染症別の採取材料一覧表

類型	検査対象感染症名	病原体	BSL	採取検査材料										検査方法				検査担当機関		
				血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検材料の他	生検	検そ	培養法	抗原検出法	抗体検出法	遺伝子検出			
一類	1 エボラ出血熱	V	4	S											○	○	○	○	感染研	
	2 クリミア・コンゴ出血熱	V	4	○												○	○	○	感染研	
	3 痘そう	V	4	○							○				○	○		○	感染研	
	4 南米出血熱	V	4	○											○	○	○	○	感染研	
	5 ペスト	B	4	○								喀痰、リンパ節	○						感染研	
	6 マールブルグ病	V	4	○								各種臓器	○	○	○	○	○	○	感染研	
	7 ラッサ熱	V	4	○									○	○	○	○	○	○	感染研	
二類	8 急性灰白髄炎	V	2	S	○	○	○							○		○		衛環研・感染研		
	9 結核	B	3								菌株							衛環研		
	10 ジフテリア	B	2	S	○								○	○				衛環研		
	11 重症急性呼吸器症候群(SARS)	V	3	○	○	○					肺		○		○	○		衛環研・感染研		
	12 中東呼吸器症候群(MERS)	V	3		○						喀痰						○	衛環研・感染研		
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	V	3	S	○						肺、気管吸引液		○				○	衛環研・感染研		
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	V	3	S	○						肺、気管吸引液		○				○	衛環研・感染研		
三類	15 コレラ	B	2			○								○				保健所		
	16 細菌性赤痢	B	2			○								○				保健所		
	17 腸管出血性大腸菌感染症	B	2	○	○									○				保健所		
	18 腸チフス	B	3	○	○	○			○					○				保健所		
	19 パラチフス	B	3	○	○	○			○					○				保健所		
四類	20 E型肝炎	V	2	S		○												○	衛環研・感染研	
	21 ウエストナイル熱	V	3	S			○				脳		△		○	○		感染研		
	22 A型肝炎	V	2	S		○												○	衛環研	
	23 エキノコックス症	条虫	2	S							手術材料			○	○			感染研		
	24 黄熱	V	3	○							肝臓		○	○		○		感染研		
	25 オウム病	クラミジア	2	○	○						痰、気管吸引液		○	○	○	○		感染研		
	26 オムスク森林病	V	2	○			○									○	○	感染研		
	27 回帰熱	スピロヘータ	3	○										○	○			○	感染研	
	28 キャサヌル森林病	V	3	○			○										○	○	感染研	
	29 Q熱	リケッチア	3	○	○													○	感染研	
	30 狂犬病	V	3				○	○			脳、気管吸引液		○	○				○	衛環研・感染研	
	31 コクシジオイデス症	真菌	3								痰、膿、肺		○						感染研	
	32 サル痘	V L3扱い	2	S	○										○	○	○	○	感染研	
	33 ジカウイルス感染症	V	2	S						○									○	衛環研・感染研
	34 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	V	3	S															○	衛環研
	35 腎症候性出血熱	V	3	○											○		○	○	感染研	
	36 西部ウマ脳炎	V	3	○				○									○	○	感染研	
	37 ダニ媒介脳炎	V	3	○				○									○	○	感染研	
	38 炭疽	B	3	○		○					○	痰、腹水、胸水		○					○	衛環研
	39 チクングニア熱	V	3	S															○	衛環研
	40 つつが虫病	リケッチア	3	S															○	感染研
	41 デング熱	V	2	○											○				○	衛環研
	42 東部ウマ脳炎	V	3	○				○										○	○	感染研
	43 鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)	V	3	S	○										○				○	感染研
	44 ニパウイルス感染症	V	3	S	○					○					○		○	○	感染研	
	45 日本紅斑熱	リケッチア	3	○															○	衛環研
	46 日本脳炎	V	2	○		○						脳							○	衛環研
	47 ハンタウイルス肺症候群	V	3	○															○	感染研
	48 Bウイルス病	V	3	S	○							皮膚病巣		○					○	感染研
	49 鼻疽	B	3	○								膿・呼吸器分泌物		○						感染研
	50 ブルセラ病	B	3	○		○									○					感染研
	51 ベネズエラウマ脳炎	V	3	○															○	感染研
52 ヘンドラウイルス感染症	V	3	○															○	感染研	
53 発しんチフス	リケッチア	3	○								動物脾臓		○						感染研	
54 ボツリヌス症	B	2	S		○						摂取食品		○						新研研 (国立医薬品食品衛生研究所)	
55 マラリア	原虫	2	○																○	感染研

別表 2

感染症別の採取材料一覧表

類型	検査対象感染症名	病原体	BSL	採取検査材料							検査方法			検査担当機関			
				血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検材料の他	生検	検査		培養法	抗原検出法	抗体検出法
四類	56 野兔病	B	3	○									○	○	感染研		
	57 ライム病	スピロヘータ	3	○			○				皮膚病巣	○			感染研		
	58 リッサウイルス感染症	V	3	○			○				脳	○	○	○	感染研		
	59 リフトバレー熱	V	3	○										○	○	感染研	
	60 類鼻疽	B	3	○							膿・呼吸器分泌物	○				感染研	
	61 レジオネラ症	B	2	S	○	○		○			痰、気管吸引液	○		○		衛環研	
	62 レプトスピラ症	スピロヘータ	2	○			○		○			○		○	○	感染研	
63 ロッキー山紅斑熱	リケッチア	3	○										○	○	感染研		
五類全数	64 アメーバ赤痢	原虫	2	S		○					肝臓瘍液、腸、肝				△	感染研	
	65 ウイルス性肝炎（E型、A型除く）	V	2	○									○			保健所	
	66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	B	2								菌株	○			○	衛環研	
	67 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	V	2	S	○	○	○					○		○		衛環研・感染研	
	68 急性脳炎	V、B	一	○	○	○	○		○			○	△	△	△	衛環研・感染研	
	69 クリプトスポリジウム症	原虫	2			○										○	衛環研
	70 クロイツフェルト・ヤコブ病	プリオン	2				○				膿、扁桃、脾臓等		○				感染研
	71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	B	2		○		○	○		○	皮膚、腹水、胸水	○	△				衛環研
	72 後天性免疫不全症候群	V	3	○									○	○			保健所・衛環研
	73 ジアルジア症	原虫	2			○										○	衛環研
	74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	B	2								菌株						感染研
	75 侵襲性髄膜炎菌感染症	B	2								菌株						感染研
	76 侵襲性肺炎球菌感染症	B	2								菌株						感染研
	77 水痘（入院を要すると認められるものに限る）	V	2														対象外
	78 先天性風しん症候群	V	2	○	○				○		白内障レンズ	○			○		感染研
	79 梅毒	スピロヘータ	2	○										○			保健所
	80 播種性クリプトコックス症	真菌	2														感染研
	81 破傷風	B	2	S							創傷部組織	○		○			感染研
	82 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	B	2								菌株	○			○		衛環研・感染研
	83 パンコマイシン耐性腸球菌感染症	B	2								菌株	○			○		衛環研
84 百日咳	B	2	○	○						痰、気管吸引液	○		△	○		衛環研	
85 風しん	V	2	○	○		○		○							○	衛環研	
86 麻しん	V	2	○	○		○		○		脳(SSPE)	○		○	○		衛環研	
87 薬剤耐性アシネトバクター感染症	B	2								菌株						衛環研	
五類定点	88 R S ウイルス感染症	V	2		○							○	○				衛環研
	89 咽頭結膜熱	V	2	S	○	○	○	○	○		痰、気管吸引液	○	○		○		衛環研
	90 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	B	2		○							○	△				衛環研
	91 感染症胃腸炎	V B 原虫	2	S		○						○	○		○		衛環研
	92 水痘	V	2														対象外
	93 手足口病	V	2	S	○	○	○			○		○			○		衛環研
	94 伝染性紅斑	V	2	○	○											○	衛環研
	95 突発性発しん	V	2														対象外
	96 ヘルパンギーナ	V	2	S	○	○						○			○		衛環研
	97 流行性耳下腺炎	V	2	S	○		○		○			○					衛環研
	98 インフルエンザ	V	2	S	○		○	○			肺、脳	○		○	○		衛環研
	99 急性出血性結膜炎	V	2	S	○	○	○					○			○		衛環研
100 流行性角結膜炎	V	2	S	○	○	○					○			○		衛環研	
106 細菌性髄膜炎	B	2								菌株	○			△		衛環研	
109 無菌性髄膜炎	V	2	S	○	○	○					○			△		衛環研	

(注) 病原体：B…細菌、V…ウイルス  
 血液・血清：S…血清、○…全血  
 検査担当機関：感染研…国立感染症研究所、衛環研…衛生環境研究所  
 保健所…西条保健所、宇和島保健所

別表3

## 愛媛県感染症発生動向調査事業の病原体検査に係る検体採取及び保存方法

定点分類	疾病	検体	採取方法	採取容器	保存
小児科	咽頭結膜熱	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
	A群溶レン菌咽頭炎	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。48時間以内に搬送。	咽頭用スワブ	常温
	感染性胃腸炎 (細菌性)	糞便	滅菌綿棒で糞便を採取し、輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。48時間以内に搬送。	シードスワブ 1号	常温
	感染性胃腸炎 (ウイルス性)	糞便	糞便を5g以上採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	採便容器	冷蔵 または 冷凍
		おう吐物	おう吐物を5g以上採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	採便容器	冷蔵 または 冷凍
	手足口病	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		水疱	滅菌綿棒で水疱内容物を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		糞便	滅菌綿棒で便(又は直腸)を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		(菌株)	(菌分離ができた場合、菌株での提供もお願いします。)		常温
	ヘルパンギーナ	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
流行性耳下腺炎	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍	
インフル	インフルエンザ	鼻腔ぬぐい液 咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で鼻腔または咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。4~6日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
眼科	急性出血性結膜炎	結膜ぬぐい液	滅菌綿棒で下瞼結膜をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
	流行性角結膜炎				
基幹	細菌性髄膜炎	菌株	(菌株での提供をお願いします)		常温
	無菌性髄膜炎  (髄液、咽頭ぬぐい液、糞便の3点セットが望ましい)	髄液	滅菌容器に1~5mL採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	滅菌容器	冷蔵 または 冷凍
		咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭を拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		糞便	滅菌綿棒で便(又は直腸)を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍

参考

感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律  
第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について  
(届出基準等通知、令和2年8月11日施行)

1 全数把握対象疾患

一類感染症	(1) エボラ出血熱
	(2) クリミア・コンゴ出血熱
	(3) 痘そう
	(4) 南米出血熱
	(5) ペスト
	(6) マールブルグ病
	(7) ラッサ熱
二類感染症	(8) 急性灰白髄炎
	(9) 結核
	(10) ジフテリア
	(11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)
	(12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)
	(13) 鳥インフルエンザ(H5N1)
	(14) 鳥インフルエンザ(H7N9)
三類感染症	(15) コレラ
	(16) 細菌性赤痢
	(17) 腸管出血性大腸菌感染症
	(18) 腸チフス
	(19) パラチフス
四類感染症	(20) E型肝炎
	(21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)
	(22) A型肝炎
	(23) エキノコックス症
	(24) 黄熱
	(25) オウム病
	(26) オムスク出血熱
	(27) 回帰熱
	(28) キャサスル森林病
	(29) Q熱
	(30) 狂犬病
	(31) コクシジオイデス症
	(32) サル痘
	(33) ジカウイルス感染症
	(34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)
	(35) 腎症候性出血熱
	(36) 西部ウマ脳炎
	(37) ダニ媒介脳炎
	(38) 炭疽
	(39) チクングニア熱
	(40) つつが虫病
	(41) デング熱
	(42) 東部ウマ脳炎
	(43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)
	(44) ニパウイルス感染症
	(45) 日本紅斑熱
	(46) 日本脳炎
	(47) ハンタウイルス肺症候群
	(48) Bウイルス病
	(49) 鼻疽
	(50) ブルセラ症
	(51) ベネズエラウマ脳炎
	(52) ヘンドラウイルス感染症
	(53) 発しんチフス
	(54) ボツリヌス症
(55) マラリア	
(56) 野兎病	
(57) ライム病	
(58) リッサウイルス感染症	
(59) リフトバレー熱	
(60) 類鼻疽	
(61) レジオネラ症	
(62) レプトスピラ症	
(63) ロッキー山紅斑熱	

1 全数把握対象疾患(つづき)

五類感染症	(64)	アメーバ赤痢
	(65)	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)
	(66)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
	(67)	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)
	(68)	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)
	(69)	クリプトスポリジウム症
	(70)	クロイツフェルト・ヤコブ病
	(71)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	(72)	後天性免疫不全症候群
	(73)	ジアルジア症
	(74)	侵襲性インフルエンザ菌感染症
	(75)	侵襲性髄膜炎菌感染症
	(76)	侵襲性肺炎球菌感染症
	(77)	水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)
	(78)	先天性風しん症候群
	(79)	梅毒
	(80)	播種性クリプトコックス症
	(81)	破傷風
	(82)	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(83)	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
(84)	百日咳	
(85)	風しん	
(86)	麻しん	
(87)	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
新型インフルエンザ等感染症	(112)	新型インフルエンザ
	(113)	再興型インフルエンザ
指定感染症	(114)	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であることに限る。)

2 定点把握対象疾患

五類感染症	(88)	RSウイルス感染症
	(89)	咽頭結膜熱
	(90)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
	(91)	感染性胃腸炎
	(92)	水痘
	(93)	手足口病
	(94)	伝染性紅斑
	(95)	突発性発しん
	(96)	ヘルパンギーナ
	(97)	流行性耳下腺炎
	(98)	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)
	(99)	急性出血性結膜炎
	(100)	流行性角結膜炎
	(101)	性器クラミジア感染症
	(102)	性器ヘルペスウイルス感染症
	(103)	尖圭コンジローマ
	(104)	淋菌感染症
	(105)	クラミジア肺炎(オウム病を除く。)
	(106)	細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)
	(107)	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(108)	マイコプラズマ肺炎	
(109)	無菌性髄膜炎	
(110)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
(111)	薬剤耐性緑膿菌感染症	
疑似症	(115)	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

3 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象

二類感染症	(13)	鳥インフルエンザ(H5N1)
-------	------	----------------

\* 上記疾患の診断基準及び届出票は、愛媛県感染症情報センターホームページ(<http://www.pref.ehime.jp/h25115/kanjyo/index.html>)に掲載している。





---

---

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書  
令和2年(2020年)

令和3年12月発行

発行 愛媛県感染症情報センター  
(愛媛県立衛生環境研究所)  
愛媛県松山市三番町8丁目234番地  
電話(089)931-8757

---

---